

# 第五次総合計画後期基本計画 施策一覧

- 「現況と課題」については、第3回作業部会の意見を反映したものに更新しています。
- グラフ等は最新の数値に更新していますが、現在は統計をとっておらず更新できないものは、総合計画策定時と同じものを掲載してあります。
- 「目指す状態」については、第3回作業部会の意見を反映したものに更新しています。
- 「アンケート指標（市民が思う割合）」については、令和2年度第1回審議会の資料「第五次長野市総合計画前期基本計画 進捗状況」に掲載しているものに、令和2年度第五次総合計画アンケート結果の数値をR2の欄に入れて更新したものです。なお、実績理由については更新していません。
- 「主な取組」、「統計指標（統計による指数）」、「個別計画」は更新していません。

# 分野 1 行政経営分野

# 分野 1 行政経営の方針（行政経営分野）

## 政策 1 市民が主役のまちづくりの推進

【担当部局】 企画政策部、地域・市民生活部、総務部

### 施策 1 市民とともに作る市政の推進 【広報広聴課】

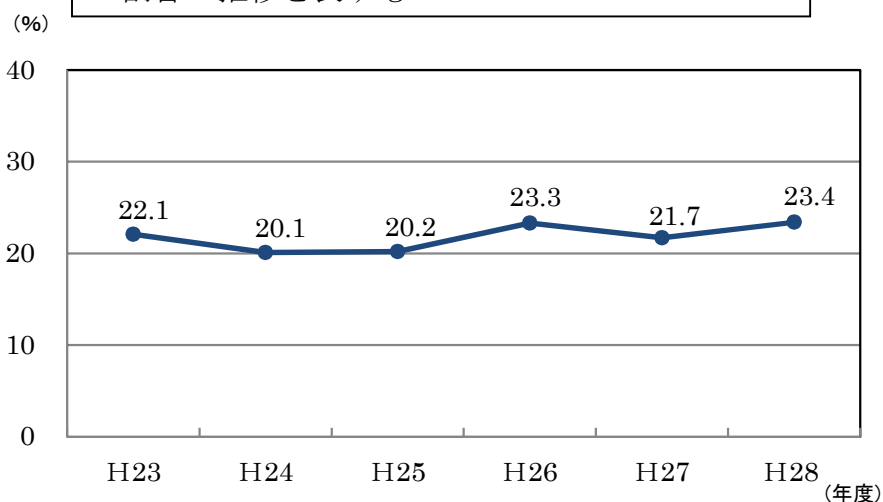
#### 現況と課題

更新

- 価値観や生活様式の変化・多様化に伴い、行政サービスに対する市民ニーズも複雑・多様化している中、分かりやすく市政情報を提供するとともに、市民の意見を十分に活かしながら市政を推進する必要があります。

#### 図表

- 「市民の意見を取り入れて、市民と行政が協力したまちづくりが行われている」と思う市民の割合の推移を表すもの



資料：企画課

#### 目指す状態

更新

- ◎ 市政情報を迅速に分かりやすく提供するとともに、多くの市民意見を市政に活用している。

#### 主な取組

- ◎ 市民が市政に参加できる機会を充実します。(行政管理課、広報広聴課)
- ◎ あらゆる機会を通じて市民ニーズを把握します。(広報広聴課)
- ◎ 様々な手段・媒体を有効に活用して市政情報を提供するとともに、市政への理解を深める取組を進めます。(広報広聴課)
- ◎ 個人情報適切に管理し個人の権利利益を保護するとともに、市政情報を積極的かつ迅速に公開し市政の透明性を確保します。(庶務課)

## アンケート指標（市民が思う割合）

更新

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)	
				H29	H30	R1	R2	R3	平均		
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	市民の声が市政に反映されている	%	(H28) 19.2	19.0	18.4	18.7	21.2		19.3	↑
	R元年度実績値の理由	大きな変動はないが、「分からない」の評価留保割合が減少したことにより、肯定的回答の増加につながった。									
	回答者自身の実践状況①	地域づくりに関するアイデアを市役所や自治会などに寄せている	%	(H28) 9.8	9.4	10.0	7.7	8.5		8.9	↑
	R元年度実績値の理由	昨年度に比べ否定的意見の増加が見られた30～50代で「アイデアがない」といった意見が寄せられており、肯定的な意見の減少につながった一つの要因と思われる。									

## 統計指標（統計による指数）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)	
				H29	H30	R1	R2	R3	備考		
統計指標	審議会等の公募委員の応募倍率	審議会等委員の公募人数に対する応募者数の比率（直近2年間の平均）	倍	(H27) 0.7	1.0	0.9	-				1.0
	R元年度実績値の理由	行政管理課	30年度は0.9となった。審議会等によって応募数の多寡がある。								
	パブリックコメント1件当たりに寄せられた意見数	パブリックコメント1件当たりに寄せられた意見数（直近5年間の平均）	件	(H27) 39.7	42.5	34.0	121.3				50.0
	R元年度実績値の理由	広報広聴課	元年度は3の政策案件に対して364件の意見が寄せられたが、政策案件によって寄せられる意見数に大きな差がある。								

## 個別計画

第6次長野市行政改革大綱

# 分野 1 行政経営の方針（行政経営分野）

## 政策 1 市民が主役のまちづくりの推進

【担当部局】 企画政策部、地域・市民生活部、総務部

### 施策 2 市民によるまちづくり活動への支援 【地域活動支援課】

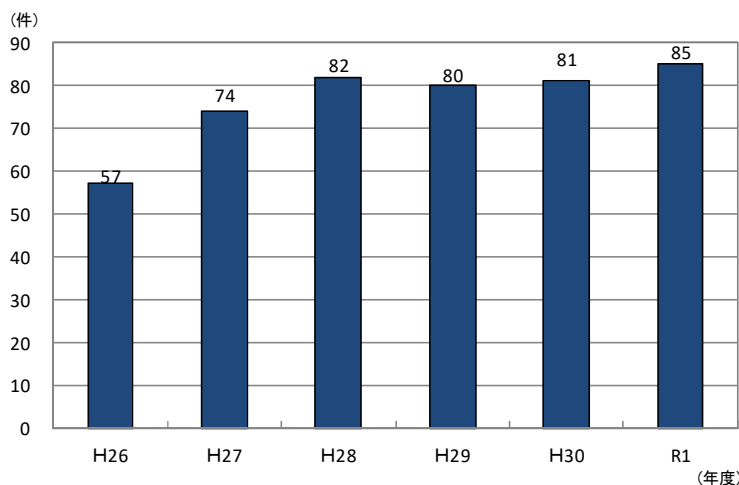
#### 現況と課題

更新

- 市内全地区において、住民自治協議会を中心に市民によるまちづくりが実践されています。地域における課題が複雑・多様化している中、行政、市民、地域コミュニティ組織、市民公益活動団体、民間企業など多様な主体による協働のまちづくりを推進する必要があります。

#### 図表

- 市民公益活動団体等との協働事業数の推移を表すもの



資料：地域活動支援課

#### 目指す状態

更新

- ◎行政、市民、地域コミュニティ組織、市民公益活動団体、民間企業など多様な主体による協働のまちづくりが、暮らしやすい地域社会につながっている。

#### 主な取組

- ◎地域の特性や資源を有効に活用し、住民とともに地域の魅力向上に取り組みます。（地域活動支援課）
- ◎住民自治協議会などの地域コミュニティ組織の運営と活動を積極的に支援し、住民自治を推進します。（地域活動支援課、家庭・地域学びの課）
- ◎市民公益活動団体間の連携など、様々な主体の協働を推進するとともに、市民ニーズに応じた市民公益活動団体等の活動を支援します。（地域活動支援課）
- ◎住民自治や市民公益活動等に関して啓発し、市民の自治意識や市民主体のまちづくりに関する意識を高めます。（地域活動支援課）
- ◎地域を支える人材の育成と確保に取り組みます。（地域活動支援課、家庭・地域学びの課）

## アンケート指標（市民が思う割合）

更新

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	平均	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	%	(H28) 36.3	38.0	36.1	36.3	38.5		37.2	↑
	R元年度実績値の理由		市民公益団体の活動に対する重要性の認識が一部の市民に留まっているため							
	回答者自身の実践状況①	%	(H28) 23.2	23.5	23.6	23.1	24.0		23.6	↑
R元年度実績値の理由	地縁活動やボランティア活動への参加が一部の市民に限られているため									

## 統計指標（統計による指数）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	備考	
統計指標	地区地域福祉活動計画の評価に取り組んでいる地区数（再掲：2-3-2）	地区	(H27) 17	24	27	28				32
	R元年度実績値の理由		福祉政策課	実施地区数が増加しており、支え合い活動の推進において、地区地域福祉活動計画の進捗状況の把握や検証、見直しの必要性が浸透しつつある。						
	R元年度実績値の理由		(H27)							

## 個別計画

第三期長野市都市内分権推進計画、協働推進のための基本方針、第6次長野市行政改革大綱

# 分野 1 行政経営の方針（行政経営分野）

## 政策 2 将来にわたり持続可能な行財政運営の確立

【担当部局】 総務部、財政部、企画政策部

### 施策 1 効果的で効率的な行財政運営の推進 【行政管理課】

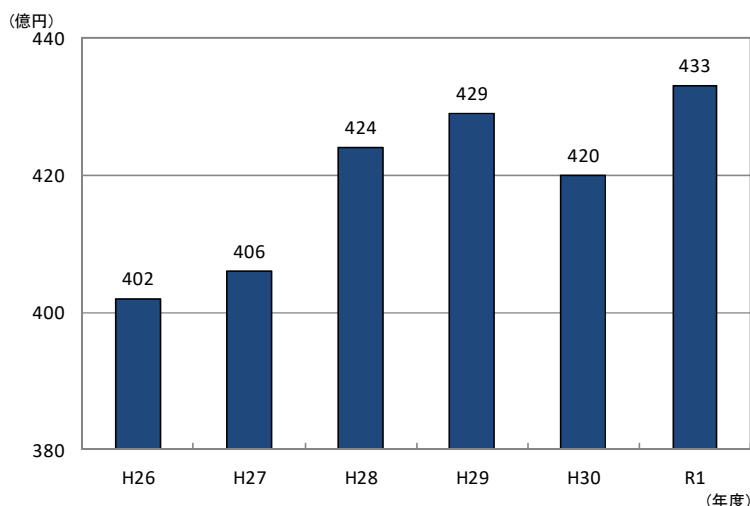
#### 現況と課題

更新

- **人口減少・少子高齢化**が進行する状況において、**増大する社会保障関係費や喫緊の課題解決に向けた対応などのため、一段と**厳しい財政運営が予想される中、「選択と集中」や「**地域資源・民間活力の活用**」などにより効果的で効率的な行財政運営に取り組み、安定的な行政サービスを持続して提供していく必要があります。
- 公共施設については、多くの施設が老朽化し、改修や更新費用の増大などが見込まれることから、公共施設マネジメント指針で示した今後 20 年間で延床面積を 2 割削減する目標を見据え、「量」と「質」の両面から計画的見直しが必要です。

#### 図表

● 社会保障関係費（扶助費・繰出金）の推移を表すもの



資料：財政課

#### 目指す状態

更新

◎安定的な行政サービスが提供される持続可能な財政基盤が構築されている。

#### 主な取組

- ◎社会・経済情勢の動向に応じて、限られた行政経営資源を最適に配分し、最少の経費で最大の効果が得られる行政サービスの提供に取り組みます。また、ICT\*の利活用などにより業務を効率化するとともに、PDCAサイクル\*により継続的に行財政運営を改善します。（財政課、行政管理課、情報政策課、検査課）
- ◎保有する公共施設の総量の縮小や長寿命化を進め、適切に維持・管理します。（公共施設マネジメント推進課）
- ◎資産や債務の正確な把握と適切な管理に基づいた、分かりやすい財務情報の開示に取り組みます。（財政課、管財課、会計課）
- ◎市税などを適正に賦課し、徴収率の向上に取り組み、使用料・手数料などは利用者負担の適正化を推進します。（市民税課、資産税課、収納課、行政管理課）

- ◎市税や使用料・手数料収入のほか、様々な手法による自主財源を確保します。(財政課、管財課)
- ◎民間の資金、技術的能力、経営能力などを積極的に活用します。(行政管理課、公共施設マネジメント推進課)

### アンケート指標（市民が思う割合）

更新

内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
			H29	H30	R1	R2	R3	平均	
環境・体制に関する評価①	%	(H28) 20.4	19.5	18.6	20.1	22.2		20.1	↑
R元年度実績値の理由		否定的評価の割合に大きな変動はない中、肯定的評価の割合が1.5ポイント増加していることは評価できるが、依然として肯定的評価よりも否定的評価のポイントが上回っていることから、更なる改善が求められている。							
回答者自身の実践状況①	-	(H28) -	-	-	-			-	-
R元年度実績値の理由									

### 統計指標（統計による指数）

内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
			H29	H30	R1	R2	R3	備考	
実質公債費比率	%	(H27) 3.4	2.0	2.1	算定中				18%未満
R元年度実績値の理由		財政課	令和元年度分は、令和2年8月を予定						
将来負担比率	%	(H27) 37.7	46.2	44.0	算定中				150%未満
R元年度実績値の理由		財政課	令和元年度分は、令和2年8月を予定						

### 個別計画

第6次長野市行政改革大綱、長野市公共施設等総合管理計画



# 分野 1 行政経営の方針（行政経営分野）

## 政策 2 将来にわたり持続可能な行財政運営の確立

【担当部局】 総務部、財政部、企画政策部

### 施策 2 市民の満足が得られる市政の推進 【行政管理課】

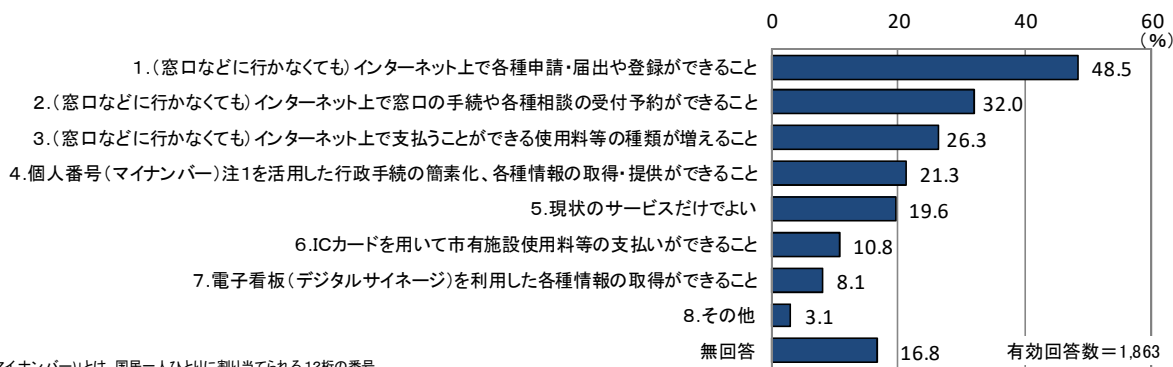
#### 現況と課題

更新

- **国におけるデジタル化の動きを念頭に置き**、複雑・多様化する市民ニーズを踏まえた質の高い行政サービスを提供していくために、成果を重視した行政運営の推進とともに、**次世代の社会の姿を見据えた** ICTの利活用及び職員の能力向上、効率的な職員配置、組織づくりが必要です。

#### 図表

- 「今後、あれば便利になると思われる行政サービス手続」についての市民意識を表すもの



注:「個人番号(マイナンバー)」とは、国民一人ひとりに割り当てられる12桁の番号

資料: 情報政策課

#### 目指す状態

更新

- ◎ **デジタル技術等を用い**、市民ニーズを踏まえた質の高い行政サービスを提供している。

#### 主な取組

- ◎ 成果を重視した計画的な行政運営に取り組みます。(行政管理課、企画課)
- ◎ 時間や場所を問わず迅速に情報処理できる ICTの利活用や各種手続の簡素化を進めます。(情報政策課、庶務課、行政管理課)
- ◎ 人事評価制度\*、各種研修、自発的な能力開発の支援や職員提案制度\*などを通じ、職員の職務に対する意欲と能力を高めめます。(職員課、職員研修所、行政管理課)
- ◎ 職員の適正配置と市民ニーズに的確かつ柔軟に対応した組織づくりに取り組みます。(職員課)

## アンケート指標（市民が思う割合）

更新

内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)	
			H29	H30	R1	R2	R3	平均		
環境・体制に関する評価①	市民のニーズを踏まえた行政運営が行われている	%	(H28) 20.2	19.2	19.5	20.4	23.3		20.6	↗
R元年度実績値の理由	肯定的評価割合が0.9ポイント増加していることは評価できるが、依然として否定的な意見が多い傾向にあることから、更なる改善が求められている。									
環境・体制に関する評価②	市の職員に好感が持てる	%	(H28) 45.2	43.4	44.7	43.8	47.3		44.8	↗
R元年度実績値の理由	否定的評価の割合が減少していることは、「市民はお客様プロジェクト」の継続による効果が大きいと考え評価できるが、更なる改善のためには全職員が同じ意識の元で取り組む必要がある。									
回答者自身の実践状況①	(設定なし)	-	(H28) -	-	-	-			-	-
R元年度実績値の理由										

## 統計指標（統計による指数）

内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)	
			H29	H30	R1	R2	R3	備考		
行政評価の達成状況	行政評価の一環として実施する施策評価における、施策の目指す状態の達成状況の割合	%	(H27) 92.0	-	-	-				100
R元年度実績値の理由	行政管理課									
オンライン化可能な申請、届出、予約手続のオンライン化実施率	オンライン化可能な申請、届出、予約手続のオンライン化実施率	%	(H27) 74.1	81.5	88.9	算定中				100
R元年度実績値の理由	情報政策課	令和元年度分は令和2年8月頃の予定								
オンライン化済の申請、届出、予約手続のオンライン利用率	平成27年度までにオンライン化済の申請、届出、予約手続のオンライン利用率	%	(H27) 58.8	63.7	63.7	算定中				70.2
R元年度実績値の理由	情報政策課	令和元年度分は令和2年8月頃の予定								

## 個別計画

第6次長野市行政改革大綱、第四次長野市高度情報化基本計画

# 分野 1 行政経営の方針（行政経営分野）

## 政策 2 将来にわたり持続可能な行財政運営の確立

【担当部局】 総務部、財政部、企画政策部

### 施策 3 地方中核都市としての役割の遂行 【企画課】

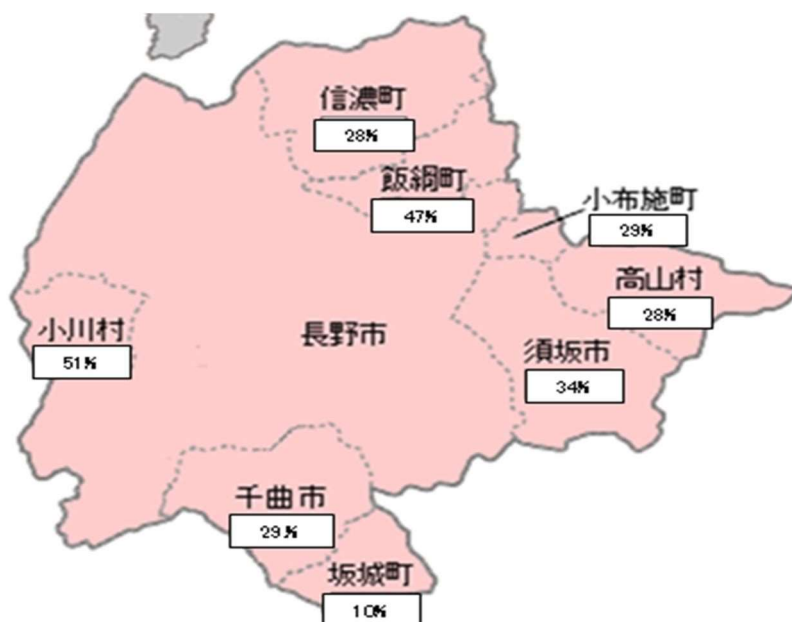
#### 現況と課題

更新

- 地方中核都市として、近隣市町村等との連携や中核市相互の連携を強化し、**人口減少対策や経済基盤の強化に取り組むこと**で連携する市町村全体の発展を見据え、**持続可能な地域づくりを目指す**必要があります。

#### 図表

- 近隣8市町村の長野市への通勤通学割合を表すもの



資料：企画課（平成 27 年「国勢調査」）

#### 目指す状態

更新

- ◎地方公共団体間の連携を有効に活用し、連携する市町村全体が発展している。

#### 主な取組

- ◎連携中枢都市圏構想\*など地方公共団体間の連携を推進し、連携する市町村全体の発展につなげます。（企画課）
- ◎長野広域連合\*において、ごみの焼却施設・最終処分場の設置管理などの事務を共同処理することで、効率的な行政サービスを提供します。（企画課）
- ◎中核市等との連携を強化し、共同研究や情報共有の成果を行財政運営に活かします。（企画課）

## アンケート指標（市民が思う割合）

更新

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	平均	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	%	(H28)	28.8	27.1	29.2	31.3		29.1	↑
			30.9							
	R元年度実績値の理由	観光や移動手段について意見はあったが、否定的意見にはPR不足を旨とするものが寄せられており、全体として取組内容が住民に周知されていないものと思われる。								
	回答者自身の実践状況①	(設定なし)	-	(H28)	-	-	-	-	-	-
	R元年度実績値の理由									

## 統計指標（統計による指数）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	備考	
統計指標	長野地域の定住人口	人	(H27)	538,608	535,241	531,791				526,000
			541,368							
	R元年度実績値の理由	企画課	長野市、高山村、信濃町、小川村、飯綱町において推計値よりも減少したため、圏域全体としては推計値（532,000人）よりも209人下回った。							

## 個別計画

長野地域連携中枢都市圏ビジョン

## 分野 2 保健・福祉分野

# 分野 2

人にやさしく人がいきいき暮らすまち「ながの」(保健・福祉分野)

## 政策 1 少子化対策、切れ目ない子ども・子育て支援

【担当部局】 こども未来部、保健福祉部

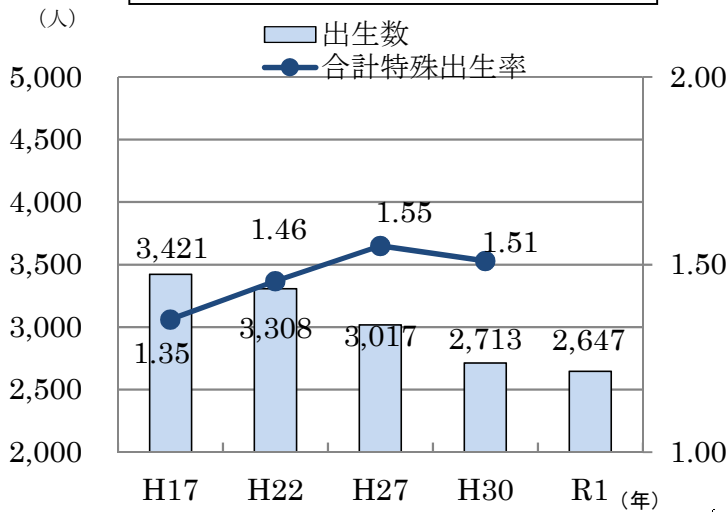
### 施策 1 結婚、妊娠・出産、子育ての切れ目ない支援 【こども政策課】

更新

#### 現況と課題

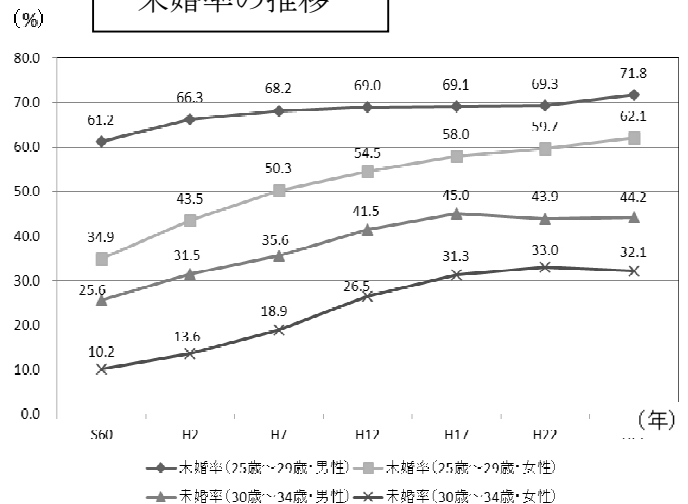
- 若い世代の未婚化や晩婚化の進行とともに、母親の就業意欲の高まりによる仕事と子育ての両立への課題、子育てへの不安や負担感があることから、更なる結婚支援の充実や男性の子育てへの参画促進など、社会全体での結婚、妊娠・出産、子育てを切れ目なく支援する必要があります。

出生数と合計特殊出生率の推移

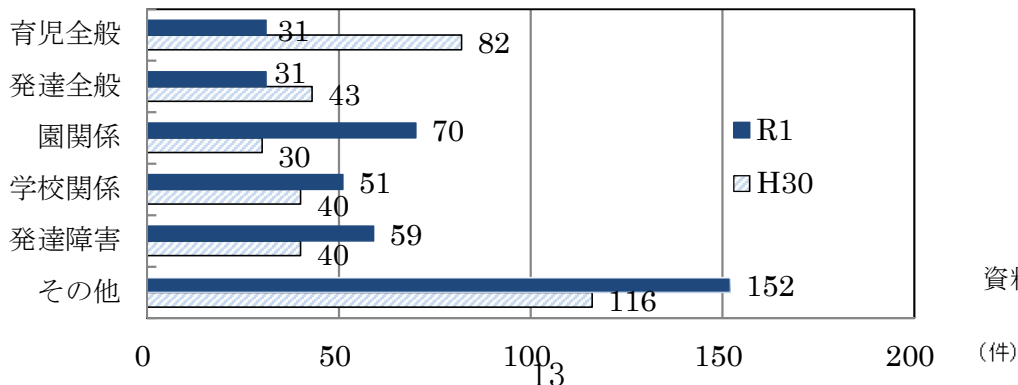


資料：企画課

未婚率の推移



こども相談室における相談件数



資料：子育て支援課

国勢調査

更新

### 目指す状態（前期基本計画策定時）

◎若い世代が結婚や妊娠・出産についての希望をかなえ、**子育てに楽しさや喜びを感じながら**、温かい社会の中で安心して子どもを育てている。

### 主な取組（前期計画策定時）

- ◎若い世代に対する結婚支援を推進します。（人口増推進課）
- ◎細やかな情報提供と相談支援などを通じて、妊娠・出産から子育てまでを切れ目なく支援します。（子育て支援課、保育・幼稚園課、健康課）
- ◎仕事と子育ての両立を支援します。（保育・幼稚園課、こども政策課、子育て支援課、人権・男女共同参画課、商工労働課）（2-5-2、6-4-1 関連）
- ◎地域ぐるみで多様な主体が、子育て・子育てを支援する取組を促進します。（保育・幼稚園課、こども政策課、福祉政策課）（5-1-3 関連）
- ◎子育て中の家庭における経済的な負担の軽減に取り組みます。（子育て支援課、保育・幼稚園課、福祉政策課）

更新

### アンケート指標（市民が思う割合）

アンケート指標	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	平均	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	%	(H28) 63.9	52.9	54.8	52.3	56.3		54.1	↑
	R元年度実績値の理由		子どもがいる家庭での肯定的割合は、昨年度より上昇しているが、全体としては減少している。20代、30代、60代以上で肯定的割合が減少している。これは、主にひとり暮らし（単身）の肯定的割合が減少したものである。また、モニターの肯定的割合も昨年より上昇している。							
	回答者自身の実践状況①	%	(H28) 45.3	47.9	42.5	45.2	48.5		46.0	↑
R元年度実績値の理由	子どもがいる家庭の肯定的割合の上昇、全体としても肯定的回答の割合が昨年度より上昇している。20代、30代で肯定的割合が昨年より減少しているが、これはひとり暮らし（単身）の肯定的割合が減少したものである。									

### 統計指標（統計による指数）

統計指標	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	備考	
統計指標	合計特殊出生率 (年)		(H27) 1.55	1.56	1.51	算定中				1.65
	R元年度実績値の理由		企画課	合計特殊出生率は出生数÷女性人口(15歳～49歳)により算出されるが、平成30年度は前年度比で出生数の減少率が女性人口の減少率を上回ったため低下した。令和元年度分は令和2年10月算定予定						

### 個別計画

長野市子ども・子育て支援事業計画

## 分野 2

人にやさしく人がいきいき暮らすまち「ながの」(保健・福祉分野)

### 政策 1 少子化対策、切れ目ない子ども・子育て支援

【担当部局】 こども未来部、保健福祉部

#### 施策 2 子どもの成長を育む環境の充実 【保育・幼稚園課】

##### 現況と課題

更新

●乳幼児期の教育・保育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培うとともに、「学びの入口」としても重要であることから、家庭、地域、幼稚園・保育所・認定こども園が、教育・保育に対する共通の認識を持ち連携しながら、子ども一人ひとりの健やかな育ちを支えていく必要があります。

子どもの頃の体験と大人になってからの意欲・関心等との関係  
(平成 22 年以降更新データなし)

##### 目指す状態

更新

◎乳幼児期の子どもが、安心感や人への信頼感を土台にして健やかに育ち、その後の発達・成長の基礎となる力を着実に育んでいる。

##### 主な取組

- ◎幼稚園・保育所・認定こども園における、子育てを支える教育・保育の質や職員の力量の向上に取り組みます。(保育・幼稚園課)(5-1-1 関連)
- ◎幼稚園・保育所・認定こども園の連携に取り組むとともに、小学校との連携を推進します。(保育・幼稚園課、学校教育課)(5-1-1 関連)
- ◎需要の見込みに応じ、乳幼児期の教育・保育を適正に提供する体制を確保します。(保育・幼稚園課)
- ◎子どもの健やかな成長を育む家庭環境づくりを支援します。(子育て支援課、健康課、保育・幼稚園課、家庭・地域学びの課)(5-1-3 関連)

##### アンケート指標 (市民が思う割合)

更新

アンケート指標	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	平均	
環境・体制に関する評価①	幼稚園・保育所・認定こども園における教育・保育が充実している	%	(H28)	51.5	52.1	50.9	53.6		52.0	↑
			57.4							
R元年度実績値の理由	4月に待機児童が11人確認されたこと及び「希望の施設に入れない」という意見があったことから、全ての保護者が希望どおりの施設を利用できていない状況が一因と思われる。									
回答者自身の実践状況①	子育てしている家庭を温かく見守り、必要な時には手助けしている(再掲: 2-1-1)	%	(H28)	47.9	42.5	45.2	48.5		46.0	↑
			45.3							
R元年度実績値の理由	子どもがいる家庭の肯定的割合の上昇、全体としても肯定的回答の割合が昨年度より上昇している。20代、30代で肯定的割合が昨年より減少しているが、これはひとり暮らし(単身)の肯定的割合が減少したものである。									



## 統計指標（統計による指数）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	備考	
統計指標	子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じる保護者の割合	%	(H27)	アンケート未実施	86.3	80.4				92.0
	市内の幼稚園・保育所・認定こども園に通園している子どもの保護者の状況		89.1							
	R元年度実績値の理由	保育・幼稚園課	子育てに喜び等を感じていない人はほとんどいないものの、「喜びと悲しみの繰り返し」「子育ては試練だとも思う」「余裕がない」と感じる人がおり「どちらでもない」との回答が増加した。							
	家庭で日頃、子どもに絵本の読み聞かせをしている保護者の割合	%	(H27)	アンケート未実施	89.9	90.0				92.0
市内の幼稚園・保育所・認定こども園に通園している子どもの保護者の状況	88.9									
R元年度実績値の理由	保育・幼稚園課	私立施設職員も対象とした絵本の読み聞かせの研修を実施したこと。また、園だより等で保護者へ絵本の読み聞かせの大切さを啓発したことが微増した理由と思われる。								

## 個別計画

長野市子ども・子育て支援事業計画、長野市乳幼児期の教育・保育の指針

## 分野 2

### 政策 1 少子化対策、切れ目ない子ども・子育て支援

【担当部局】 こども未来部、保健福祉部

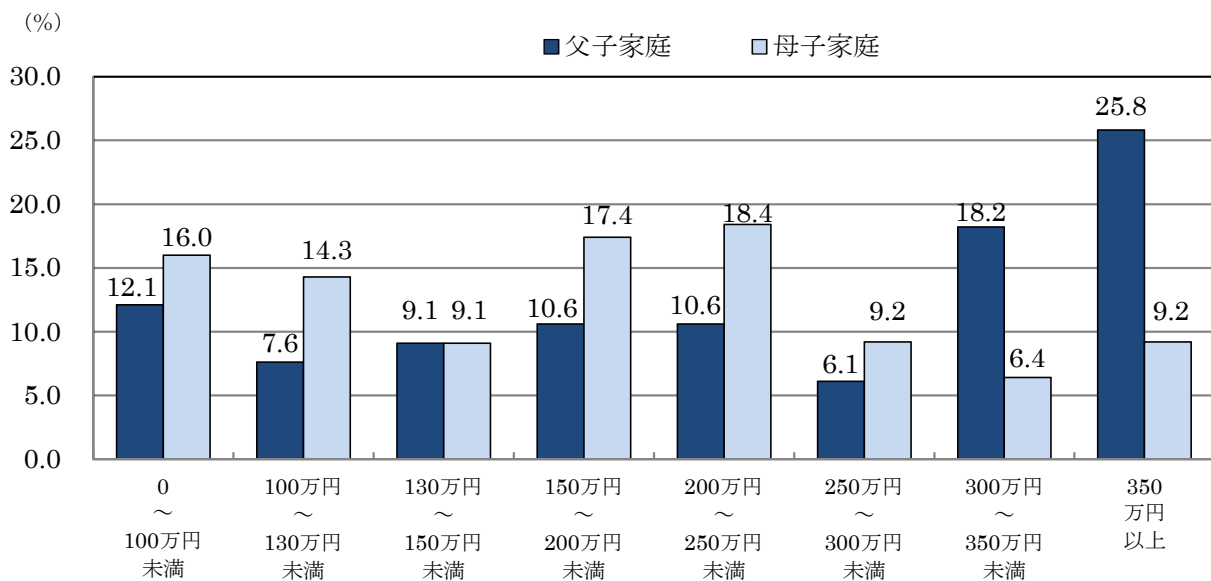
#### 施策 3 社会的援助を必要とする家庭等の自立支援 【子育て支援課】

##### 現況と課題

更新

- **子育てに関わる保護者等からの悩みなどの相談に応じて適切な支援につなげるほか**、厳しい社会・経済状況の中、ひとり親家庭などで就労・就学が困難な状況に置かれている人に対し、**経済的な自立に向けた支援とともに**、経済的に厳しい状況が次世代に連鎖しないよう支援する必要があります。

ひとり親家庭の年間収入（平成 27 年度） ※27 年度以降の更新データなし



資料：子育て支援課（「平成 27 年度 長野県ひとり親家庭実態調査」）

注：児童扶養手当 台帳登録者を対象

##### 目指す状態

更新

- ◎ **子育てに関わる保護者等が悩みを抱え込むことなく相談につなげられ**、すべての子どもが安定した環境の中、**地域に見守られながら**、安心して暮らしている。

## 主な取組

- ◎社会的援助を必要とする家庭の子どもに対する生活・学習への支援や、保護者に対する相談支援・経済的支援を推進します。(子育て支援課、生活支援課、教育委員会総務課)(5-1-2 関連)
- ◎子どもの育ちに悩みや不安を抱える保護者への相談支援に取り組みます。(子育て支援課、健康課、保育・幼稚園課、学校教育課)
- ◎児童虐待を未然に防ぐとともに、早期発見・早期対応に向けた取組を推進します。(子育て支援課、健康課)

## アンケート指標 (市民が思う割合)

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	平均	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	%	(H28)	27.8	28.0	26.4	30.6		28.2	↑
			32.5							
	R元年度実績値の理由	20～39歳の子育て世代では、肯定的な意見が否定的な意見を上回っているものの、全体的には前年度から若干減少しており、相談場所の周知が行き届いていない面があるものと思われる。								
	回答者自身の実践状況①	(設定なし)	-	(H28)	-	-	-	-	-	-
R元年度実績値の理由										

## 統計指標 (統計による指数)

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)	
				H29	H30	R1	R2	R3	備考		
統計指標	高等職業訓練促進給付金事業による就業率	%	(2人/2人)	(3人/3人)	(3人/3人)	(10人/10人)					100
			100	100	100	100					
R元年度実績値の理由	子育て支援課	養成機関を修了した全ての者が就業した。									

## 個別計画

長野市子ども・子育て支援事業計画

## 分野 2 人にやさしく人がいきいき暮らすまち「ながの」(保健・福祉分野)

### 政策 2 生きがいのある豊かな高齢社会の形成

【担当部局】 保健福祉部

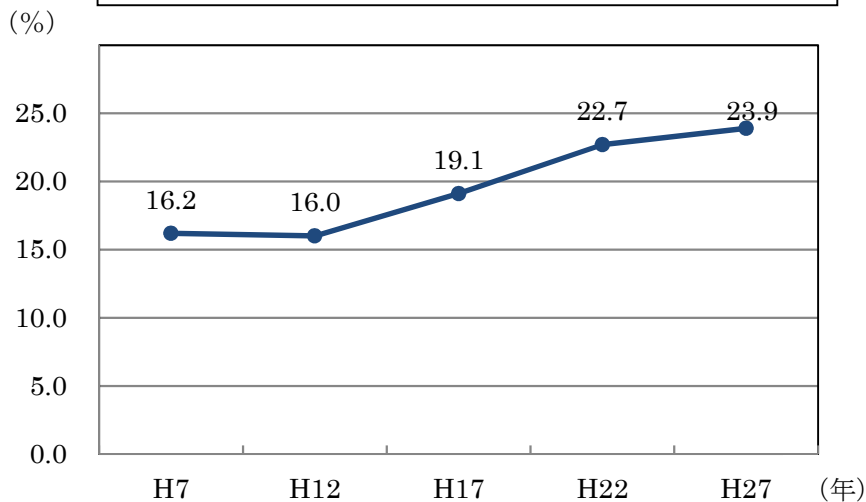
#### 施策 1 高齢者の社会参加と生きがいづくりの促進 【高齢者活躍支援課】

##### 現況と課題

更新

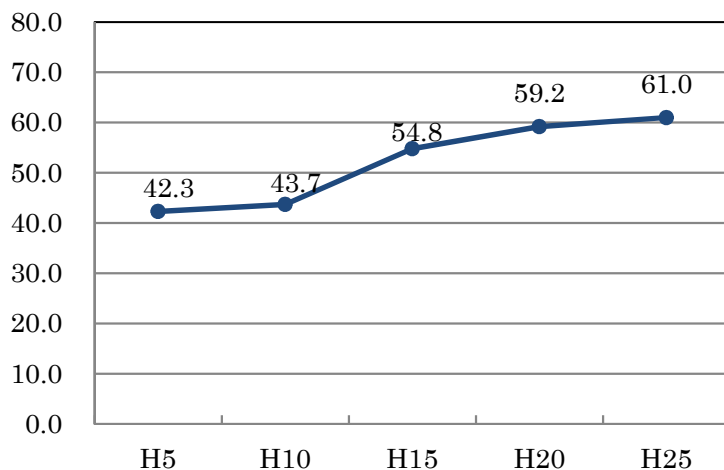
- **学びやボランティア活動、就労**などを通じて、高齢者の社会参加や生きがいづくり **に取り組んでいます。** 更なる少子・高齢化の進行に伴い、高齢者が自らの経験や能力を活かし活躍することがより一層求められることから、高齢者がこれまで以上に地域社会の担い手として活躍することを促す必要があります。

就業者に占める 60 歳以上の市民の割合の推移



資料:企画課(「国勢調査」)

何らかの地域活動をしている 60 歳以上の国民の割合



資料:内閣府(「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」)

※25年度以降のデータなし

更新

## 目指す状態

◎高齢者が自らの経験や能力を活かして積極的に社会に参加し、**様々な場面で**生きがいを感じながらいきいきと暮らしている。

## 主な取組

- ◎高齢者の地域などでの社会活動を支援します。(高齢者福祉課、介護保険課、福祉政策課、家庭・地域学びの課)
- ◎高齢者の就労を支援します。(商工労働課)(6-4-1 関連)

更新

## アンケート指標 (市民が思う割合)

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	平均	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	%	(H28)	40.5	39.5	38.2	40.4		39.7	↑
			45.0							
	R元年度実績値の理由	65歳以上の肯定的評価は46.7%と基準値を超えているが、60～64歳層の肯定的評価が前回の34.7%から31.0%へ減少したことが主な要因である。								
	回答者自身の実践状況①	(設定なし)	-	(H28)	-	-	-	-	-	-
R元年度実績値の理由										

## 統計指標 (統計による指数)

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	備考	
統計指標	社会参加している60歳以上の市民の割合	%	(H27)	83.5	81.9	82.2				84.0
			79.5							
R元年度実績値の理由	高齢者活躍支援課	「就労」、「ボランティア」の項目で、前回の値を上回ったことが主な要因である。								

## 個別計画

第7次長野市高齢者福祉計画・第6期長野市介護保険事業計画

## 分野 2

### 政策 2 生きがいのある豊かな高齢社会の形成

更新

【担当部局】 保健福祉部

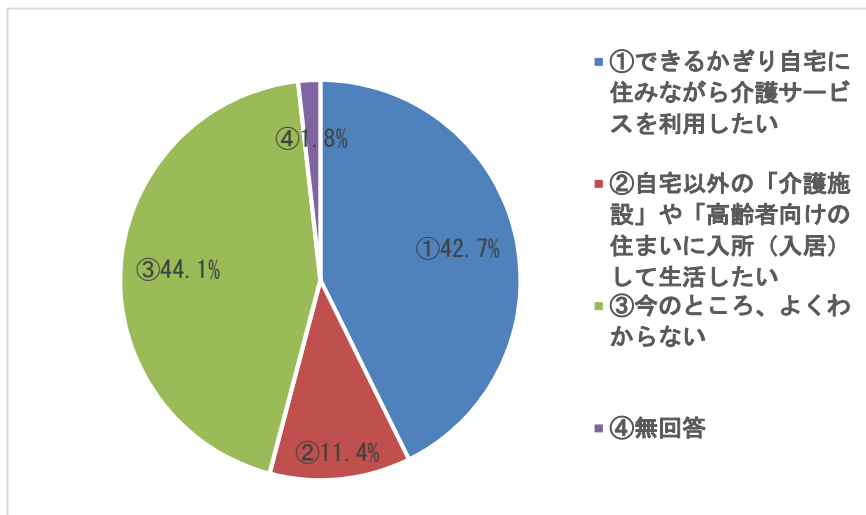
#### 施策 2 地域包括ケアシステムの深化・推進 【地域包括ケア推進課】

現況と課題

更新

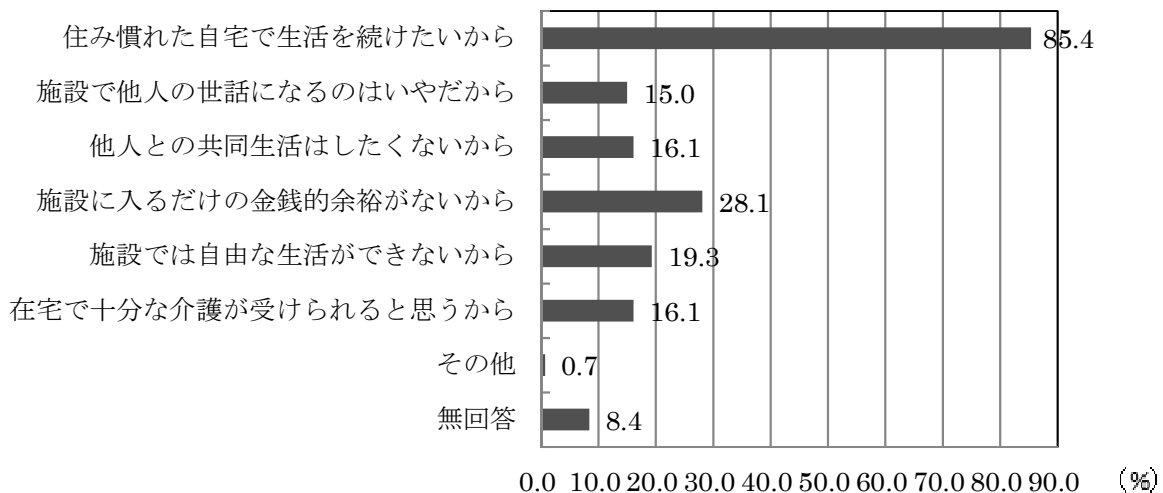
- 高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を続けるために、医療、介護、**保健**・介護予防、住まい、生活支援を切れ目なく提供する地域包括ケアシステムを充実させる必要があります。

「介護が必要になった場合の生活の場の希望」についての市民意識 (令和元年)



資料：高齢者活躍支援課  
(令和元年「高齢者等実態調査」)

「自宅で介護サービスを利用したい理由」についての市民意識 (令和元年)



資料：高齢者活躍支援課 (令和元年「高齢者等実態調査」)

更新

## 目指す状態

◎高齢者が自ら介護予防・**健康維持**の取組を実践するとともに、介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域の中で、**必要な介護を受けながら最後まで自分らしく安心して暮らしている。**

## 主な取組

- ◎介護予防を推進するとともに、医療、介護、住まい、福祉サービスなどを包括的・継続的に提供する体制を確立します。(地域包括ケア推進課、介護保険課、健康課、高齢者活躍支援課、住宅課)
- ◎認知症の早期発見・早期対応や、認知症高齢者とその家族を地域で支える取組を促進します。(地域包括ケア推進課、介護保険課)
- ◎要介護高齢者に対する介護保険サービス基盤の整備を促進します。(介護保険課、高齢者活躍支援課)

更新

## アンケート指標（市民が思う割合）

アンケート指標	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値					目標値(R3)	
				H29	H30	R1	R2	R3		平均
環境・体制に関する評価①	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境が整っている	%	(H28)							
			49.0	42.4	38.5	37.6	45.1		40.9	↑
R元年度実績値の理由	モニターの否定的な意見では、公共交通機関や小売店などインフラの縮小に関するものが多く、また、一人暮らしを地域で支え合うネットワークや在宅介護に対する不安も見られる。									
回答者自身の実践状況①	ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている	%	(H28)							
			52.5	56.6	49.7	52.3	54.7		53.3	↑
R元年度実績値の理由	少子高齢化、人口減少社会が進行する中、各地区自治組織等を中心に、住民による地域での支え合い活動が実施されている。地域コミュニティ機能の低下等が懸念される中、住民同士の見守り・支援への積極的な参加が、今後の地域を支える基盤になるとの認識は定着しつつあると考えている。									

## 統計指標（統計による指数）

統計指標	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値					目標値(R3)	
				H29	H30	R1	R2	R3		備考
要介護状態ではない高齢者の割合	高齢者（65歳以上）のうち、要介護認定（要介護1～5）を受けていない人の割合	%	(H27)							
			86.7	86.7	86.9	86.8				86.1
R元年度実績値の理由	介護保険課	高齢者（65歳以上）数の増加率と比較して、同程度の比率で推移している。 H30：13.1%（14,379人／109,892人）⇒H31：13.2%（14,580人／110,525人）								

## 個別計画

第8次長野市高齢者福祉計画・第7期長野市介護保険事業計画

## 分野 2 人にやさしく人がいきいき暮らすまち「ながの」(保健・福祉分野)

### 政策 3 だれもが自分らしく暮らせる社会の形成

【担当部局】 保健福祉部

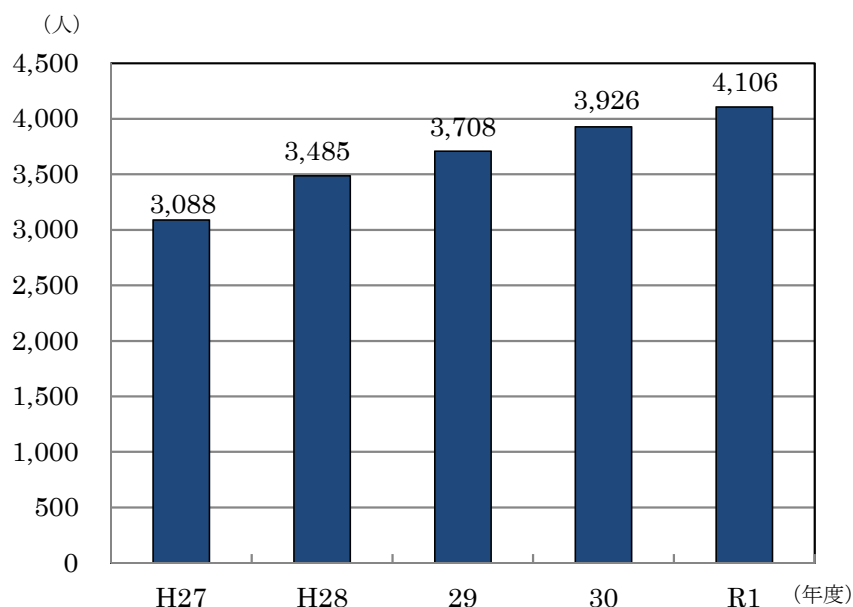
#### 施策 1 障害者(児)福祉の充実 【障害福祉課】

##### 現況と課題

更新

- 障害福祉サービスに対する需要が年々増加するとともに多岐にわたっていることから、障害のある人の状況や要望等を的確に把握し、**必要な支援が適切に提供できる体制の確保が必要となります。**
- 障害に対する理解を促進し、障害者差別の解消に向けた取組を進める必要があります。**

障害福祉サービスにおける計画相談支援事業の利用者数の推移を表すもの



資料：障害福祉課

##### 目指す状態

更新

- ◎障害の有無によって分け隔てられることなく、だれもが自分らしく安心して暮らしている。

##### 主な取組

- ◎障害のある人のニーズに応じた多様な障害福祉サービスを提供するとともに、社会参加を支援します。(障害福祉課)(6-4-1 関連)
- ◎障害や障害のある人に関する理解を促進し、障害者差別解消に向けた取組を推進します。(障害福祉課、人権・男女共同参画課)(7-1-3 関連)
- ◎子どもの障害の早期発見や切れ目のない相談支援に取り組みます。(健康課、子育て支援課、障害福祉課、保育・幼稚園課、学校教育課)(5-1-2 関連)



更新

## アンケート指標（市民が思う割合）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	平均	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	%	(H28)	23.4	22.4	21.9	25.9		23.4	↑
			26.7							
	R元年度実績値の理由	肯定的評価割合が微減（0.5%減）となっており、これは「バリアフリーはあまり進んでいないと思う。」などを理由とするモニターからの否定的な回答割合が0.4%増加したためと考えられる。								
	回答者自身の実践状況①	%	(H28)	67.9	63.3	64.3	64.8		65.1	↑
	65.2									
R元年度実績値の理由	肯定的評価割合が増加し、否定的評価割合が減少している。徐々に障害者に対する理解が進み、意識が向上しているものと考えられる。									

## 統計指標（統計による指数）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	備考	
統計指標	一般企業の障害者雇用率（年）	%	(H27)	2.11	2.21	2.22				2.37
			2.06							
	R元年度実績値の理由	障害福祉課	関係機関を含む取組の成果が表れてきていると思われる。							

## 個別計画

長野市障害者基本計画、第四期長野市障害福祉計画

## 分野 2

### 政策 3 だれもが自分らしく暮らせる社会の形成

【担当部局】 保健福祉部

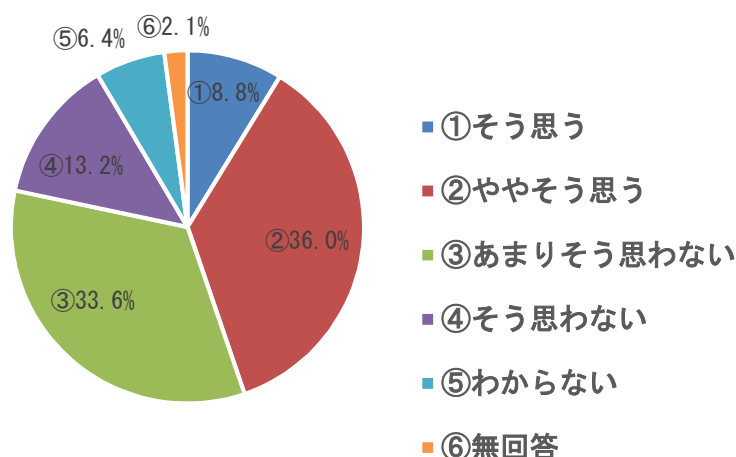
施策 2 認め合い、支え合い、活かし合う地域社会の実現 【福祉政策課】

#### 現況と課題

更新

- 単独世帯の増加などにより、家族や地域住民相互のつながりが希薄化する中で、社会的孤立等地域における課題に加え、**高齢化や生活困窮などの課題が複合的に生じている世帯が増えていることから**、行政・住民・関係機関等が連携して解決に取り組むことが必要です。

地域や隣近所でお互いに支え合い助け合う関係が築かれている（平成 28 年）  
資料：（平成 28 年「まちづくりアンケート」）



#### 目指す状態

更新

- ◎ 市民一人ひとりが、地域の中で互いに認め合い、支え合い、活かし合いながら、**安心して自分らしく**いきいきと暮らしている。

#### 主な取組

- ◎ 地域福祉を推進するための啓発を進め、担い手の創出などの基盤づくりを促進します。（福祉政策課）
- ◎ 地域福祉を推進する実施主体間のネットワークづくりを促進します。（福祉政策課）
- ◎ 身近な地域での見守り・支え合いを促進します。（福祉政策課、高齢者福祉課）

更新

## アンケート指標（市民が思う割合）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	平均	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	%	(H28)	45.0	46.0	42.6	47.0		45.2	↑
			49.7							
	R元年度実績値の理由	地域において、支え合い、助け合いの関係が築こうとする意識は高まっているが、築かれていると実感している市民が減少していると考えられる。								
	回答者自身の実践状況①	%	(H28)	61.3	57.9	59.1	61.4		59.9	↑
	55.6									
R元年度実績値の理由	若干の変動はあるが、肯定的な評価が男女とも半数以上を占めており、困り事に対する助け合いの関係づくりを築こうとする意識が高まっていると考えられる。									

## 統計指標（統計による指数）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	備考	
統計指標	地区地域福祉活動計画の評価に取り組んでいる地区数（再掲：1-1-2）	地区	(H27)	24	27	28				32
			17							
R元年度実績値の理由	福祉政策課	実施地区数が増加しており、支え合い活動の推進において、地区地域福祉推進活動計画の進捗状況の把握や検証、見直しの必要性が浸透しつつある。								

## 個別計画

## 第三次長野市地域福祉計画

## 分野 2

人にやさしく人がいきいき暮らすまち「ながの」(保健・福祉分野)

### 政策 3 だれもが自分らしく暮らせる社会の形成

【担当部局】 保健福祉部

#### 施策 3 生活の安定と自立への支援 【生活支援課】

##### 現況と課題

更新

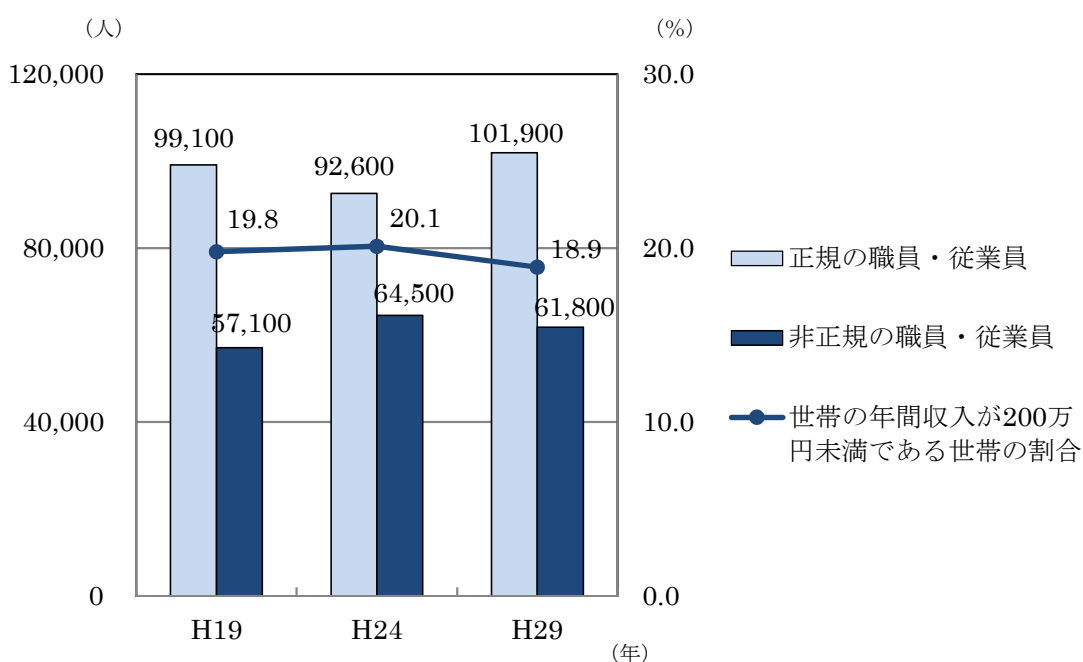
- 近年の雇用状況の変化に伴い、既存の社会保険制度・労働保険制度や最終的なセーフティネットである生活保護制度だけでは、市民の安定した生活を支えきれなくなっていることから、生活に困っている人が自立した生活を送れるように支援する「第2のセーフティネット(生活困窮者自立支援制度)」を充実する必要があります。

##### 3段階のセーフティネット



資料：生活支援課

##### 世帯の年間収入が200万円未満である世帯の割合と雇用形態別雇用者数の推移



資料：企画課「就業構造基本調査」

**目指す状態**

更新

◎だれもが幾重にもはりめぐらされたセーフティネットに守られ、その状況に応じて可能な限り自立し、困窮することなく安定した生活を送っている。

**主な取組**

- ◎生活困窮世帯や生活保護世帯に対して就労を支援します。(生活支援課)
- ◎世帯の実情に即した生活保護の適正な運用に取り組みます。(生活支援課)

**アンケート指標 (市民が思う割合)**

更新

内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
			H29	H30	R1	R2	R3	平均	
環境・体制に関する評価①	%	(H28)	23.5	21.7	22.4	25.4		23.3	↑
		27.3							
R元年度実績値の理由	長野市生活就労支援センター（愛称：まいさぼ長野市）の認知度が進み、実績を上げている。								
回答者自身の実践状況①	-	(H28)	-	-	-			-	-
R元年度実績値の理由									

**統計指標 (統計による指数)**

内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
			H29	H30	R1	R2	R3	備考	
「まいさぼ長野市」の支援により就労した人の割合	%	(H27)	55.9	51.9	54.1				45.0
		38.6							
R元年度実績値の理由	生活支援課	生活困窮の早期の段階で相談に結びつけることができ、自立就労できた人が多くなってきている。							

## 分野 2

人にやさしく人がいきいき暮らすまち「ながの」(保健・福祉分野)

### 政策 4 安心して暮らせる健康づくりの推進

【担当部局】 保健福祉部

#### 施策 1 健康の保持・増進の支援 【健康課】

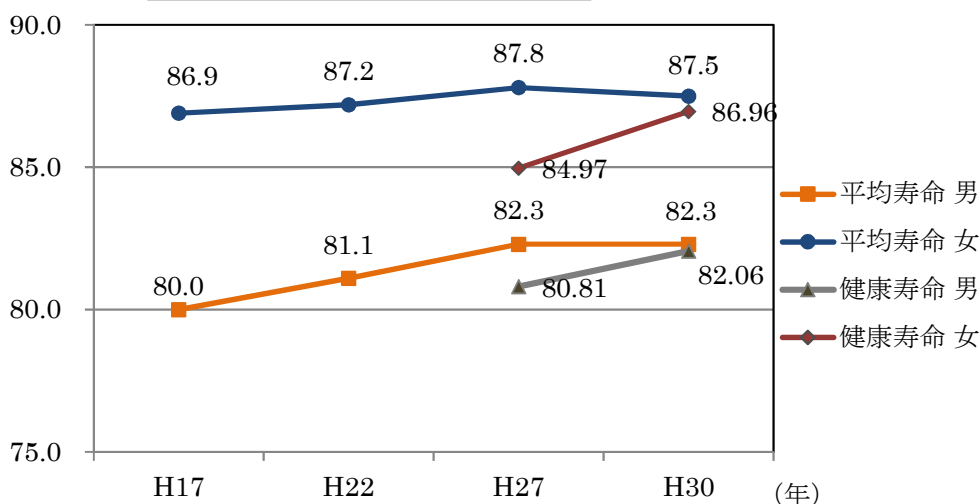
##### 現況と課題

更新

- **少子高齢化が急速に進む中、人生 100 年時代を見据え、生き生きと健康で自立した生活を送り続けることが重要であることから、一人ひとりが健康意識を高め、生涯を通じて主体的に健康づくりに取り組む** が必要です。
- 30 年以上にわたり、市民の死因の第 1 位はがん(悪性新生物)であることから、がんの予防と早期発見・早期治療を併せて推進することが必要です。

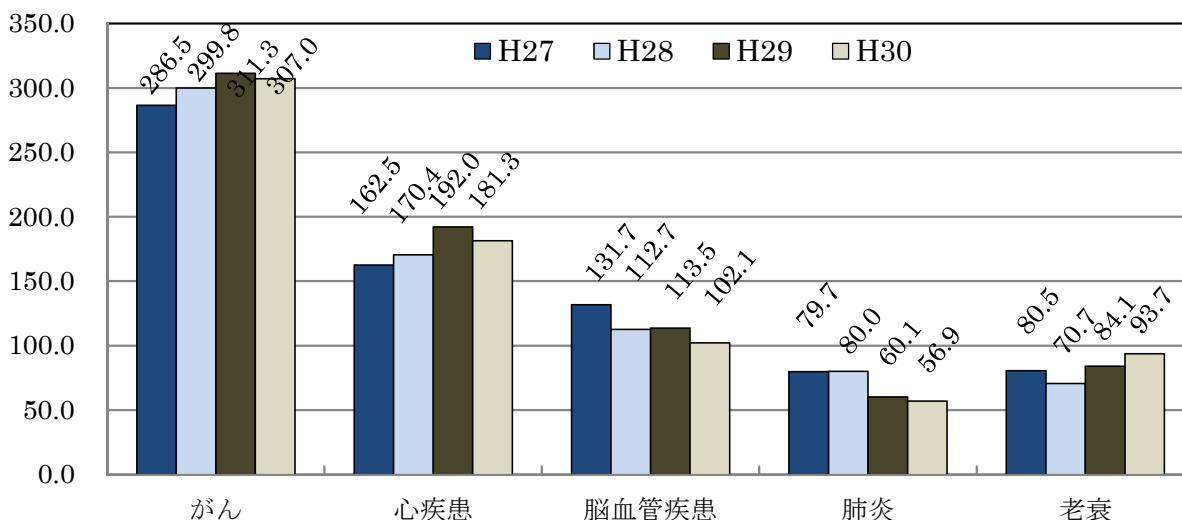
(年)

平均寿命と健康寿命の推移



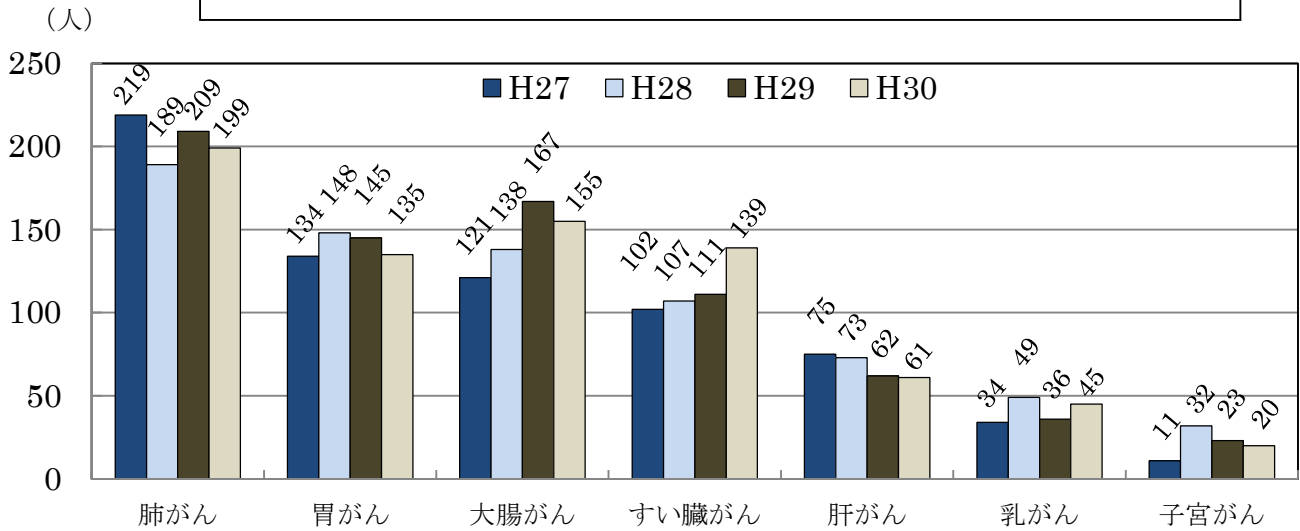
資料：健康課

主な死因別死亡率(10万人当たり)



資料：健康課

市民の死因とがんの部位別死亡者数の推移



資料：健康課

更新

目指す状態

◎市民一人ひとりが健康の大切さを認識し、生涯を通じて主体的に健康づくりに取り組み、自分らしく生きがいをもって生活している。

主な取組

- ◎地域・学校・職場などとの連携により、健康の保持・増進に向けた市民一人ひとりの意識の向上や行動の改善を促す取組を推進します。(健康課)
- ◎子どもの頃からの健全な食生活や運動・スポーツの習慣の定着に向けた取組を推進します。(健康課、スポーツ課) (5-4-1 関連)
- ◎生活習慣病の発症予防・重症化予防やがんの早期発見・早期治療に向けた、各種検診(健診)による健康管理を促進します。(健康課、国民健康保険課、高齢者活躍支援課)

アンケート指標 (市民が思う割合)

更新

内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値					目標値 (R3)	
			H29	H30	R1	R2	R3		平均
環境・体制に関する評価①	%	(H28) 49.5	43.9	43.3	42.7	45.3		43.8	↗
R元年度実績値の理由		体力や健康づくりに関するプログラムやイベント開催等は充実しているとの意見がある一方で、平日以外に利用・アクセスできる健康づくりの場や情報を望む声がある。							
回答者自身の実践状況①	%	(H28) 56.8	62.8	60.1	58.9	63.3		61.3	↗
R元年度実績値の理由		継続的に取り組むという実感は個々に異なるため、仕事や子育てで忙しくまとまった時間がとれないと継続出来ていないと回答している傾向がある。							

## 統計指標（統計による指数）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	備考	
統計指標	健康寿命（年）	年	(H27)	(H29)	(H30)	算定中				
	介護保険の要介護認定者数等を用いて算定した、日常生活動作が自立している期間の平均		男80.81 女84.97	男80.94 女85.16	男82.06 女86.96					
	R元年度実績値の理由	健康課	R1年分は令和2年12月算定予定							
	75歳未満のがん死亡率（年）	—	(H26)	(H29)	(H30)	算定中				
75歳未満における、人口10万人当たりのがんの年齢調整死亡率	57.1		64.0	R1年度12月算定						
R元年度実績値の理由	健康課	R1年12月に国の統計が公表される予定だったが遅れているため今後算出予定。								

## 個別計画

ながの健やかプラン 21（第3次長野市健康増進計画・第3次長野市食育推進計画）、第7次長野市高齢者福祉計画・第6期長野市介護保険事業計画



## 分野 2

人にやさしく人がいきいき暮らすまち「ながの」(保健・福祉分野)

### 政策 4 安心して暮らせる健康づくりの推進

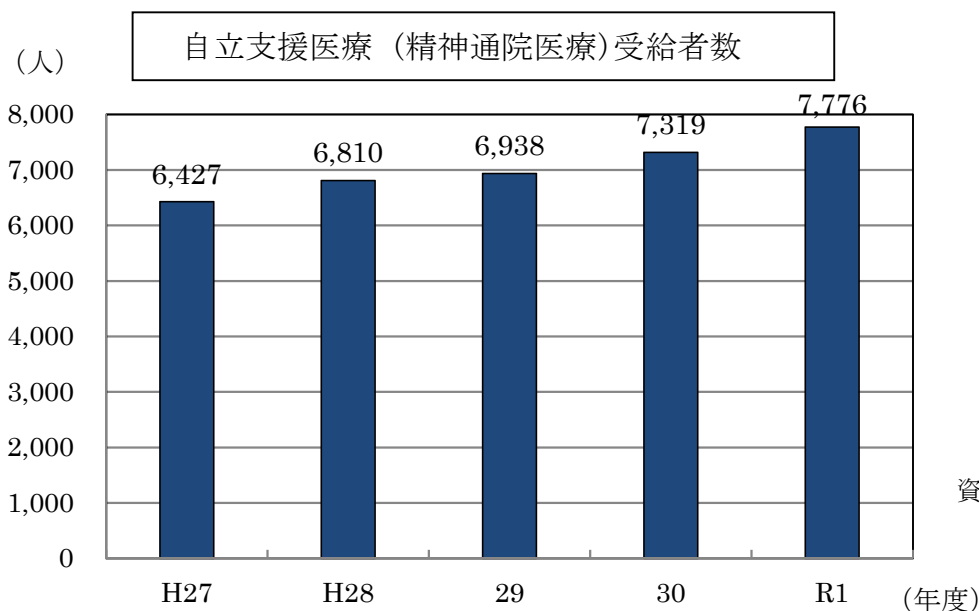
【担当部局】 保健福祉部

#### 施策 2 保健衛生の充実 【健康課】

##### 現況と課題

更新

- 新興感染症や再興感染症の世界的流行に備えた体制整備と、感染症予防に対する正しい知識の普及啓発が必要です。
- 健康の不安、対人関係、経済的理由など様々な要因が複合的に連鎖し、加えて新興感染症による生活様式の変化や感染への不安などにより強いストレスを感じる人や心を病む人、ひきこもり者等が増えていることから心の健康づくりを推進することが必要です。



##### 目指す状態

更新

- ◎ 感染症の流行に備えた体制が整備され、地域に密着した専門性の高い保健衛生事業の提供により、だれもが健やかで安心・安全に暮らしている。

##### 主な取組

- ◎ こころの健康に関する正しい知識の普及・啓発や相談支援に取り組むとともに、自殺予防に関する総合的な対策を推進します。(健康課)
- ◎ 感染症の正しい知識を普及・啓発するとともに、感染症の予防や早期発見・感染拡大防止体制を整備します。(健康課、環境衛生試験所)
- ◎ 食品・医薬品の安全性の確保や生活衛生の向上に向けた監視・指導に取り組みます。(食品生活衛生課、環境衛生試験所)
- ◎ 犬猫の殺処分ゼロを目指す取組を推進します。(食品生活衛生課)

更新

## アンケート指標（市民が思う割合）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)	
				H29	H30	R1	R2	R3	平均		
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	不安やストレスを感じた時に相談できる体制が整っている	%	(H28) 21.7	17.8	17.4	16.7	20.8		18.2	↗
	R元年度実績値の理由		相談内容や対象者別の相談窓口を市民啓発用リーフレット「いのちの支援相談窓口」として作成しているが、地域出前講座の実施回数の減少等により相談窓口のPRの機会が少なかったため								
	回答者自身の実践状況①	不安やストレスを一人で抱え込まないようにしている	%	(H28) 64.8	69.2	69.0	66.4	68.4		68.3	↗
	R元年度実績値の理由		地域出前講座の実施回数の減少によりストレスの対処法について周知をする機会が少なかったため、また新型コロナウイルス感染症の流行拡大により、3月の自殺対策強化月間に併せた街頭啓発等の取り組みが実施できなかったため								

## 統計指標（統計による指数）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)	
				H29	H30	R1	R2	R3	備考		
統計指標	自殺率（年）	人口10万人当たりの自殺率	以下	(H27) 18.5	14.9	17.1	15.9				15.5以下
	R元年度実績値の理由	健康課	30代の自殺者が減少（11人→5人）したため								

## 個別計画

ながの健やかプラン 21（第3次長野市健康増進計画・第3次長野市食育推進計画）

## 分野 2

### 政策 4 安心して暮らせる健康づくりの推進

【担当部局】 保健福祉部

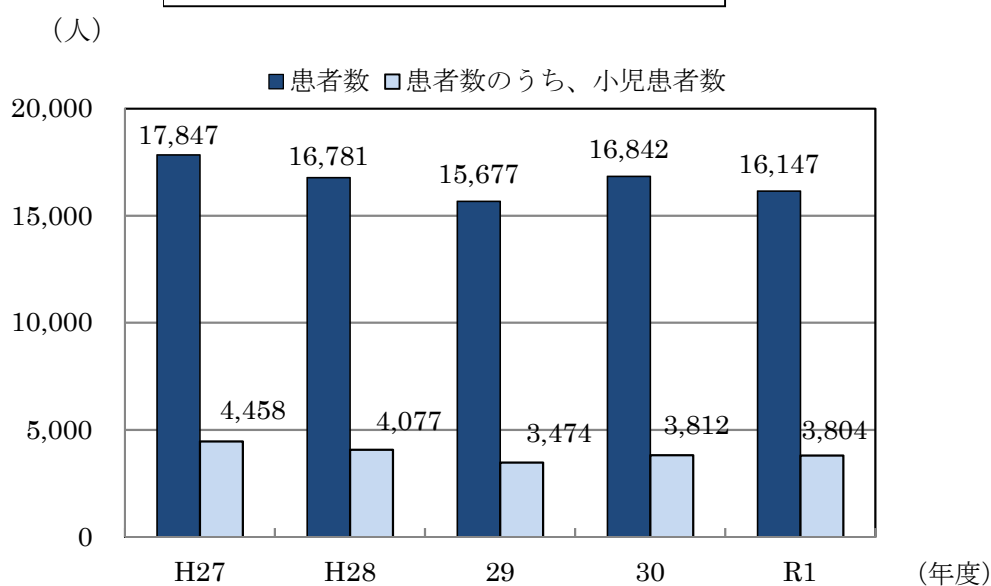
#### 施策 3 地域医療体制の充実 【医療連携推進課】

##### 現況と課題

更新

- **医療機関の診療時間外における救急患者を確実に受け入れるため、医療提供体制の確保が必要です。**

長野市急病センター利用者数の推移



資料：医療連携推進課

##### 目指す状態

更新

- ◎ **だれもが**必要とする時に、**適切な**医療サービスを**受けている。**

##### 主な取組

- ◎ 医師会や医療機関との連携により、救急医療体制を強化します。（医療連携推進課、保健所総務課）（4-1-2 関連）
- ◎ 高度急性期医療\*や地域完結型医療\*の提供体制の整備を支援します。（医療連携推進課、保健所総務課）
- ◎ 中山間地域における国民健康保険診療所による医療提供体制を維持します。（医療連携推進課）
- ◎ 医療に関する患者・市民からの相談等に対応します。（保健所総務課）
- ◎ 公的医療保険や福祉医療制度を安定的に運営します。（国民健康保険課、高齢者福祉課、福祉政策課）

## アンケート指標（市民が思う割合）

更新

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	平均	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	%	(H28)	58.4	60.3	58.2	62.8		59.9	↑
	必要な医療サービスを受けられる体制が整っている		62.9							
	R元年度実績値の理由	市街地及びその周辺地域が比較的高いのに対して、医療機関が少ない中山間地域では低い傾向にある。								
	回答者自身の実践状況①	%	(H28)	73.7	74.3	74.7	74.7		74.4	→
かかりつけ医がいる	75.4									
R元年度実績値の理由	10歳代を除き年代が高くなるにつれて、かかりつけ医がいる割合が高くなる傾向がある。									

## 統計指標（統計による指数）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	備考	
統計指標	健康寿命（年） （再掲：2-4-1）	年	(H27)	男80.94 女85.16	男82.06 女86.96	算定中				平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加
	介護保険の要介護認定者数等を用いて算定した、日常生活動作が自立している期間の平均		男80.81 女84.97							
R元年度実績値の理由	健康課	R1年12月に国の統計が公表される予定だったが遅れているため今後算出予定。								

## 分野 2 人にやさしく人がいきいき暮らすまち「ながの」(保健・福祉分野)

### 政策 5 人権を尊ぶ明るい社会の形成

【担当部局】 地域・市民生活部

#### 施策 1 人権尊重社会の実現 【人権・男女共同参画課】

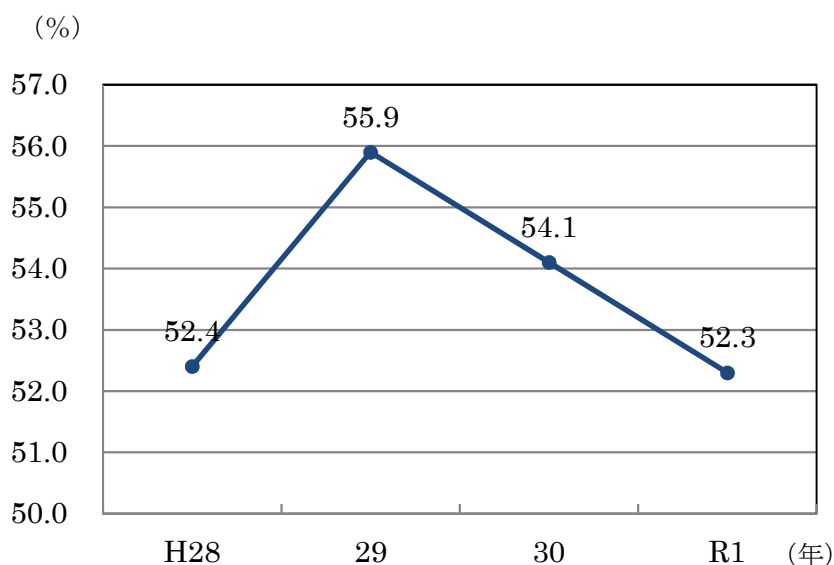
##### 現況と課題

更新

- 同和問題をはじめとする差別、いじめ、虐待、性犯罪、暴力、ハラスメント、**誹謗中傷**、インターネットによる人権侵害などにより、人間としての尊厳を傷つけられている人がいます。また、**セクシュアルマイノリティへの偏見など、生きづらさを感じている人もいることから**、市民一人ひとりが人権尊重の意義や様々な人権問題についての理解と認識を深める必要があります。

「人権問題について理解を深めようとしている」と思う市民の割合  
(企画課「まちづくりアンケート」)

※総合計画に掲載されている「生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている」と思う市民の割合が H29 年度以降はアンケート未実施のため人権に係る別のアンケート項目を掲載



##### 目指す状態

更新

- ◎市民一人ひとりが、生涯にわたり自分の大切さとともに他の人の大切さを認め、人権を尊重している。

##### 主な取組

- ◎家庭・地域・学校・職場などあらゆる場における、様々な人権問題に関する教育・啓発活動を推進します。(人権・男女共同参画課)
- ◎人権問題に関する相談体制を充実します。(人権・男女共同参画課)

更新

## アンケート指標（市民が思う割合）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	平均	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	%	(H28)	34.5	34.2	33.1	35.9		34.4	↑
			40.7							
	R元年度実績値の理由	30歳から64歳までの世代で否定的評価が肯定的評価を上回っている。否定的意見として「排他的に感じる」「よそ者を受け入れずらい」がある一方、「昔ながらの付き合いが多くプライバシーを守れない」という意見もあり、相手への干渉程度と距離の取り方等感じ方が人により異なるためと思われる。								
	回答者自身の実践状況①	%	(H28)	55.9	54.1	52.3	56.5		54.7	↑
	52.4									
	R元年度実績値の理由	40歳代を除くすべての世代で肯定的評価が否定的評価を上回っている。40歳代の否定的意見として「関心がない」「機会がない」があり、研修会等の取組が住民に十分周知されていないか、関心がないため目に留まらないものと思われる。								

## 統計指標（統計による指数）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	備考	
統計指標	人権教育・啓発研修会参加者の満足度	%	(H28)	90.0	86.3	83.3				92.0
			89.8							
	R元年度実績値の理由	人権・男女共同参画課	「とてもわるい」「わるい」と回答した人はいないものの、「ふつう」と回答した人の割合が1.87ポイント増加した。また、令和元年度東日本台風災害の影響により後半多くの研修会が中止となり、回答者が減少した。							

## 個別計画

長野市人権政策推進基本方針

## 分野 2

### 政策 5 人権を尊ぶ明るい社会の形成

【担当部局】 地域・市民生活部

#### 施策 2 男女共同参画社会の実現 【人権・男女共同参画課】

##### 現況と課題

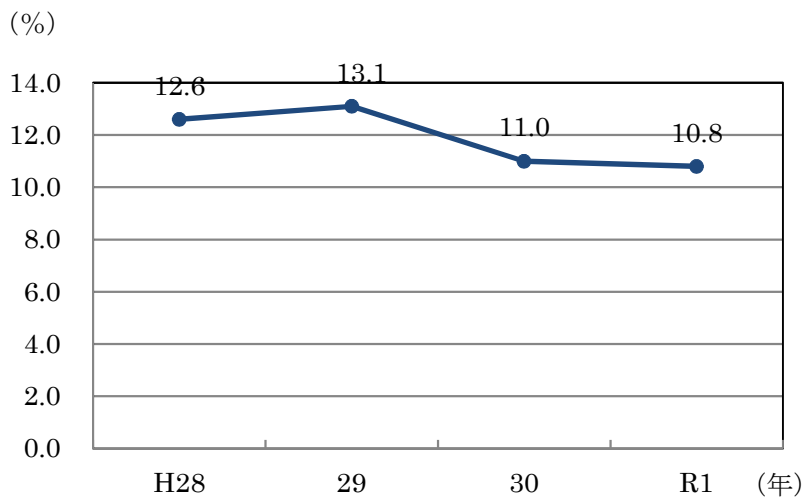
更新

- 性別による固定的な役割分担の意識が根強く残っていることから、意識改革のための取組を推進するとともに、**男女が共に活躍できる**社会環境を整備する必要があります。

「社会全体において、男女が平等である」と思う市民の割合

（人権・男女共同参画課「男女共同参画に関する市民意識と実態調査」）

（注）総合計画に掲載されている「男女が尊重しあい、等しく参加・活躍できる地域社会が築かれている」と思う市民の割合が H29 年度以降はアンケート未実施のため男女平等に関係する別のアンケート項目を掲載



##### 目指す状態

更新

- ◎男女が社会の対等な構成員として個性と能力を十分に発揮し、自らの意思により社会のあらゆる分野で**活躍する**機会が確保されている。

##### 主な取組

- ◎男女共同参画意識の向上に向けた教育・啓発活動を推進します。（人権・男女共同参画課）
- ◎社会の様々な分野における女性の参画の拡大を促進します。（人権・男女共同参画課）
- ◎性別による不利益を受けることなく、仕事と生活を自ら希望するバランスで両立できる環境の整備を促進します。（人権・男女共同参画課）（2-1-1、6-4-1 関連）

## アンケート指標（市民が思う割合）

更新

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	平均	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	%	(H28) 29.0	25.5	24.1	23.1	27.0		24.9	↗
	R元年度実績値の理由		出産後の女性が再び活躍できる環境が整っていないなどの職場に対する意見や、依然として古い慣習が地域に残っていて男女の差を感じていても、その慣習を変えにくい雰囲気があると感じている否定的な意見が1.0ポイント増えたため。							
	回答者自身の実践状況①	%	(H28) 47.3	50.3	48.6	49.6	51.2		49.9	↗
R元年度実績値の理由	講演会、セミナー、職場での勉強会等、様々な機会を捉えて意識の醸成を図ったり、地域や家庭において男女共同参画に触れることにより個々の関心を高めているなど肯定的な意見が1.0ポイント増えたため。									

## 統計指標（統計による指数）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	備考	
統計指標	地域の方針決定の場への女性の参画度	%	(H27) 16.4	16.5	16.0	17.9				30.0
	R元年度実績値の理由		人権・男女共同参画課	地区役員には男性が就くといい風潮が根強く残っていることに加え、地域において意欲ある女性はいるものの少数であり、単独での地域参画に躊躇してしまうことから役職への就任に結びつかないと考えられる。						

## 個別計画

みとめあい ささえあい 21 第三次長野市男女共同参画基本計画



# 分野 3 環境分野

# 分野3 人と自然が共生するまち「ながの」(環境分野)

## 政策1 環境に負荷をかけない持続可能な社会の形成

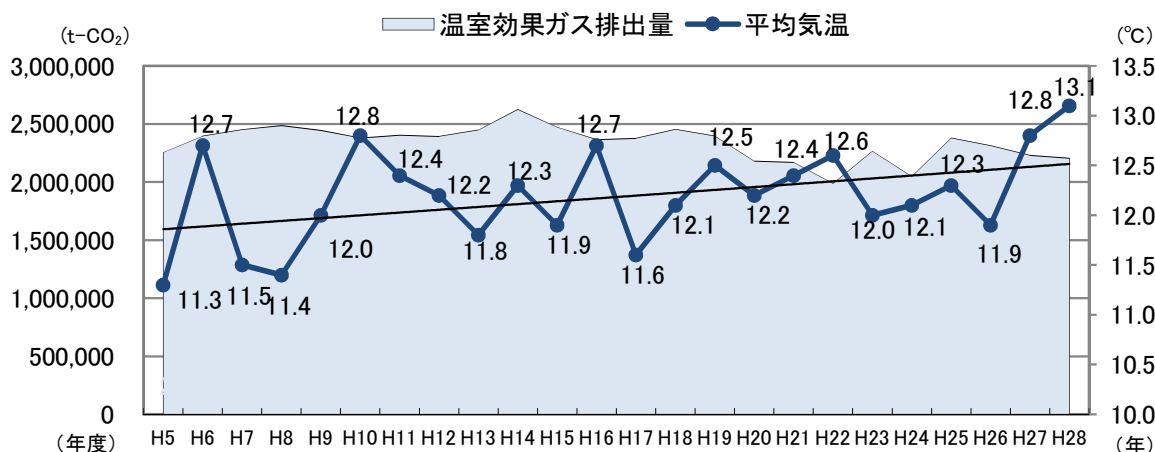
【担当部局】 環境部、農林部

施策1 脱炭素社会の実現 【環境保全温暖化対策課】 更新

### 現況と課題 更新

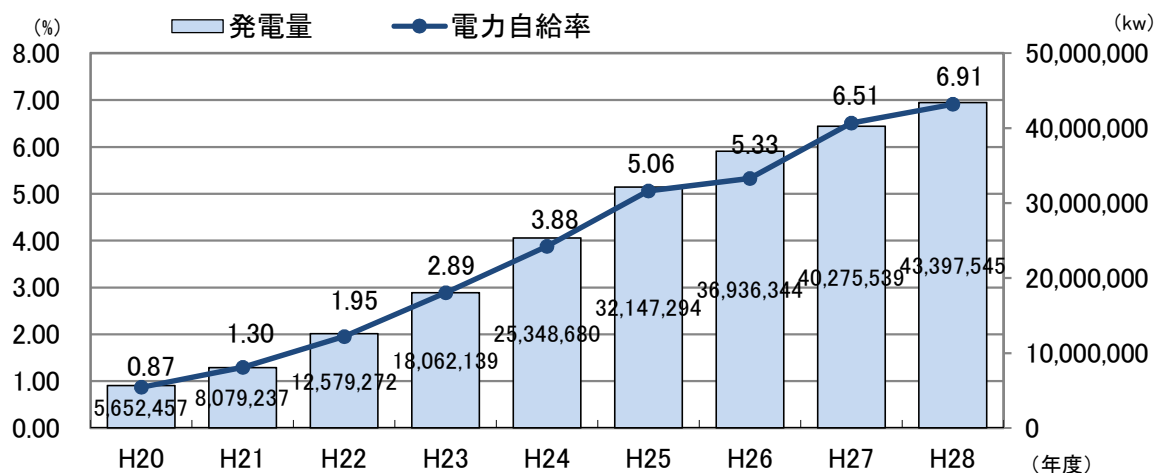
●地球温暖化による市民生活等の影響が顕在化する中、SDGsの達成や2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする取組が強く求められています。気候変動の緩和策としては、温室効果ガスの排出削減のため、有効な再生可能エネルギーの普及拡大やエネルギー消費の効率化などを推進するほか、森林資源が豊富な地域特性を生かした地域固有の木質バイオマスエネルギーの活用を促進する必要があります。また、進行する気候変動への適応策としては、影響軽減や早期警戒に関する教育や啓発などの対策の重要性が高まっています。

図表 温室効果ガス排出量と平均気温の推移を表すもの



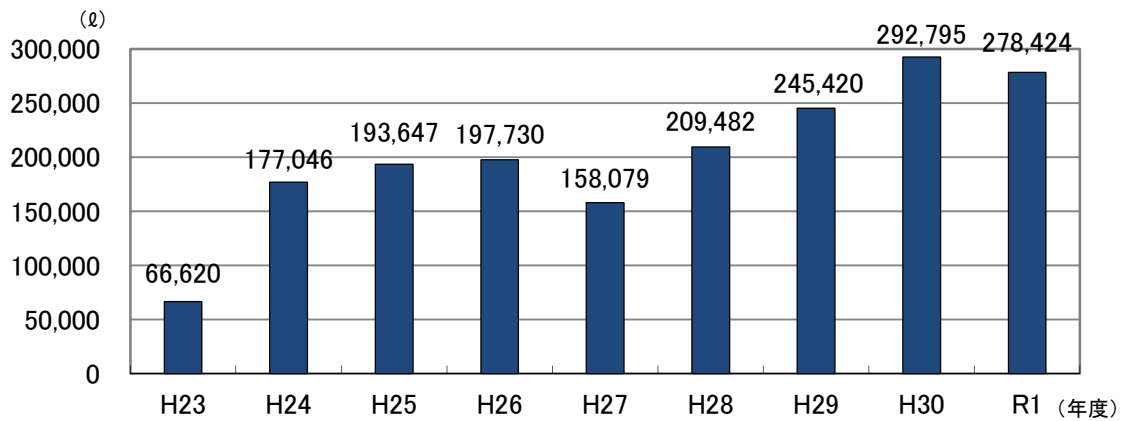
資料：環境保全温暖化対策課

図表 太陽光発電による家庭の電力自給率の推移を表すもの



資料：環境保全温暖化対策課

**図表** 木質バイオマス燃料需要量（灯油換算）の推移を表すもの



資料：環境保全温暖化対策課

**目指す状態** **更新**

◎温室効果ガスの排出削減を意識した日常生活や事業活動が営まれ、排出量が年々減少している。

**主な取組**

- ◎木質バイオマスエネルギー資源の活用を促進します。（環境保全温暖化対策課、森林農地整備課）（6-2-3 関連）
- ◎再生可能エネルギーの適正な活用を促進します。（環境保全温暖化対策課）
- ◎家庭や事業所等の省エネルギーを促進します。（環境保全温暖化対策課）（7-2-1 関連）
- ◎森林等によるCO<sub>2</sub>吸収を促進します。（森林農地整備課）（6-2-3 関連）

**アンケート指標（市民が思う割合）** **更新**

内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値					目標値 (R3)	
			H29	H30	R1	R2	R3		平均
環境・体制に関する評価①	%	(H28) 27.4	37.0	27.4	24.3	24.8		28.4	↑
R元年度実績値の理由	太陽光発電やエコカーの普及、節電対策などへの取組が一定程度進んでいる一方で、交通関連の取組を不十分と感じる方が多く、全体として肯定的評価をする割合が少ないものと思われる。								
回答者自身の実践状況①	%	(H28) 43.3	44.0	40.9	38.0	40.4		40.8	↑
R元年度実績値の理由	太陽光発電やエコカーの普及、節電対策などへの取組が一定程度進んでいる一方で、交通関連の取組や温暖化対策のPRを不十分と感じる方が多く、全体として肯定的評価をする割合が少ないものと思われる。								

**統計指標（統計による指数）**

内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値					目標値 (R3)
			H29	H30	R1	R2	R3	
温室効果ガス排出量	kg-co2以下	(H24) 14.55	R2算定	R3算定	R4算定			14.08
R元年度実績値の理由	(使用統計の公表時期により概ね3年前のものを算定) 温室効果ガス排出量は電力の排出係数変動の影響が大きいが、H25年度以降は係数が高めで推移しており、H28年度は16.01kg-co2となった。なお、H29年度の実績値はR3年2月発表予定。							
再生可能エネルギーによる電力自給率 (発電設備容量)	%	(H26) 39.1	49.5	51.8	R2算定			60.0
R元年度実績値の理由	環境保全温暖化対策課 太陽光発電設備の増加により、自給率が上昇している。							
木質バイオマス燃料需要量 (灯油換算)	ℓ	(H27) 180,120	245,420	292,795	278,424			330,000
R元年度実績値の理由	環境保全温暖化対策課 主に暖冬の影響によりペレットの消費が減り需要量が減少している。							

## 個別計画

第二次長野市環境基本計画、アジェンダ 21 ながの～環境行動計画～2013、長野市地球温暖化対策地域推進計画、長野市バイオマスタウン構想、長野市森林整備計画

# 分野3 人と自然が共生するまち「ながの」(環境分野)

## 政策1 環境に負荷をかけない持続可能な社会の形成

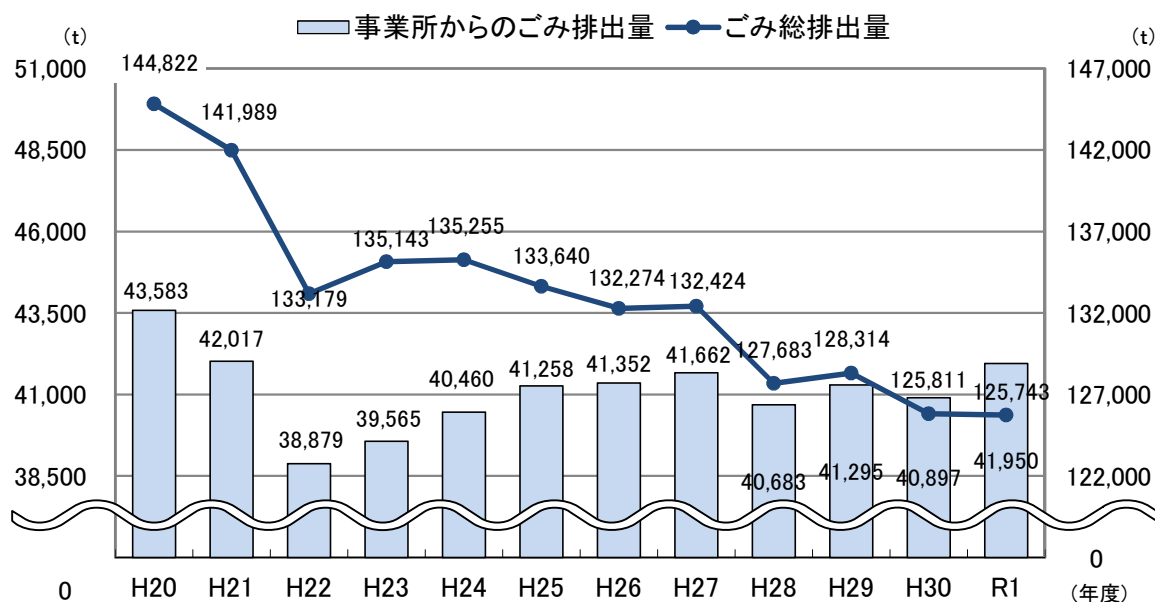
【担当部局】 環境部、農林部

### 施策2 循環型社会の実現 【生活環境課】

#### 現況と課題 更新

- 家庭ごみ処理有料制度等の導入や地域における資源回収の定着により、ごみの総排出量は減少傾向ですが、事業所からのごみの排出量が**横ばい**であることから、事業所に対する啓発・指導を強化する必要があります。
- 長野広域連合が進める広域での効率的なごみ処理体制の構築に、構成市町村の一員として協力していく必要があります。**

**図表** ごみ排出量の推移を表すもの



資料：生活環境課

#### 目指す状態 更新

- ◎市民や事業者がごみの発生抑制に積極的に取り組み、排出量が年々減少している。

#### 主な取組

- ◎事業所からのごみの発生抑制に向けた啓発・指導を強化します。(生活環境課、廃棄物対策課、環境保全温暖化対策課)
- ◎家庭等からのごみの発生抑制を促進します。(生活環境課、環境保全温暖化対策課)
- ◎資源の適正かつ有効な利活用を促進します。(生活環境課、環境保全温暖化対策課、廃棄物対策課)
- ◎関係市町村と連携した広域的なごみ処理体制を構築します。(生活環境課)
- ◎ごみの適正処理を推進します。(生活環境課、廃棄物対策課)

## アンケート指標（市民が思う割合）

更新

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)	
				H29	H30	R1	R2	R3	平均		
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている	%	(H28) 50.0	58.6	47.3	44.4	45.4		48.9	↗
	R元年度実績値の理由	自らはごみの分別を徹底している、食べ物を無駄にしないなど環境に対する関心は高いものの、ごみ集積所にいつも大量のごみが出ているなどの理由により、ごみを減らしている取組が実感できないためと思われる。									
	回答者自身の実践状況①	食べ物を無駄にしないなど、ごみを出さないように気をつけて生活している	%	(H28) 81.7	81.0	82.9	81.7	84.4		82.5	→
	R元年度実績値の理由	市、県、国による食品ロス削減の取組のほか、報道機関等による食品ロス関連の採り上げが見られることから、市民の関心の高まりと実践により、指標が高水準で維持されていると思われる。									
	回答者自身の実践状況②	使わないものを譲り合ったり、壊れたものを修理して使うなど、再利用に取り組んでいる	%	(H28) 62.6	60.8	63.4	62.8	65.1		63.0	↗
	R元年度実績値の理由	インターネットでいらないものを売る、可能な限り再利用を心掛けるなどの理由により、指標は横ばいである。									
	回答者自身の実践状況③	ごみの分別を徹底している	%	(H28) 93.3	91.5	92.5	92.2	93.7		92.5	→
R元年度実績値の理由	市によるごみ処理手数料有料化、ごみの減量・分別の指導啓発により、市民の意識が高く分別が習慣として定着しているため、指標は高い水準を維持している。										

## 統計指標（統計による指数）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)	
				H29	H30	R1	R2	R3	備考		
統計指標	事業所からのごみ排出量	事業所からのごみ排出量（産業廃棄物を除く）	t	(H27) 41,662	41,295	40,897	41,950				41,538以下
	R元年度実績値の理由	生活環境課	令和元年東日本台風災害による事業所の片付けごみが増加したため、目標達成しなかった。								
	ごみ総排出量	市民一人一日当たりのごみ排出量	g	(H27) 961	939	926	928				935以下
R元年度実績値の理由	生活環境課	食品ロス削減機運の高まりやごみ分別徹底の浸透による市の可燃ごみ処理量の減少に加え、紙離れなどによる市の資源物処理量の減少により、目標値を達成した。									

## 個別計画

第二次長野市環境基本計画、アジェンダ 21 ながの～環境行動計画～2013、  
長野市一般廃棄物処理基本計画

# 分野3 人と自然が共生するまち「ながの」(環境分野)

## 政策2 自然と調和した心地よい暮らしづくりの推進

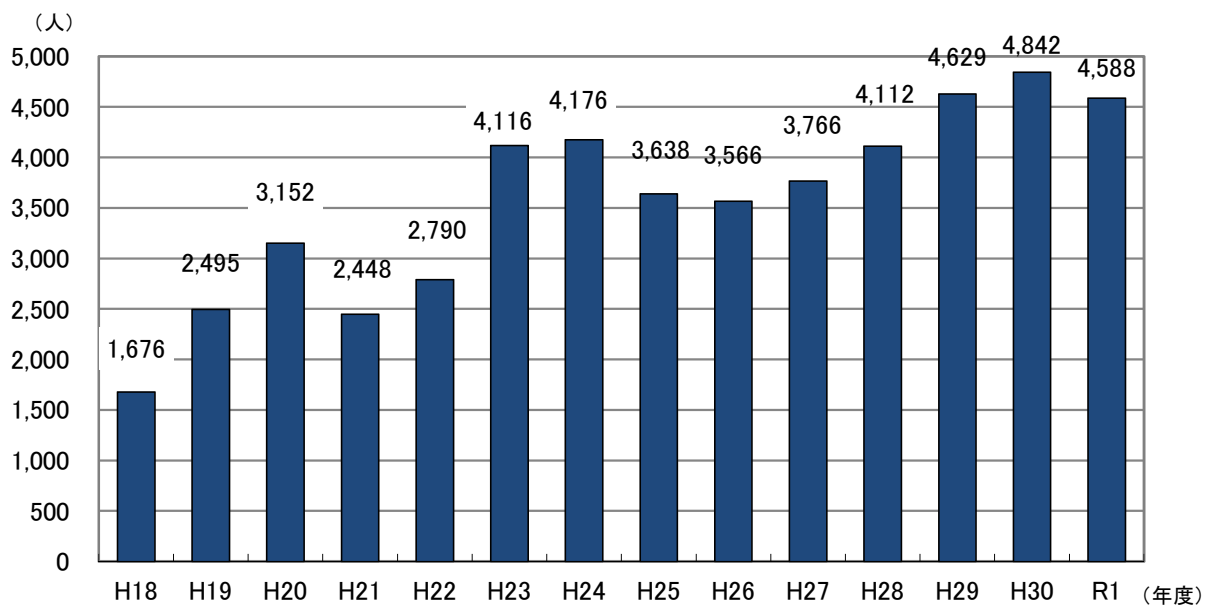
【担当部局】 環境部、保健福祉部

### 施策1 豊かな自然環境の保全 【環境保全温暖化対策課】

#### 現況と課題 更新

- **豊かな自然を守るため**保全活動に取り組んでいるものの、**希少動植物の減少、気候変動による植生の変化などが危惧されています。**
- **教育や情報発信を通じて自然環境保全に対する理解と関心を更に高めるとともに、生物多様性の保全活動などを、市民、事業者、行政が協働して取り組み、環境と共生する持続可能な社会へとつなげていく**必要があります。

**図表** 環境保全活動参加者数の推移を表すもの



資料：環境保全温暖化対策課

#### 目指す状態 更新

- ◎豊かな自然環境や**固有の生物多様性**が保たれ、自然と触れ合うことができる。

#### 主な取組

- ◎地域や事業者等の環境保全活動を促進し、多様な担い手を育成します。(環境保全温暖化対策課)
- ◎市民一人ひとりの環境保全行動を促す環境教育を推進するとともに、具体的で分かりやすい環境情報を発信します。(環境保全温暖化対策課)
- ◎地域特有の生態系を保全し、生物多様性を確保します。(環境保全温暖化対策課)
- ◎国立公園を適正に管理するとともに、利活用を促進します。(環境保全温暖化対策課、観光振興課)

## アンケート指標（市民が思う割合）

更新

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	平均	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	%	H28	71.6	69.1	69.1	72.5		70.6	→
			73.6							
	R元年度実績値の理由	大きな変動はなく、ほぼ同水準で推移している。自然環境の保持に関するニュース性のある出来事がなかったことから、変化がなかったものと思われる。								
	回答者自身の実践状況①	%	H28	46.9	49.5	49.6	53.3		49.8	↗
	50.2									
R元年度実績値の理由	自然環境保全に係る大きな出来事もなかったことから、大きな変動もなく、ほぼ同水準で推移しているが、モニター調査では2ポイント増により基準値を超え、意識の向上が見られる。									

## 統計指標（統計による指数）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	備考	
統計指標	環境保全活動参加者数	人	(H27)	4,629	4,842	4,588				4,700
			3,766							
R元年度実績値の理由	環境保全温暖化対策課									

## 個別計画

第二次長野市環境基本計画、アジェンダ 21 ながの～環境行動計画～2013



# 分野3 人と自然が共生するまち「ながの」(環境分野)

## 政策2 自然と調和した心地よい暮らしづくりの推進

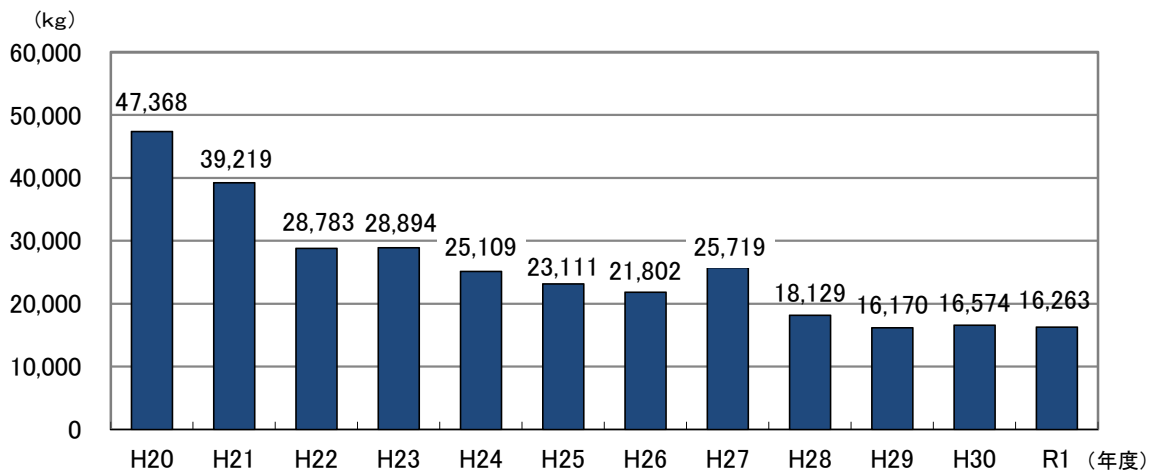
【担当部局】 環境部、保健福祉部

### 施策2 良好な生活環境の保全 【生活環境課】

#### 現況と課題 更新

- 清潔なまちなみなど生活環境は概ね良好に保たれているものの、ごみのポイ捨てや不法投棄が **あと** を絶たないことから、**環境美化に対する地域や事業者等の意識を高め**、環境美化活動を促進するとともに、捨てられにくい環境づくりを推進する必要があります。

**図表** ポイ捨て等ごみ回収量の推移を表すもの



資料：環境保全温暖化対策課

#### 目指す状態 更新

- ◎良好な生活環境が美しく保たれている。

#### 主な取組

- ◎ごみのポイ捨てや不法投棄されにくい環境づくりを推進します。(生活環境課、廃棄物対策課、環境保全温暖化対策課)
- ◎地域や事業者等の環境美化活動を促進します。(環境保全温暖化対策課、生活環境課)
- ◎ごみの不法投棄を早期に発見し、適正に処理します。(生活環境課、廃棄物対策課、環境保全温暖化対策課)
- ◎環境汚染や生活型公害を未然に防止します。(環境保全温暖化対策課、環境衛生試験所、廃棄物対策課、生活環境課)
- ◎公共用水域における水質汚濁を低減します。(生活環境課、環境保全温暖化対策課、営業課、下水道整備課)

## アンケート指標（市民が思う割合）

更新

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	平均	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	%	(H28) 74.1	71.6	71.0	71.0	74.1		71.9	→
	R元年度実績値の理由		平成30年に施行した「長野市ポイ捨て、道路等における喫煙等を防止し、きれいなまちをつくる条例」などを通じて、市の良好な生活環境への取組が評価されていると思われる。							
アンケート指標	回答者自身の実践状況①	%	(H28) 48.8	50.6	45.2	46.7	46.7		47.3	↑
	R元年度実績値の理由		市民の意識の向上により、地域の良好な環境のための環境美化活動への参加について、指標のポイントが微増した。							

## 統計指標（統計による指数）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	備考	
統計指標	ポイ捨て等ごみ回収量	kg	(H27) 25,719	16,171	16,576	16,263				21,500以下
	R元年度実績値の理由		生活環境課	条例の施行により、まちの美化、マナーの向上が市民に浸透してきており、ごみ回収量は減少した。						

## 個別計画

第二次長野市環境基本計画、アジェンダ 21 ながの～環境行動計画～2013

## 分野 4 防災・安全分野

# 分野 4

安全で安心して暮らせるまち「ながの」(防災・安全分野)

## 政策 1 災害に強いまちづくりの推進

【担当部局】 総務部、消防局

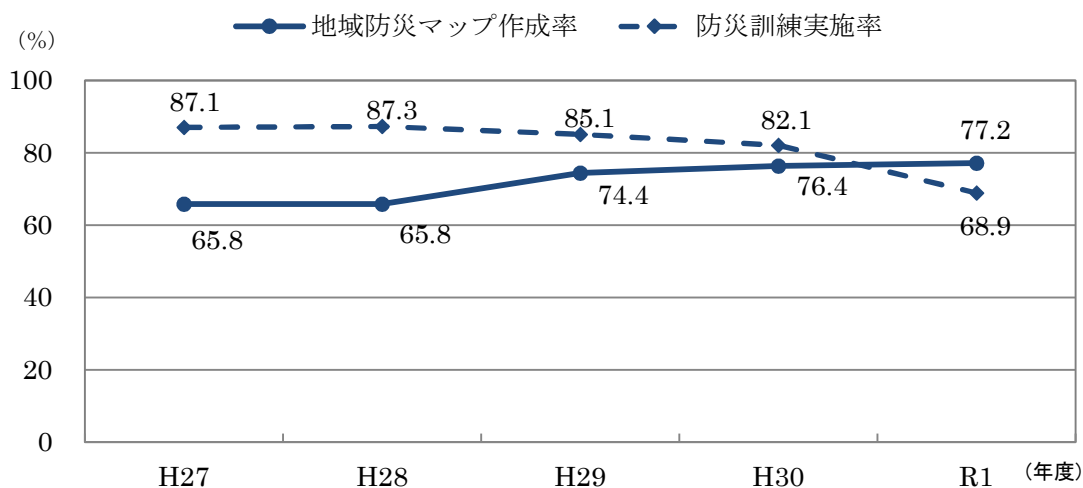
### 施策 1 防災・減災対策の推進 【危機管理防災課】

#### 現況と課題 更新

- 令和元年東日本台風災害の教訓を活かし、激甚化・頻発する災害に対して、一人一人が防災意識を高め、自助・共助(互助)・公助による防災体制を構築する必要があります。
- 自主防災組織の結成率は、100%に達しているものの、災害時の被害を最小限に抑制するため、地域の**実情**に応じた地域防災マップの作成や**感染症対策を徹底し実効性のある**防災訓練が進むよう、積極的に支援していく必要があります。

#### 図表

●地域防災マップ作成率と防災訓練実施率の推移



資料：危機管理防災課、警防課

#### 目指す状態 更新

◎災害発生に備え、被害を最小限に抑制できる体制や準備が整っている。

#### 主な取組

- ◎自助・共助(互助)意識の醸成を中心とする防災・減災の学習機会や情報を提供します。(危機管理防災課、警防課)
- ◎避難行動要支援者\*等の支援体制を充実します。(危機管理防災課、予防課、福祉政策課)
- ◎災害時における様々な資機材の備蓄や災害時に最も大切なライフラインを確保できるように取り組みます。(危機管理防災課、保健所総務課、健康課、水道維持課)(7-1-2 関連)
- ◎災害発生に備えた関係機関との連携の強化と防災施設の維持・更新に取り組みます。(危機管理防災課、保健所総務課、健康課)
- ◎治山、総合治水対策、道路防災対策により災害を未然に防止するとともに、住宅や公共・民間建築物などの耐震性の向上に取り組みます。(森林整備課、道路課、河川課、建築指導課)(6-2-3、7-1-2 関連)

## アンケート指標（市民が思う割合）

更新

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)	
				H29	H30	R1	R2	R3	平均		
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	災害時に被害を最小限に抑制できる体制や準備が整っている	%	(H28) 35.5	35.7	34.0	32.9	32.3		33.7	↗
	R元年度実績値の理由	大きな変動はなく、それぞれの回答の男女比率もほぼ同じ数値であるが、「適切な防災訓練が行われていない」といった意見がモニターから寄せられているように、特に、実践的な防災訓練が少なく有効性に疑問を持っている住民が多いものと思われる。									
	回答者自身の実践状況①	災害に備えて食料や飲料水などを備蓄している	%	(H28) 41.1	37.2	36.5	42.3	51.2		41.8	↗
	R元年度実績値の理由	前年度に比べ5.8ポイント上昇しており、「防災や家の安全について家族で話をしている」といった意見がモニターから寄せられているように、家庭での防災意識が高まっているものと思われる。									

## 統計指標（統計による指数）

更新

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)	
				H29	H30	R1	R2	R3	備考		
統計指標	地域防災マップ作成率	543自主防災組織のうち、地域の防災マップを作成した割合	%	(H27) 65.8	74.4	76.4	77.2				85.1
	R元年度実績値の理由	危機管理防災課	地域防災マップ作成については、消防局と連携し、自主防災組織や住民自治協議会に向けて作成を促しているが、令和元年東日本台風の影響等で啓発が十分に行えなかったことから、進捗率は停滞している。								
	防災訓練実施率	自主防災組織が実施する防災訓練の実施率	%	(H27) 87.1	85.1	82.1	68.9				100
	R元年度実績値の理由	警防課	自主防災訓練実施率については、全ての自主防災組織が実施することを目標にしているが、令和元年東日本台風で中止になるなどの理由により、実施率が低下した。								

## 個別計画

長野市地域防災計画、長野市水防計画、長野市国民保護計画、長野市水道ビジョン、長野市下水道10年ビジョン、長野市耐震改修促進計画

# 分野 4

安全で安心して暮らせるまち「ながの」（防災・安全分野）

## 政策 1 災害に強いまちづくりの推進

【担当部局】 総務部、消防局

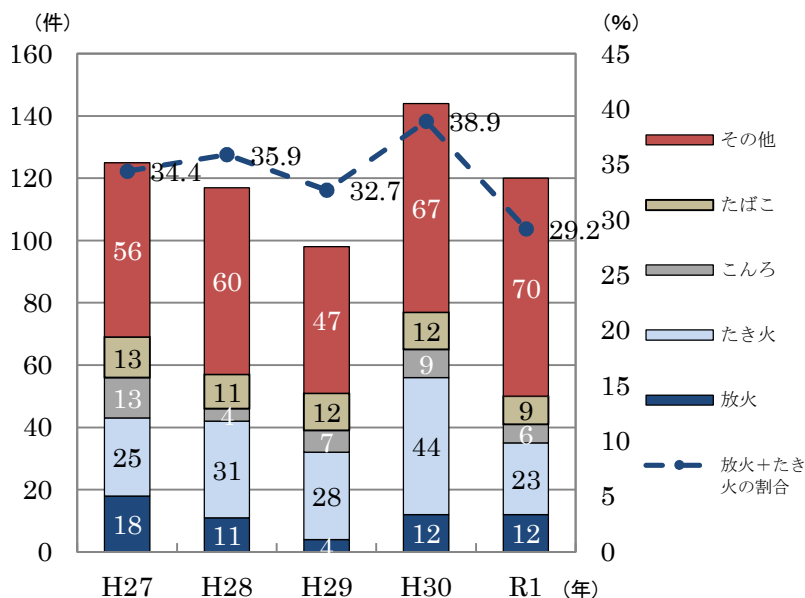
### 施策 2 消防力の充実・強化及び火災予防 【消防局総務課】

#### 現況と課題 更新

- 出火件数は概ね横ばい傾向にあり **ますが、出火原因は、**たき火と放火が全体の約3割を超えています。地域住民や消防団と連携し各種行事等を通じ、**地域に密着した効果的な広報を実施することにより、**市民の防火意識の高揚を図る必要があります。
- 高齢化の進行に伴う **高齢者の**救急需要の**増加**が見込まれ**ます。**家庭内の事故やケガを防ぐよう予防救急を推進する必要があります。

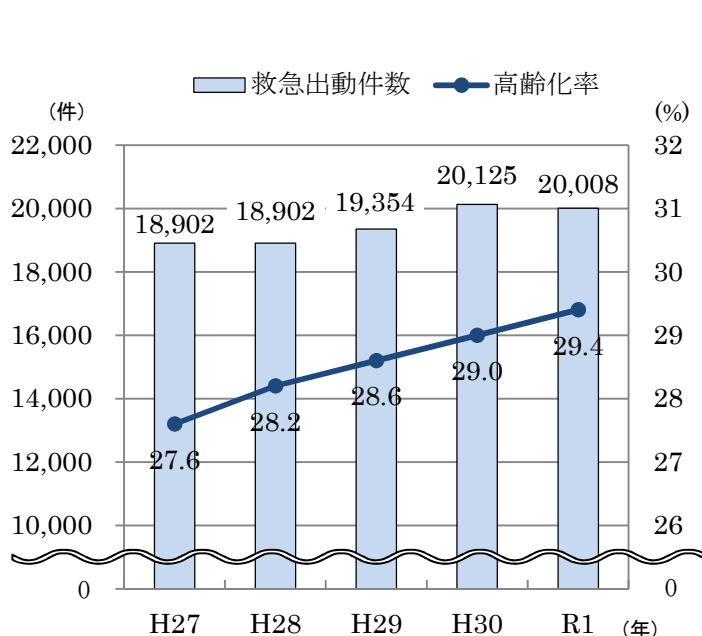
#### 図表

● 出火件数と出火原因の推移



#### 図表

● 救急出動件数と高齢化率の推移



#### 目指す状態 更新

◎市民の防火意識が高く、消防・救急・救助体制の充実により市民の生命・財産が守られている。

#### 主な取組

- ◎市民の防災意識の高揚や救急車の適正利用を促進するとともに、応急手当の正しい知識・技術の普及を啓発します。(予防課、警防課)
- ◎消防車両や消防活動に必要な資機材などの消防施設や装備を計画的に充実します。(消防局総務課)
- ◎様々な事故や災害などの緊急事態に備えた救急・救助体制を充実するとともに、医療機関との連携に取り組みます。(警防課) (2-4-3関連)
- ◎消防団への加入促進や消防団組織・活動を強化します。(警防課)

## アンケート指標（市民が思う割合）

更新

アンケート指標	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)			
				H29	H30	R1	R2	R3	平均				
環境・体制に関する評価①	消防や救急体制が十分に整っている	%	(H28)								61.6	↑	
			62.7	61.8	61.3	61.5	61.7						
R元年度実績値の理由	消防署所の配置と現場到着時間に対する肯定的意見が多く、日頃の広報及び消防団活動についても肯定されており、高い数値を維持している。年代別で65歳以上では、目標とされる現状値を超えている。												
回答者自身の実践状況①	応急手当の仕方を講習会などにより勉強している	%	(H28)									34.2	↑
			37.6	34.5	33.6	34.8	34.0						
R元年度実績値の理由	1.2ポイント増加したが、「機会がない」「やっているかわからない、知らない」などの否定的意見が多く、特に20歳から39歳までの肯定的評価が低いため目標値に達していない。												

## 統計指標（統計による指数）

更新

統計指標	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)	
				H29	H30	R1	R2	R3	備考		
出火率（年）	人口1万人当たりの出火件数	件	(H27)								3.0以下
			3.3	2.8	3.9	3.4					
R元年度実績値の理由	予防課	火災件数の減少によるもので、特に原因の上位を占めるたき火による火災の件数が減少した。令和元年はたき火による火災が29件と昨年と比較し22件減少した。									

## 個別計画

長野市地域防災計画

# 分野 4

安全で安心して暮らせるまち「ながの」（防災・安全分野）

## 政策 2 安心して暮らせる安全社会の構築

【担当部局】 地域・市民生活部

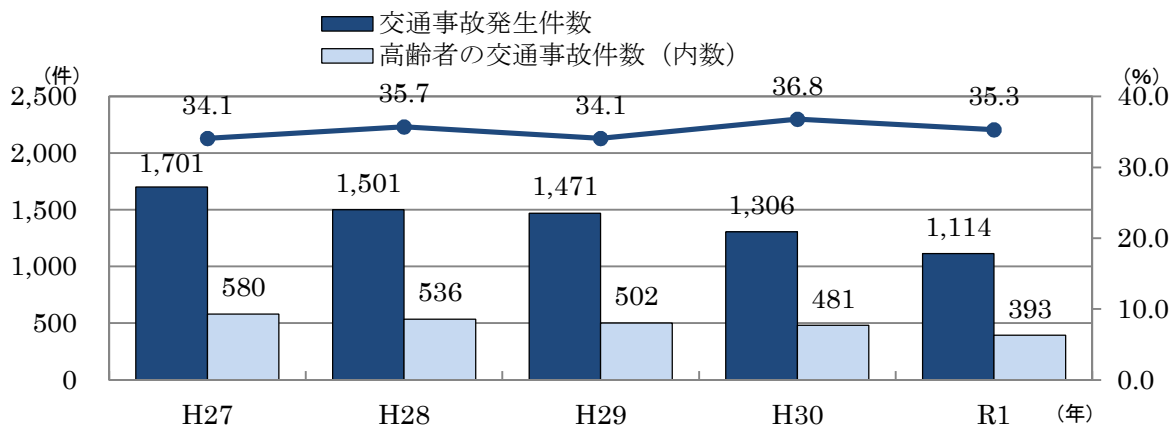
### 施策 1 交通安全対策の推進 【地域活動支援課】

#### 現況と課題 更新

- 高齢者に係る死亡事故の割合が高止まり状態（約 60%）で推移している状況にありますので、より一層対策を進める必要があります。
- 自転車のルール違反を原因とする交通事故が、全自転車事故の半数以上を占めており、交通ルールの周知やマナーの向上を図る必要があります。

#### 図表

● 交通事故発生件数と高齢者の交通事故件数の推移



資料：長野県警察

#### 目指す状態 更新

◎市民が交通事故の被害者・加害者になることなく、安全に安心して生活している。

#### 主な取組

- ◎交通安全意識の高揚と交通マナーの向上に向け、高齢者を中心に据えて取組を進めます。（地域活動支援課）
- ◎安全で円滑な道路交通環境を充実します。（道路課、維持課）
- ◎安全で円滑な自転車通行を確保します。（地域活動課、道路課、維持課）

#### アンケート指標（市民が思う割合） 更新

内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値					平均	目標値 (R3)
			H29	H30	R1	R2	R3		
アンケート指標 環境・体制に関する評価①	%	(H28)						47.6	↑
		44.1	46.2	45.5	43.7	54.9			
R元年度実績値の理由	交通ルールの遵守や正しい交通マナーの実践が未だ市民に徹底されていないため。								
アンケート指標 回答者自身の実践状況①	%	(H28)						88.2	→
		90.4	86.7	87.8	88.1	90.0			
R元年度実績値の理由	全国的に危険運転が社会問題化されたこと等により、市民の交通安全意識が維持されているため。								



## 統計指標（統計による指数）

更新

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)	
				H29	H30	R1	R2	R3	備考		
統計 指標	交通事故件数(年)	交通事故件数	件	(H27) 1,701	1,471	1,306	1,114				1,250以下
	R元年度実績値の理由	地域活動支援課									子どもや高齢者の重大事故からくる市民の交通安全意識の醸成と世代に応じた交通安全教育や関係機関・団体と連携した啓発活動を継続的に実施しているため。
	高齢者の交通事故件数(年)	高齢者(65歳以上)の交通事故件数	件	(H27) 580	502	481	393				375以下
	R元年度実績値の理由	地域活動支援課									高齢ドライバーによる重大事故が社会問題化し、運転免許の自主返納など高齢者自らの交通安全意識が徐々に浸透してきたため。

## 個別計画

### 第10次長野市交通安全計画

# 分野 4

安全で安心して暮らせるまち「ながの」（防災・安全分野）

## 政策 2 安心して暮らせる安全社会の構築

【担当部局】 地域・市民生活部

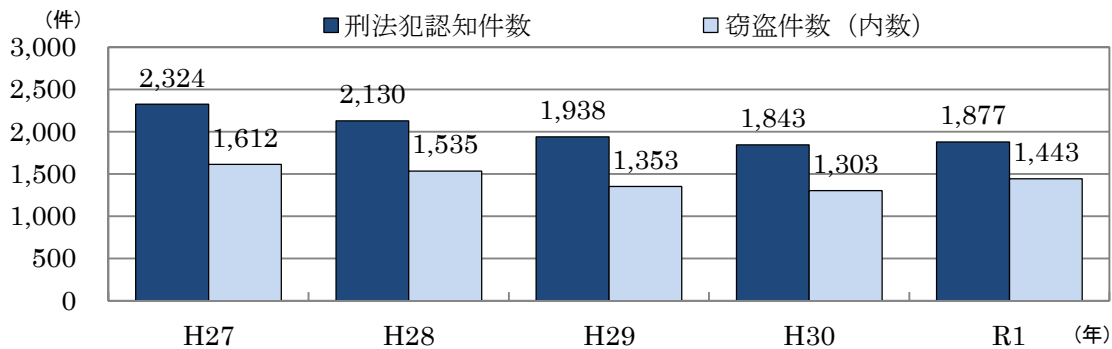
### 施策 2 防犯対策の推進 【地域活動支援課】

#### 現況と課題 更新

●刑法犯発生件数は年々減少傾向にあるものの、**市民に身近な犯罪（乗り物盗、万引き）や、不安に感じる事象（子供や女性を対象とする声かけ事案など）が依然として発生している現状にあります。**これらの被害に遭わないため、防犯協会等の関係団体と連携を密にした、**自主防犯活動を更に推進**する必要があります。

図表

●刑法犯発生件数と窃盗件数の推移



資料：長野県警察

#### 目指す状態 更新

◎市民の防犯意識が高く犯罪被害に遭うことなく、安全に安心して生活している。

#### 主な取組

◎防犯に関する意識高揚を促進するとともに、地域における自主的な防犯活動を支援します。（地域活動支援課）

◎夜間における地域の安全確保と犯罪の防止に取り組みます。（地域活動支援課）

#### アンケート指標（市民が思う割合） 更新

内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値					目標値 (R3)	
			H29	H30	R1	R2	R3		
環境・体制に関する評価① 地域で防犯に向けた取組が行われている	%	(H28) 41.8	44.5	42.1	38.7	42.2		41.9	↑
R元年度実績値の理由	地域での防犯活動が市民にあまり知られていないため。								
回答者自身の実践状況① 犯罪防止のため、声かけや見守り活動に参加している	%	(H28) 27.6	25.9	24.5	23.8	23.7		24.5	↑
R元年度実績値の理由	主に若年層に、身近な地域の防犯活動が広く浸透しておらず、活動に参加する機会がないため。								

#### 統計指標（統計による指数） 更新

内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値					目標値 (R3)
			H29	H30	R1	R2	R3	
刑法犯発生件数 (年)	件	(H27) 2,324	1,934	1,843	1,877			2,000未満
R元年度実績値の理由	地域活動支援課	防犯ボランティア等による自主防犯活動の実施や防犯灯の整備により、犯罪が起きにくい環境が徐々に進んでいるため。						

# 分野 4

安全で安心して暮らせるまち「ながの」(防災・安全分野)

## 政策 2 安心して暮らせる安全社会の構築

【担当部局】 地域・市民生活部

### 施策 3 安全な消費生活の確保 【市民窓口課】

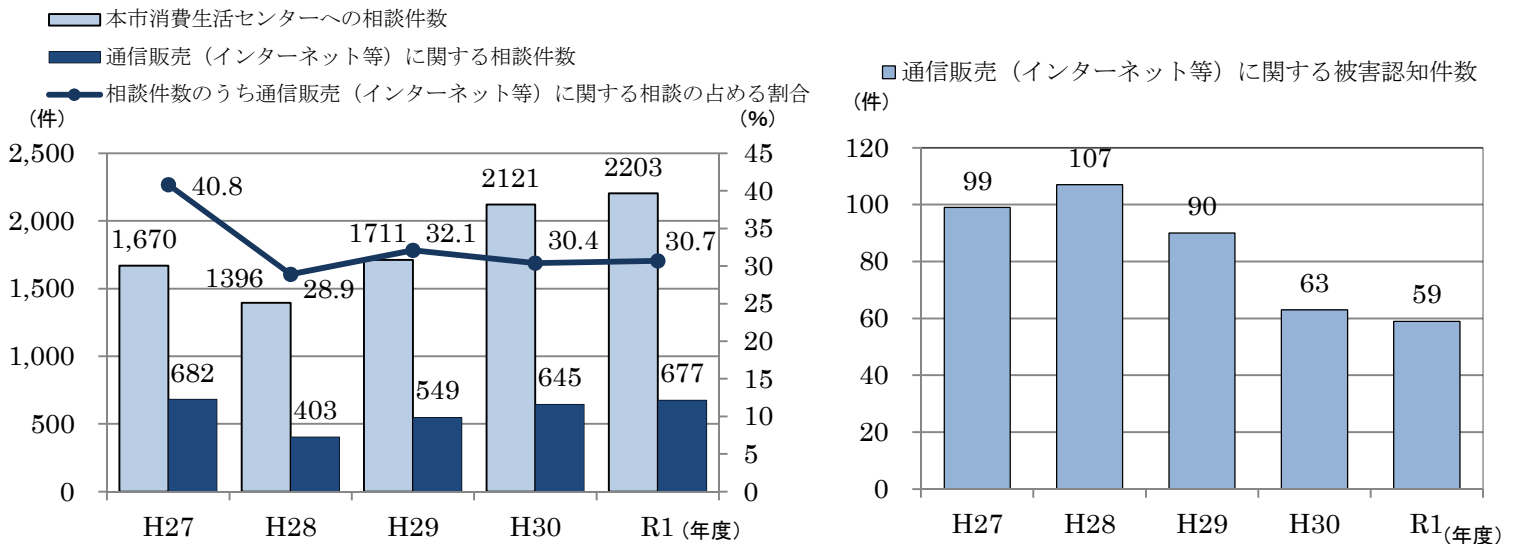
#### 現況と課題

更新

- 悪質商法や特殊詐欺は常に新たな手口が発生し、巧妙化しており、消費生活相談件数は年々増加している。
- 新型コロナ禍で地域の交流の場であった行事やイベントが制限され、巣ごもりによる余暇の時間が増え、通信販売と訪問販売に関する相談(被害)が増加している。
- 広報媒体と出前講座(消費者教育)を有効に活用し被害手口を幅広く適時適切に周知し、地域住民の口コミや関係団体、地域の関係者との連携により地道に意識の醸成を図る。

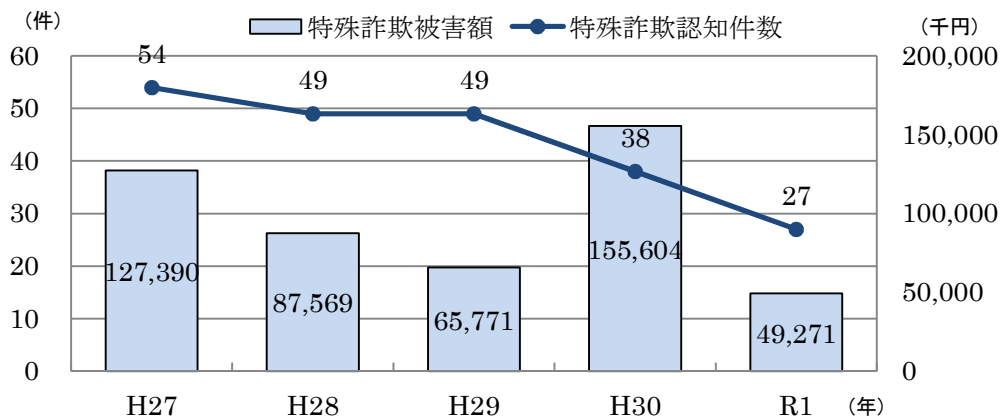
#### 図表

●消費生活センターへの相談件数と通信販売被害認知件数の推移



#### 図表

●特殊詐欺の認知件数と被害額の推移



資料：市民窓口課

## 目指す状態

更新

◎**関係団体や地域の関係者との強い連携により**市民の消費生活における健全な環境が確保され、安全で安心な暮らしを送っている。

## 主な取組

◎様々な機会を利用した消費生活に関する情報提供や学習機会を充実するとともに、相談・苦情処理体制の充実に取り組みます。(市民窓口課)

◎消費者意識の向上により消費トラブルや詐欺被害の未然防止と拡大防止に取り組みます。(市民窓口課)

## アンケート指標 (市民が思う割合)

更新

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値					目標値 (R3)		
				H29	H30	R1	R2	R3		平均	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	特殊詐欺などの消費生活に関する相談体制が整っている	%	(H28) 31.0	32.8	32.0	27.5	30.6		30.7	↑
	R元年度実績値の理由	平成30年度に比べると実績値が下がっていることから、消費者センターの役割を更に広報するとともに、複雑・多様化する相談内容について専門的な知識を有する相談員の充実が必要と思われる。(R元年度相談員3名→R2年度相談員4名に増員予定)									
	回答者自身の実践状況①	家族や友人と特殊詐欺の対策を話し合うなど、日頃から気をつけている	%	(H28) 60.9	55.7	54.5	58.9	57.7		56.7	↑
	R元年度実績値の理由	特殊詐欺による被害がマスコミ等で盛んに報道されていることにより市民の関心が高まり、平成30年度より実績値が増加したと思われる。(意識調査でも前年度28位から19位に上昇)									

## 統計指標 (統計による指数)

更新

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値					目標値 (R3)		
				H29	H30	R1	R2	R3		備考	
統計指標	通信販売 (インターネット等) に関する被害認知件数 (年度)	消費生活センターで把握する通信販売 (インターネット等) の被害認知件数	件	(H27) 99	90	63	59				50以下
	R元年度実績値の理由	市民窓口課	相談員が、事業者を相手に粘り強く「あっせん・交渉」し被害軽減に努めていることから、認知件数が減少したと思われる。(R元年度：目標70)								
	特殊詐欺認知件数 (年)	特殊詐欺の認知件数	件	(H27) 54	49	38	27				25以下
	R元年度実績値の理由	市民窓口課	ATMや電子マネーによる被害防止には、金融機関やコンビニ等関係機関の協力が欠かせない。「消費者への声掛け」を強化していることから、水際 (店頭) での被害を阻止していると思われる。(県全体の阻止数：H30→544件、R1→363件)								

# 分野 5 教育・文化分野

# 分野 5

豊かな心を育み人と文化が輝くまち「ながの」(教育・文化分野)

## 政策 1 未来を切り拓く人材の育成と環境の整備

【担当部局】 教育委員会、こども未来部

### 施策 1 乳幼児期から高等教育までの教育の充実 【学校教育課】

#### 現況と課題

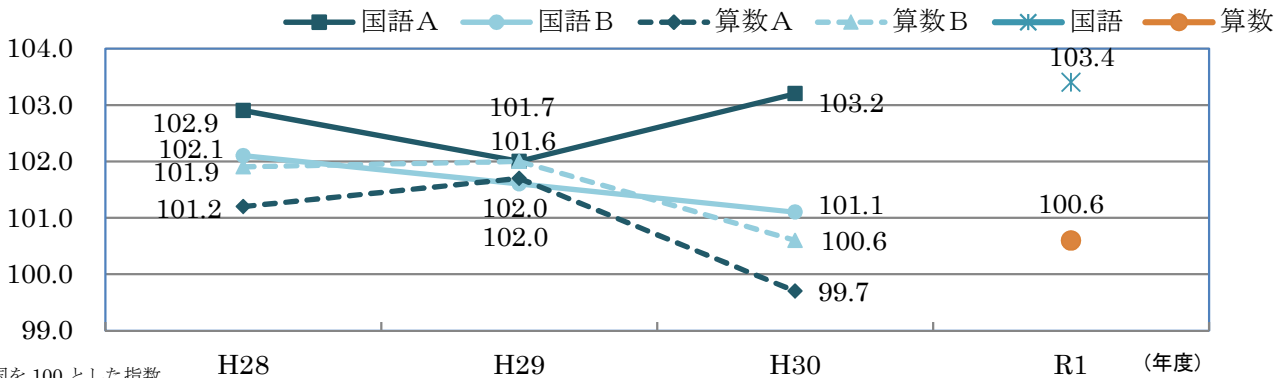
更新

- 学力は中学生になると全国平均を下回る状況が続きましたが、諸調査等の結果に基づく指導改善の取り組み等により、全国平均と同等になっております。学力の向上について、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、全ての児童生徒が適切かつ効果的な学習成果が得られるよう、家庭・地域・事業所等と協働しながら、個別最適な学び・協働的な学びの実現に向け取り組む必要があります。また体力は、男子は全国平均を上回る種目が多い傾向にあり、女子は全国平均を下回る種目が多い傾向にあります。体力の向上について、多様な特性を持つ児童生徒や運動に親しめていない児童生徒が日常的に運動できる環境を整備する必要があります。
- 平成 30 年 6 月に、長野市活力ある学校づくり検討委員会から示された「少子化に対応した子どもにとって望ましい教育環境の在り方」(答申)に沿った活力ある学校づくりを推進していく必要があります。

#### 図表

##### ●全国学力・学習状況調査の平均正答率の推移 (小学生)

※令和 1 年度から知識・理解や思考力・判断力・表現力を一体的に問う調査問題に変更したため、A・Bの区分けがなくなった。



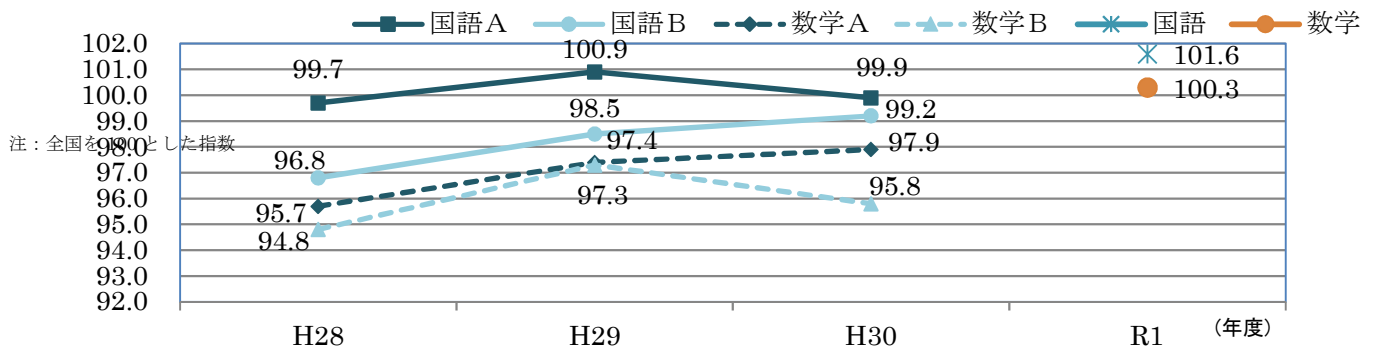
注：全国を 100 とした指数

資料：学校教育課

#### 図表

##### ●全国学力・学習状況調査の平均正答率の推移 (中学生)

※令和 1 年度から知識・理解や思考力・判断力・表現力を一体的に問う調査問題に変更したため、A・Bの区分けがなくなった。



注：全国を 100 とした指数

資料：学校教育課

目指す状態

更新

◎子どもが社会でたくましく生きていくために、**主体的に探究したり、協働的に学んだりしながら**、必要な学力・体力を身に付け、人間性豊かに成長している。

主な取組

- ◎子どもの学力・体力の向上と、健康の保持・増進に取り組みます。(学校教育課、保育・幼稚園課、保健給食課)
- ◎園児・児童・生徒の交流、小・中学校の連携や一貫した教育、中高一貫校の設置など、学校種間(幼保小中高)の連携を推進するとともに、今後の学校づくりのあり方について検討します。(学校教育課、保育・幼稚園課)(2-1-2 関連)
- ◎乳幼児期における教育・保育の質の向上に取り組みます。(保育・幼稚園課)(2-1-2 関連)
- ◎社会の変化に対応でき、地域への関心を高める教育を推進します。また、社会的・職業的自立に向けた能力・態度を育成します。(学校教育課)
- ◎教職員の力量向上に取り組みます。(学校教育課)
- ◎長野県立大学(仮称)等高等教育機関の教育環境の充実に向けて支援するとともに、連携による地域の発展と人材育成に取り組みます。(企画課、教育委員会総務課)

更新

アンケート指標 (市民が思う割合) ●環境や体制に関する評価○回答者自身の実践状況

内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
			H29	H30	R1	R2	R3	平均	
環境・体制に関する評価①	%	(H28) 41.2	40.1	38.8	46.3	47.6		43.2	↗
R元年度実績値の理由	「小学校の教育体制が個々の成長を促す内容だと感じた。」「身体を使って遊べる場所が増えてきている。」等、すべての年齢区分において肯定的な回答割合が増加したため。								
回答者自身の実践状況①	-	(H28) -	-	-	-			-	-
R元年度実績値の理由									

統計指標 (統計による指数)

内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
			H29	H30	R1	R2	R3	備考	
全国学力・学習状況調査における国語、算数、数学の平均正答率	-	(H27) 小学生 国語A 101.0 国語B 101.2 算数A 100.1 算数B 102.0 103.6 中学生 国語A 99.2 国語B 97.4 数学A 97.2 数学B 97.3	小学生 国語A 102.0 国語B 101.6 算数A 101.7 算数B 102.0 中学生 国語A 100.9 国語B 98.5 数学A 97.4 数学B 97.3	小学生 国語A 103.2 国語B 101.1 算数A 99.7 算数B 100.6 中学生 国語A 99.9 国語B 99.2 数学 100.3					小学生 国語 100以上 算数 100以上  中学生 国語 100以上 数学 100以上
R元年度実績値の理由	学校教育課	標準学力検査(NRT)等の諸調査の分析結果を生かした指導改善サイクルが中学校でも定着してきたことが一因と考えられる。							
全国体力・運動能力、運動習慣等調査において全国平均値を上回った種目数	種目	(H27) 小学生 男子 5 女子 5 中学生 男子 3 女子 4	小学生 男子 5 女子 4 中学生 男子 7 女子 4	小学生 男子 6 女子 2 中学生 男子 7 女子 4	小学生 男子 6 女子 5 中学生 男子 6 女子 4				小学生 男子 6 女子 6 中学生 男子 4 女子 5
R元年度実績値の理由	学校教育課	小学校女子では、反復横跳びや立ち幅跳びといった「すばやさ」に係る運動特性をもつ項目で向上が見られたため。							

## 個別計画

第二次長野市教育振興基本計画、長野市乳幼児期の教育・保育の指針



# 分野5 豊かな心を育み人と文化が輝くまち「ながの」（教育・文化分野）

## 政策1 未来を切り拓く人材の育成と環境の整備

【担当部局】 教育委員会、こども未来部

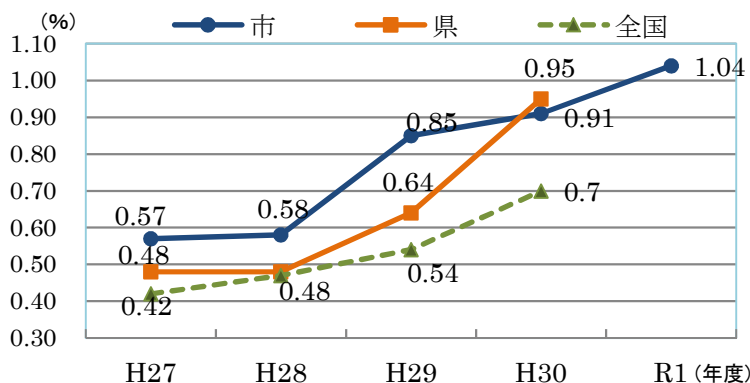
### 施策2 子どもに応じた支援の充実 【学校教育課】

#### 現況と課題 更新

●市の不登校児童・生徒の在籍率は国・県同様、年々増加傾向にあります。学校に登校することだけをよしとするのではなく、一人ひとりの子どもたちに応じて、適切な支援を継続して行っていく必要があります。引き続き、SDGsの理念である「誰一人取り残さない」という視点を持ち、関係機関との連携を強化して、不登校やいじめの未然防止、様々な特性を持った子どもへの対策とともに、一人ひとりの子どもが社会的自立ができるよう対策を講じる必要があります。

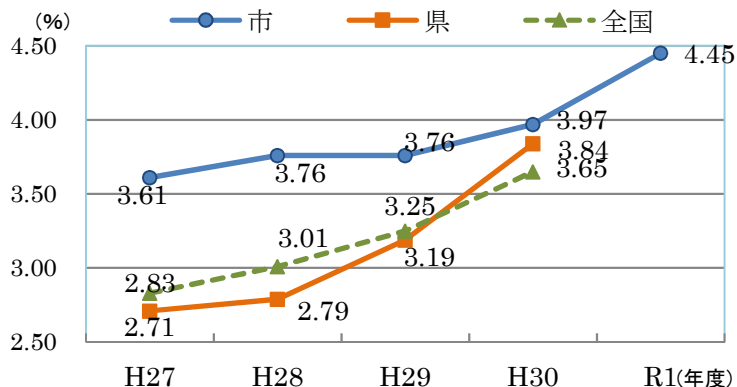
#### 図表

●不登校児童在籍率の推移（小学生）



#### 図表

●不登校生徒在籍率の推移（中学生）



※県・全国の令和元年度の不登校在籍率は小中学生ともに未発表

資料：学校教育課

#### 目指す状態 更新

◎不登校やいじめに悩む子ども、様々な特性のある子ども、社会的援助を必要とする子どもなど、子どもに応じた適切な支援の下、外部機関と連携し、一人ひとりに合わせて安心安全に学習に取り組んでいる。

#### 主な取組

- ◎不登校やいじめの未然防止に取り組むとともに、子どもや保護者に対する支援体制を充実します。(学校教育課)
- ◎いじめのない安心な学校づくりを推進します。(学校教育課)
- ◎障害のある子どもや社会的援助を必要とする子どもを支援します。(子育て支援課、教育委員会総務課、学校教育課、障害福祉課、生活支援課) (2-1-3、2-3-1 関連)

更新

## アンケート指標（市民が思う割合）

●環境や体制に関する評価○回答者自身の実践状況

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	平均	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	%	(H28)	40.9	40.2	42.5	47.4		42.8	↑
			41.0							
	R元年度実績値の理由	前年より2.3ポイント増加した。30歳代以下の年代から「先生たちの配慮が行き届いている」等の肯定的意見が寄せられ、肯定的評価割合が高くなったため。								
	回答者自身の実践状況①	(設定なし)	-	(H28)	-	-	-	-	-	-
R元年度実績値の理由										

## 統計指標（統計による指数）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	備考	
統計指標	不登校児童・生徒の学校復帰率	%	(H27)	小学生 46.7	小学生 48.2	小学生 38.1				毎年度、国の不登校児童・生徒の学校復帰率の数値を上回る
			小学生 47.4							
R元年度実績値の理由	学校教育課	小・中学校ともにH30年度の国の復帰率（小：26.7%、中：26.4%）を上回った。小学生では、前年度から減少したが、「不登校児童生徒への支援の在り方について（通知）」（令和元年10月25日付）に基づき、「学校へ登校する」という結果のみを目標とせず、児童生徒の社会的自立へ向けた様々な選択肢を意識した結果と考える。								

## 個別計画

第二次長野市教育振興基本計画、いじめ防止等のための基本的な方針、長野市子ども・子育て支援事業計画

# 分野5 豊かな心を育み人と文化が輝くまち「ながの」（教育・文化分野）

## 政策1 未来を切り拓く人材の育成と環境の整備

【担当部局】 教育委員会、こども未来部

### 施策3 家庭・地域・学校の相互連携による教育力向上 【家庭・地域学びの課】

#### 現況と課題 更新

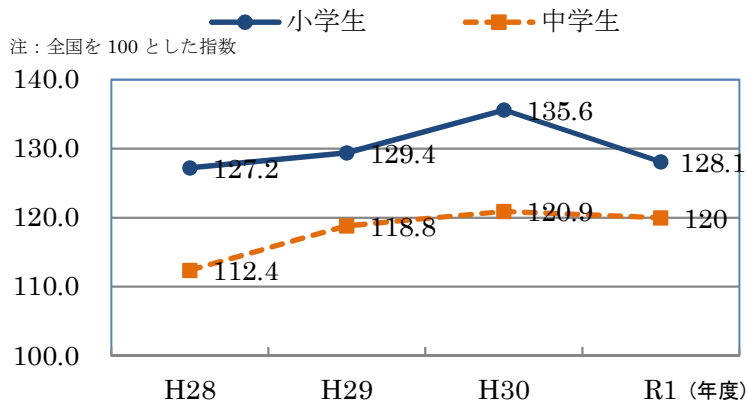
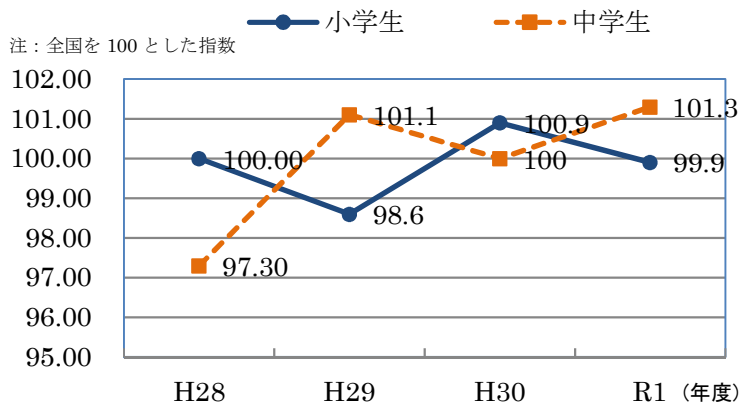
●全国学力・学習状況調査の質問項目で「家の人と学校での出来事について話をしている」と回答した児童・生徒の割合は全国平均とほぼ同じです。また、「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した割合は全国と比べて大きく上回っています。引き続き、子どもを健やかに育むために、**家庭・地域・学校の相互連携により**、学びや育ちを支えていく必要があります。

#### 図表

●「家の人と学校での出来事について話をしている」と回答した児童・生徒の割合

#### 図表

●「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童・生徒の割合



資料：学校教育課（「全国学力・学習状況調査」の質問項目）

#### 目指す状態 更新

◎家庭・地域・学校が相互連携により教育力を向上し、子どもの学びや育ちを支えている。

#### 主な取組

- ◎親子が共に学び成長する力の向上につながる取組を推進します。（家庭・地域学びの課、健康課）（2-1-2 関連）
- ◎地域ぐるみで子どもの学びや育ちを支える取組を推進します。（家庭・地域学びの課、学校教育課）
- ◎放課後などに子どもが安全・安心に過ごし、多様な体験や活動ができる環境を充実します。（こども政策課）（2-1-1 関連）

## アンケート指標（市民が思う割合）

●環境や体制に関する評価○回答者自身の実践状況

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)	
				H29	H30	R1	R2	R3	平均		
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	家庭・地域・学校が連携して、子どもの学びや育ちを支えている	%	(H28) 49.7	51.4	49.4	53.4			51.4	↑
	R元年度実績値の理由	小・中学校PTAを対象とした「家庭教育研修会」の実施や少年育成センターの地区巡回活動により、家庭教育の重要性や家庭・学校・地域が連携して子どもを見守り、育てる認識が高まり、実践されたと思われる。									
	回答者自身の実践状況①	地域の子どもにあいさつや声かけをしている	%	(H28) 71.2	66.2	64.7	64.0			65.0	↑
	R元年度実績値の理由	地域のつながりの希薄化や社会情勢の変化から、子どもへの声かけがためられることが減少の要因となっていると思われる。									

## 統計指標（統計による指数）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)	
				H29	H30	R1	R2	R3	備考		
統計指標	家の人と学校での出来事について話をしている児童・生徒の割合	全国学力・学習状況調査結果 (全国を100とした指数)	-	(H27) 小学生 100.5 中学生 99.2	小学生 98.6 中学生 101.1	小学生 100.9 中学生 100.0	小学生 99.9 中学生 101.3			小学生 101.2 中学生 100.6	
	R元年度実績値の理由	学校教育課	家庭における会話等、「家庭の7つの取組」の啓発等により家庭生活の充実が図られてきていると考えられる。								
	住んでいる地域の行事に参加している児童・生徒の割合	全国学力・学習状況調査結果 (全国を100とした指数)	-	(H27) 小学生 129.4 中学生 118.8	小学生 135.6 中学生 120.9	小学生 159.8 中学生 114.3	小学生 128.1 中学生 120.0			小学生 131.7 中学生 120.6	
	R元年度実績値の理由	学校教育課	地域で子どもを育てようとする気運の高まりや生活科や総合的な学習の時間の充実が考えられる。								

## 個別計画

第二次長野市教育振興基本計画、長野市子ども・子育て支援事業計画

# 分野5

豊かな心を育み人と文化が輝くまち「ながの」(教育・文化分野)

## 政策2 豊かな人生を送るための学習機会の提供

【担当部局】 教育委員会

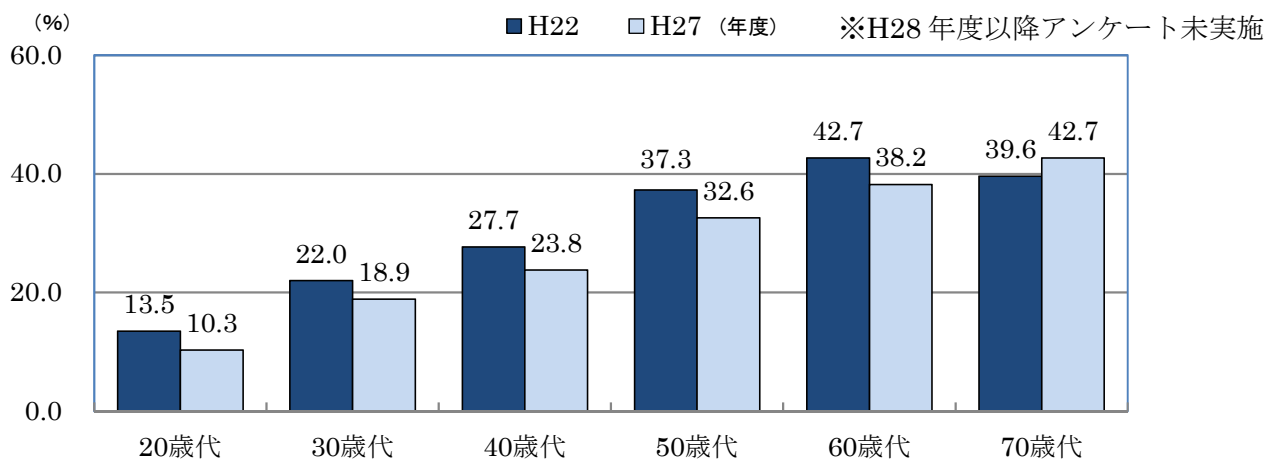
### 施策1 生涯学習環境の充実 【家庭・地域学びの課】

#### 現況と課題 更新

- 生涯学習センターや公民館、**交流センター**を利用して生涯学習に取り組む若い世代が少ないことから、これらの世代が利用しやすいよう、講座や施設の周知、内容の充実、施設運営などを検討する必要があります。

#### 図表

- 「生涯学習活動に公民館や生涯学習センターを利用する」と回答した市民の割合(年代別)



資料：家庭・地域学びの課(「まちづくりアンケート」)

#### 目指す状態 更新

- ◎ライフステージに応じた**学習情報**や学びの機会が提供され、多くの市民が学びを実践している。

#### 主な取組

- ◎多様なニーズに対応した講座を充実します。(家庭・地域学びの課)
- ◎利用しやすい生涯学習施設や図書館の運営を推進します。(家庭・地域学びの課)
- ◎生涯学習に関する情報を適切に提供します。(家庭・地域学びの課)

#### アンケート指標(市民が思う割合)

●環境や体制に関する評価○回答者自身の実践状況

更新

アンケート指標	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値					目標値(R3)	
				H29	H30	R1	R2	R3		平均
環境・体制に関する評価①	公民館などで、学びの機会が提供されている	%	(H28) 52.0	51.3	52.4	48.7	44.9		49.3	↑
			R元年度実績値の理由	災害により実施する講座が減少したほか、開催する講座の情報が住民に広く伝わらなかったと思われる。						
回答者自身の実践状況①	公民館などで提供されている学びの場に参加している	%	(H28) 26.8	25.7	25.2	23.7	23.4		24.5	↑
			R元年度実績値の理由	災害による影響のほか、女性や定年後も就業する人が増加しており、講座に参加する時間が取れない人が増加していると思われる。						

## 統計指標（統計による指数）

統計指標	内容		単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
					H29	H30	R1	R2	R3	備考	
統計指標	若い世代を中心に構成される団体が市立公民館を利用した割合		%	(H28)	10.5	9.5	9.8				11.0
	市立公民館を利用する全団体のうち、20歳代～40歳代中心で構成されている団体が市立公民館を利用した割合			9.9							
R元年度実績値の理由	家庭・地域学びの課		実績値は横ばいであり、若い世代の団体やサークルの利用が継続して行われていると思われる。								

## 個別計画

第二次長野市教育振興基本計画、第二次長野市生涯学習推進計画、長野市立図書館基本計画

# 分野5

豊かな心を育み人と文化が輝くまち「ながの」(教育・文化分野)

## 政策2 豊かな人生を送るための学習機会の提供

【担当部局】 教育委員会

### 施策2 学習成果を活かした地域づくりへの参加促進 【家庭・地域学びの課】

#### 現況と課題 更新

- 生涯学習が住民主体の地域づくりにつながることから、市立公民館の指定管理者制度の導入を受託可能な住民自治協議会から進めています。公民館活動を更に活発化し、市民が生涯学習を通じて充実感を得られ、地域づくりに活かせるよう支援する必要があります。

#### 図表

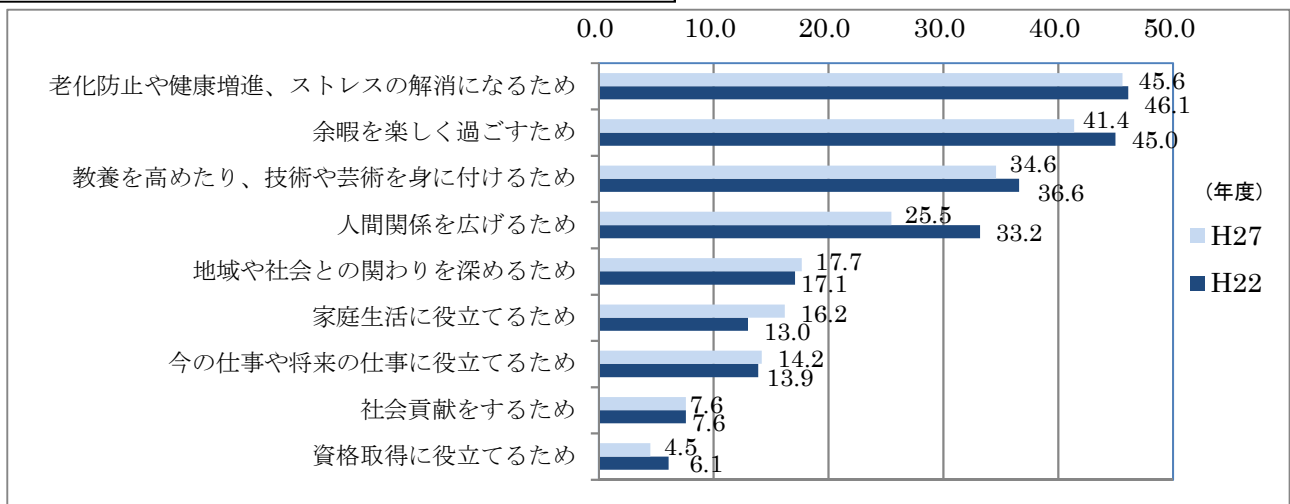
- 指定管理者制度を導入した市立公民館

	H26	H27	H28	H29	H30
市立公民館	長沼	芋井 篠ノ井 信更	若槻 更北	川中島 安茂里 吉田	芹田

資料：家庭・地域学びの課

#### 図表

- 「生涯学習活動の目的」についての市民意識 ※H28年度以降アンケート未実施



資料：家庭・地域学びの課（「まちづくりアンケート」）

#### 目指す状態

更新

- ◎あらゆる世代の人が公民館や交流センターなどで地域を学び、地域づくりに活かしている。

#### 主な取組

- ◎地域づくりにつながる学習を支援します。(家庭・地域学びの課)
- ◎学習成果を発表する場と活用する仕組みを充実します。(家庭・地域学びの課)
- ◎市民による講座の企画・運営を支援します。(家庭・地域学びの課)

## アンケート指標（市民が思う割合）

## ●環境や体制に関する評価○回答者自身の実践状況

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	平均	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	%	(H28) 50.8	52.0	52.1	48.9	45.6		49.7	↑
	R元年度実績値の理由		災害により講座の実施回数が減少したことや講座の目的の一つに地域づくりがあることを知らない人が増えたと思われる。							
アンケート指標	回答者自身の実践状況①	%	(H28) 19.2	18.1	15.6	14.6	13.1		15.4	↑
	R元年度実績値の理由		講座を受講するに当たり、学んだことを地域づくりに反映する意識が希薄になっていると思われる。							

## 統計指標（統計による指数）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	備考	
統計指標	市立公民館の講座における地域住民が講師を務めた講座の割合	%	(H28) 37.2	31.5	30.6	34.9				38.5
	R元年度実績値の理由		家庭・地域学びの課	災害により講座全体数が落ち込む中、地域の住民が講師を務める講座が実施できたことによるものと思われる。						

## 個別計画

第二次長野市教育振興基本計画、第二次長野市生涯学習推進計画、長野市立図書館基本計画



# 分野 5

豊かな心を育み人と文化が輝くまち「ながの」(教育・文化分野)

## 政策 3 魅力あふれる文化の創造と継承

【担当部局】 文化スポーツ振興部、教育委員会

### 施策 1 多彩な文化芸術の創造と活動支援 【文化芸術課】

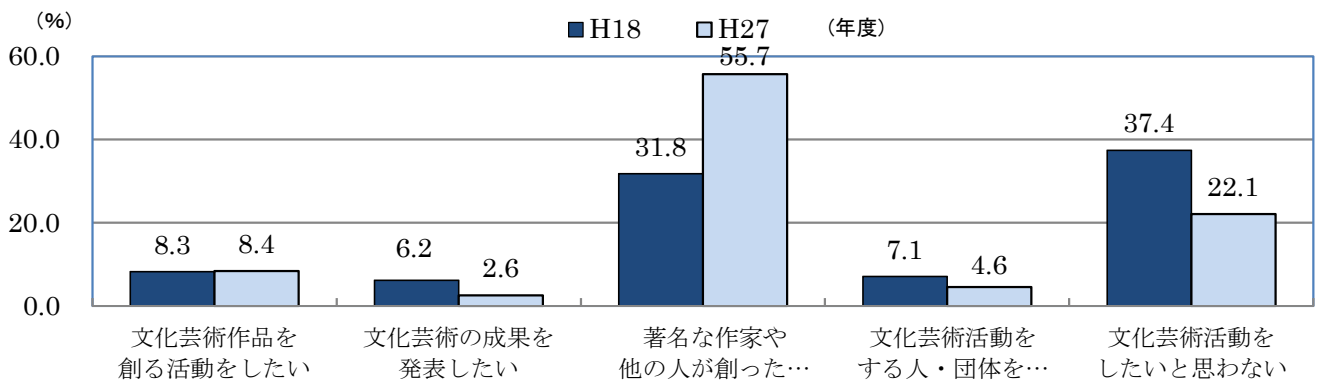
#### 現況と課題 更新

- 市民の文化芸術活動が盛んで、各地域には伝統芸能が広く伝わっており、平成 27 年善光寺御開帳プロジェクトや長野市美術館の開館により、市民の関心も高まっています。  
今後も鑑賞・発表など市民が気軽に文化芸術に親しめる機会の提供を進める必要があります。  
また、県北部の中核市として、近隣市町村と連携しながら、継続的な発展を進める必要があります。

#### 図表

●「今後の文化芸術への関わり方」についての市民意識

※H28 年度以降アンケート未実施



資料：家庭・地域学びの課（「まちづくりアンケート」）

#### 目指す状態

更新

- ◎子ども、高齢者、障害者など、あらゆる人々が日常から気軽に文化芸術に触れ、常に活発な文化芸術活動が行われている。

#### 主な取組

- ◎長野市美術館を拠点とした多彩な文化芸術の鑑賞機会を提供します。(文化芸術課)
- ◎市民の自主的・自発的な文化芸術活動を支援し、生きがいやまちのにぎわいにつながる発表の機会を充実します。(文化芸術課)
- ◎子どもの創造力や感性を育む文化芸術活動を支援します。(文化芸術課)
- ◎交流が広がる魅力ある文化芸術公演やイベントを企画・創造します。(文化芸術課)

更新

## アンケート指標（市民が思う割合）

### ●環境や体制に関する評価○回答者自身の実践状況

アンケート指標	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	平均	
環境・体制に関する評価①	音楽、美術、演劇など文化芸術に気軽に親しめる環境が整っている	%	(H28) 40.7	39.6	40.6	40.7	39.6		40.1	↑
R元年度実績値の理由	概ね横ばいである。10代を除く全ての年代の方が整っていないと回答する傾向にある。									
回答者自身の実践状況①	音楽、美術、演劇など文化芸術に親しんでいる	%	(H28) 39.4	37.1	35.1	33.0	32.6		34.5	↑
R元年度実績値の理由	10代を除く全ての年代で親しんでいないとの回答が多く、関心がない、時間の余裕がないとの意見が多い。									

## 統計指標（統計による指数）

統計指標	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	備考	
市有ホール施設の利用者数	長野市芸術館、東部文化ホール、松代文化ホール、勤労者女性会館しなのき、若里市民文化ホール、中条音楽堂の利用者数	人	(H27) 277,372	402,734	406,206	359,927				535,000
R元年度実績値の理由	文化芸術課	令和元年東日本台風災害により、催事等が中止されたため前年度を大きく下回った。東部文化ホールは、災害対応のため約2か月の休館。中条音楽堂は平成30年度をもって廃止。								

## 個別計画

### 第二次長野市文化芸術振興計

## 分野 5

豊かな心を育み人と文化が輝くまち「ながの」(教育・文化分野)

### 政策 3 魅力あふれる文化の創造と継承

【担当部局】 文化スポーツ振興部、教育委員会

#### 施策 2 文化の継承による魅力ある地域づくりの推進 【文化財課】

##### 現況と課題 更新

- 指定文化財をはじめとする有形・無形の歴史・文化遺産があり、観光資源や地域住民のよりどころとして保存・継承されています。引き続き、指定文化財などの保存・保全・活用を進めるとともに、適切に継承されるよう担い手の確保などを支援する必要があります。

##### 図表

●国・県・市指定等の文化財件数

	種別	件数	内容
国指定	国宝	1	建造物 1
	重要文化財	30	絵画 2、彫刻 15、工芸品 3、書跡 2、歴史資料 1、建造物 7
	記念物	7	史跡 6、天然記念物 1
国選定	伝統的建造物群保存地区	1	重要伝統的建造物群保存地区 1
国選択	民俗資料	1	選択無形民俗文化財 1
国認定	重要美術品	6	絵画 2、工芸品 2、彫刻 1、書跡 1
国登録	有形文化財	57	建造物 57箇所 (137棟)
	記念物	8	名勝地 8
県指定	県宝	30	彫刻 7、絵画 2、工芸品 7、建造物 11、考古資料 1、書跡 2
	有形民俗文化財	1	有形民俗文化財 1
	無形民俗文化財	4	無形民俗文化財 4
	記念物	22	史跡 5、名勝 1、天然記念物 16
市指定	有形文化財	142	書跡 2、文書 10、彫刻 28、絵画 8、工芸品 15、考古資料 12、歴史資料 3、建造物 64
	無形文化財	7	無形文化財 7
	有形民俗文化財	14	有形民俗文化財 14
	無形民俗文化財	9	無形民俗文化財 9
	記念物	119	史跡 46、名勝 3、天然記念物 69、名勝・天然記念物 1
市選択	無形民俗文化財	8	選択無形民俗文化財 8
市選定	保存技術	1	保存技術 1
合計		468	

資料：文化財課

##### 目指す状態

更新

- ◎指定文化財などが適切に保存・継承・活用され、魅力ある地域づくりにつながっている。

##### 主な取組

- ◎指定文化財などを調査・整備し、博物館での展示や史跡の公開を進めます。(文化財課)
- ◎伝統芸能を次世代へ保存・継承する関係団体の活動を支援します。(文化芸術課)
- ◎重要伝統的建造物群保存地区\*をはじめ、歴史的なまちなみなどの環境を保存・活用します。(都市政策課、文化財課) (7-1-4 関連)
- ◎歴史・文化遺産を活かし、観光との連携を推進します。(文化財課、観光振興課)
- ◎歴史・文化遺産の保護に関わる団体を育成し、活動を支援します。(文化財課)

更新

## アンケート指標（市民が思う割合）

●環境や体制に関する評価○回答者自身の実践状況

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	平均	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	%	(H28) 51.0	51.0	48.8	52.8	54.1		51.7	↗
	R元年度実績値の理由		肯定的な意見が若干（4.0%）増えた要因として、ノートルダム大聖堂などの火災が発生したことにより、防火・防災の意識が向上したことや文化芸術のイベント開催によるものと考えられる。							
	回答者自身の実践状況①	%	(H28) 38.5	34.6	34.0	32.1	34.1		33.7	↗
R元年度実績値の理由	肯定的な意見が減少（△1.9%）の要因として、地域の行事について若い年齢層に知られていないことが考えられる。									

## 統計指標（統計による指数）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	備考	
統計指標	文化財保護活動参加者数	人	(H27) 5,537	6,149	6,417	6,348				5,800
	R元年度実績値の理由		文化財課	令和元年東日本台風の影響により、文化財保護活動ができなかった地域もあるため、昨年度と比較し69名減少した。						

## 個別計画

第二次長野市教育振興基本計画、第二次長野市文化芸術振興計画、長野市歴史的風致維持向上計画

# 分野 5

豊かな心を育み人と文化が輝くまち「ながの」(教育・文化分野)

## 政策 4 スポーツを軸としたまちづくりの推進

【担当部局】 文化スポーツ振興部

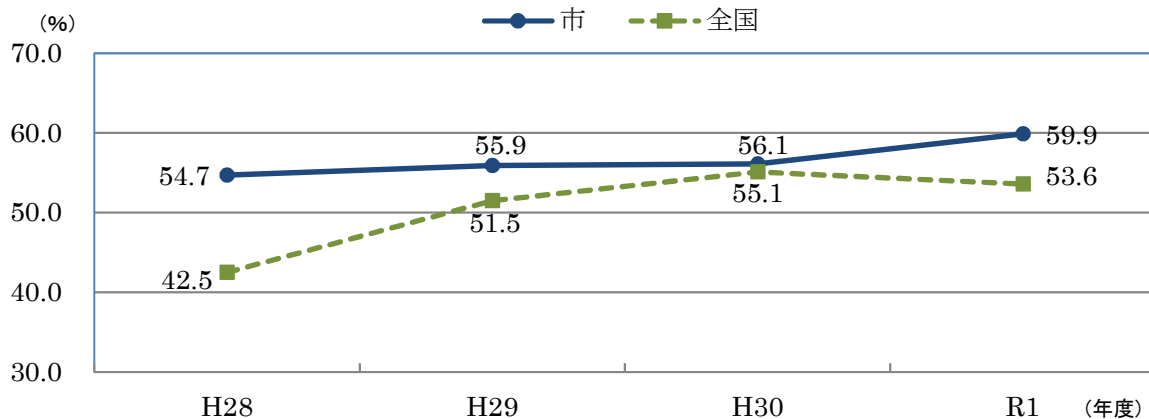
### 施策 1 だれもがスポーツを楽しめる環境づくりの推進 【スポーツ課】

#### 現況と課題 更新

●成人のスポーツ実施率は増加しており、全国に比べると高い状態にあります。近年、医療費の抑制や健康寿命延伸の観点から、スポーツや運動による日常的な健康づくりが注目されています。また、子どものスポーツ活動の実施については、家庭、地域、学校の連携を中心にした環境から、民間や総合型地域スポーツクラブ、スポーツの競技団体などが中心となる環境整備が求められています。このことから、子どもや、仕事、家事、育児等で忙しい世代、高齢者など各年代やライフスタイルに応じて、スポーツを身近に感じ、楽しめる環境を整備する必要があります。

#### 図表

●成人が週1回以上スポーツや運動を実施した割合



資料：スポーツ課

文部科学省、スポーツ庁（スポーツの実施状況等に関する世論調査）

#### 目指す状態 更新

◎安全・安心で気軽にスポーツや運動に親しめる環境が整い、市民が自分に合ったスポーツや運動を楽しんでいる。

#### 主な取組

- ◎スポーツを通じた健康増進や健康寿命延伸につながる取組を推進します。(スポーツ課、健康課) (2-4-1 関連)
- ◎総合型地域スポーツクラブ\*やスポーツ推進委員の育成・活用など、地域における自主的なスポーツ活動を促進します。(スポーツ課)
- ◎障害者のスポーツ参加の機会拡大やだれもが使いやすい環境づくりを推進します。(障害福祉課、スポーツ課)
- ◎競技力の向上と競技者の底辺拡大を推進します。(スポーツ課)
- ◎スポーツ施設のあり方を検討しながら、計画的に整備・改修します。(スポーツ課)

更新

## アンケート指標（市民が思う割合）

●環境や体制に関する評価○回答者自身の実践状況

アンケート指標	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	平均	
環境・体制に関する評価①	スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている	%	(H28) 54.8	52.5	51.8	53.3	53.9		52.9	↗
R元年度実績値の理由	前年度と比較し、全年代で肯定意見が増加している。									
回答者自身の実践状況①	(設定なし)	-	(H28) -	-	-	-			-	-
R元年度実績値の理由										

## 統計指標（統計による指数）

統計指標	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	備考	
スポーツ実施率	成人が週1回以上スポーツや運動を実施した割合	%	(H27) 59.1	55.9	56.1	59.9				65.0
R元年度実績値の理由	スポーツ課	30～59歳の実施率が低い、60歳以上の実施率が高く、全体的に前年より高まっている。								

## 個別計画

第二次長野市スポーツ推進計画、ながの健やかプラン2 1（第3次長野市健康増進計画・第3次長野市食育推進計画）、長野市障害者基本計画

# 分野5

豊かな心を育み人と文化が輝くまち「ながの」(教育・文化分野)

## 政策4 スポーツを軸としたまちづくりの推進

【担当部局】 文化スポーツ振興部

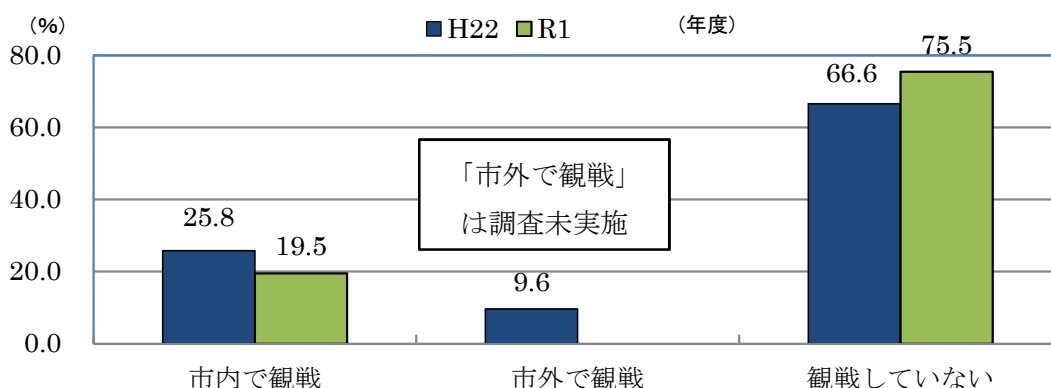
### 施策2 スポーツを通じた交流拡大の推進 【スポーツ課】

#### 現況と課題 更新

- オリンピック・パラリンピックを開催したことによる有形無形の財産を活用し、スポーツによる産業振興が可能な本市の特徴を十分に活かしていくことが重要です。さらに、オリンピック・パラリンピックを開催した都市として、本市のプロモーションを強化し、オリンピック・パラリンピックムーブメントを継承するとともに推進する必要があります。また、現在、本市をホームタウンとする地域密着型プロスポーツチームは4チームに増加しており、チームへの愛着が増すことで、地元地域への誇りや一体感、コミュニティ意識が高まり、地域の活性化が進むことから、市内スポーツ施設で観戦する市民の割合を、さらに高める必要があります。

#### 図表

● 競技場でスポーツ観戦をした市民の割合



#### 目指す状態

更新

- ◎多くの市民が市内のスポーツ施設でスポーツを観戦するとともに、スポーツを通じた交流人口が拡大し、地域の活性化が進んでいる。

#### 主な取組

- ◎大規模スポーツ施設を活用した国際大会や全国大会などを誘致・開催します。(スポーツ課、観光振興課) (6-1-3 関連)
- ◎長野マラソンや全国中学校スケート大会の継続開催など、宿泊滞在型のスポーツイベントを支援します。(スポーツ課、観光振興課)
- ◎地域密着型プロスポーツチームの活動を支援します。(スポーツ課)
- ◎オリンピックムーブメント\*を継続的に推進します。(スポーツ課、観光振興課)

## アンケート指標（市民が思う割合）

●環境や体制に関する評価○回答者自身の実践状況

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	平均	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	%	(H28)	36.7	37.7	39.6	33.0		36.8	↑
	35.1									
	R元年度実績値の理由	前年度と比較し、全年代で肯定意見が増加している。								
アンケート指標	回答者自身の実践状況①	%	(H28)	19.7	20.8	19.5	20.4		20.1	↑
	22.8									
	R元年度実績値の理由	前年度と比較し、肯定的意見について10歳代が12.9ポイントと大きく増加したが、20歳代が-7.7ポイント、50歳代が-6.2ポイントと大きく減少している。								

## 統計指標（統計による指数）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	備考	
統計指標	南長野運動公園総合球技場入場者数	人	(H27)	154,669	116,948	73,359				251,500
	171,228									
	R元年度実績値の理由	スポーツ課	AC長野パルセイロの成績不振及び台風災害の影響により土日開催の試合が平日開催に振り替えられたことにより入場者数が減少している。							

## 個別計画

第二次長野市スポーツ推進計画、長野市観光振興計画



# 分野 5

豊かな心を育み人と文化が輝くまち「ながの」(教育・文化分野)

## 政策 5 国際交流・多文化共生の推進

【担当部局】 商工観光部、教育委員会

### 施策 1 国際交流活動の推進 【観光振興課】

#### 現況と課題 更新

- 姉妹都市・友好都市などとの交流のほか、市民団体による地域に根ざした国際交流などの活動促進にも取り組んでいます。更に多くの市民が事業の参加や活動に関わり国際交流を底上げできるよう、活動を推進するとともに支援を拡充する必要があります。**また、社会情勢の変化に対応できる新しい形での交流も行う必要があります。**

#### 図表

- 姉妹都市・友好都市との交流実績

		H28	H29	H30	R1	合計
姉妹都市 (クリアウォーター市)	受入	2 団11人	3 団16人	3 団19人	3 団19人	88団549人
	派遣	2 団15人	3 団21人	3 団21人	3 団22人	110団876人
友好都市 (石家庄市)	受入	5 団50人	2 団18人	3 団29人	2 団18人	118団894人
	派遣	2 団52人	1 団14人	1 団15人	2 団15人	72団944人

資料：観光振興課（インバウンド国際室）

#### 目指す状態

更新

- ◎多くの市民が **SNS 等を活用した周知を通じて**、国際交流により関心を持ち、国際交流事業に参加し、活動に関わっている。

#### 主な取組

- ◎姉妹都市・友好都市などとの国際交流活動を推進します。(観光振興課、学校教育課)
- ◎市民主体の国際交流活動を支援・促進します。(観光振興課)
- ◎国際交流員\*などを派遣し学校や地域との交流を推進します。(観光振興課)

#### アンケート指標（市民が思う割合）

●環境や体制に関する評価○回答者自身の実践状況

更新

アンケート指標	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)	
				H29	H30	R1	R2	R3	平均		
環境・体制に関する評価①	国際交流が盛んに行われている	%	(H28)								↑
			12.6	14.3	15.4	17.4	14.9		15.5		
R元年度実績値の理由	姉妹都市、友好都市との交流事業の実施や、国際交流員の講座等への派遣実績を伸ばすことができた。また、SNS等を通じて、国際交流に関する情報の周知ができたため。										
回答者自身の実践状況①	国際交流イベントに参加している	%	(H28)								↑
			5.2	4.8	3.9	3.7	3.9		4.1		
R元年度実績値の理由	東日本台風災害の影響により、当課が実施する国際交流イベントの一つである「ワールドフェスタ」が中止となったものの、国際交流団体等によるイベントは継続的に行われている。										

## 統計指標（統計による指数）

統計指標	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	備考	
国際交流事業件数	市の国際交流事業補助金を活用し、市民団体が主催した国際交流イベントや留学生との交流事業などの件数	件	(H27)							13
			7	9	12	10				
R元年度実績値の理由	観光振興課	東日本台風災害の影響により、事業件数は前年と比較して減少したが、市民団体等が積極的に交流事業を実施した。								

## 個別計画

第二次長野市教育振興基本計画

# 分野 5

豊かな心を育み人と文化が輝くまち「ながの」(教育・文化分野)

## 政策 5 国際交流・多文化共生の推進

【担当部局】 商工観光部、教育委員会

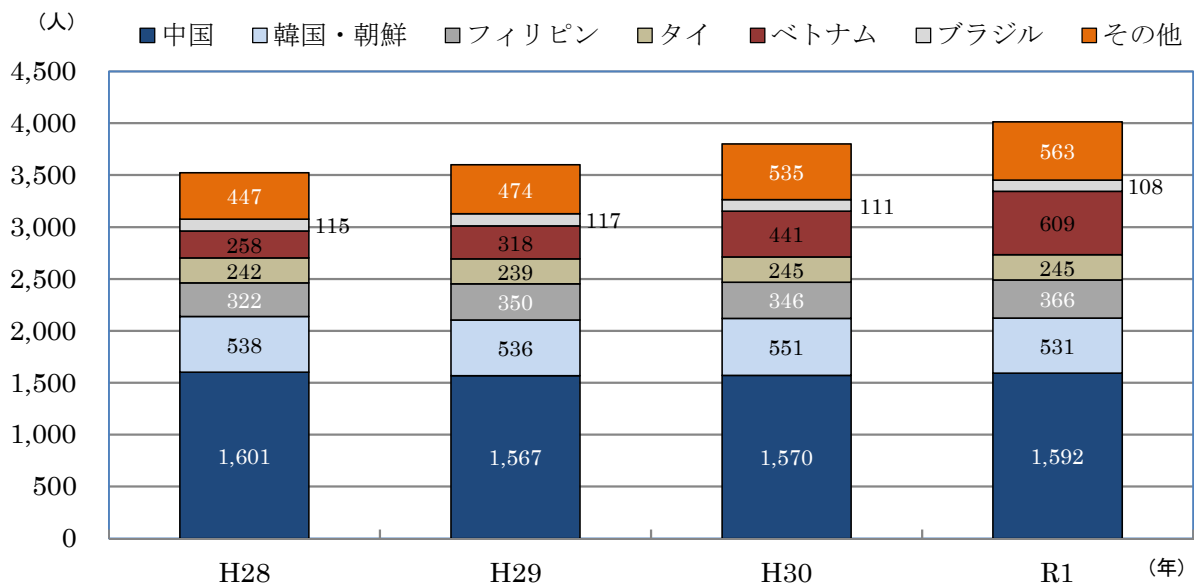
### 施策 2 多文化共生の推進 【観光振興課】

#### 現況と課題 更新

●外国人住民数は **4,000 人を超えました**。今後、**更に**国際化が進展する中、**多様性**や価値観の違いを**尊重し**、相互理解を深め、外国人が暮らしやすく共生できる**多文化共生社会の実現に向けて取組を推進させる**必要があります。

#### 図表

●国別外国人登録者数の推移



資料：観光振興課（インバウンド国際室）

#### 目指す状態

更新

◎**多様性を認め合い、互いを尊重している。また、**文化や習慣などが異なる外国人にとっても、暮らしやすい環境が整っている。

#### 主な取組

◎異なる文化や習慣などへの相互理解と共生意識の醸成を促進します。（観光振興課、人権・男女共同参画課）

◎外国人の日常生活や学校生活などに対する支援体制を充実します。（観光振興課、学校教育課）

#### アンケート指標（市民が思う割合）

●環境や体制に関する評価○回答者自身の実践状況

更新

内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値					平均	目標値 (R3)
			H29	H30	R1	R2	R3		
環境・体制に関する評価① (設定なし)	-	(H28) -	-	-	-	-	-	-	
R元年度実績値の理由									
回答者自身の実践状況①	%	(H28) 31.0	32.5	29.3	27.7	30.5	30.0	↑	
R元年度実績値の理由									

## 統計指標（統計による指数）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)	
				H29	H30	R1	R2	R3	備考		
統計 指標	国際交流コーナー の利用者数	国際交流コーナーで開催している日 本語教室の受講者、母語相談やイベ ントなどで訪れた人数	人	(H27) 8,909	9,416	9,783	8,098				9,200
	R元年度実績値の理由	観光振興課	台風19号災害により国際交流イベントが中止になったことによるもの。また、新型コ ロナウイルスの影響によって、日本語講座等の受講者数が減少したため。								
	SNSのフォロ ワー数	長野市国際交流フェイスブック等の SNSに対してフォローしている数	人	(H27) 449	660	726	796				800
	R元年度実績値の理由	観光振興課	イベントや観光に関する情報を積極的に発信したため、フォロワー数が増加した。								

## 個別計画

第二次長野市教育振興基本計画、長野市人権政策推進基本方針

## 分野 6 産業・経済分野

# 分野 6

産業の活力とにぎわいのあふれるまち「ながの」(産業・経済分野)

## 政策 1 魅力を活かした観光の振興

【担当部局】 商工観光部

### 施策 1 豊富な観光資源等を活かした観光交流促進 【観光振興課】

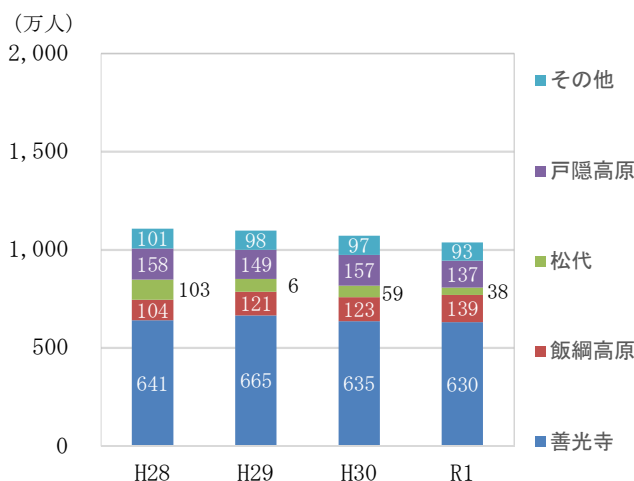
#### 現況と課題

更新

- 一人あたりの観光消費額が目標値を下回っており、観光入込客も減少傾向であるため、魅力的な観光コンテンツの構築やICTを活用した効果的・継続的な情報発信を行うとともに、本市の有するハブ機能を活用した広域的な観光を展開する必要があります。

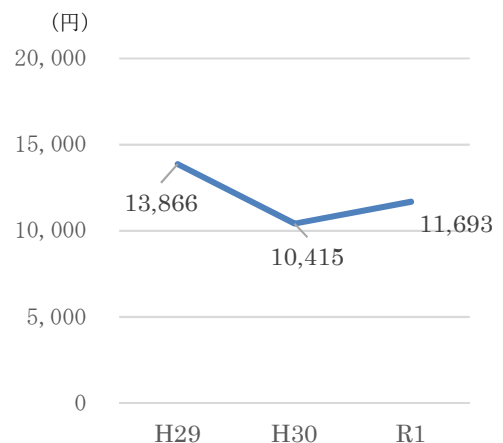
#### 図表

- 観光地入込客数の推移を表すもの



#### 図表

- 一人当たり観光消費額の推移を表すもの



#### 目指す状態

更新

- ◎ 豊富な観光資源を活かし、観光客でにぎわい観光消費額が増加している。

#### 主な取組

- ◎ 様々な分野と連携することにより、長野市ならではの魅力的な観光コンテンツの開発を推進します。(観光振興課、商工労働課、農業政策課、文化芸術課、スポーツ課、地域活動支援課、環境政策課、文化財課)(6-2-2 関連)
- ◎ 善光寺、戸隠や松代等を起点とした市内を周遊する仕組みづくりを推進します。(観光振興課)
- ◎ 効果的に情報を発信するとともに、観光客の受入環境整備を推進します。(観光振興課、都市政策課)
- ◎ 地域の観光資源を磨き上げるとともに、観光の担い手となる人材の育成を支援します。(観光振興課)
- ◎ 長野駅のハブ機能を活かし、多様な魅力を有する市町村との広域観光連携を推進します。(観光振興課)

## アンケート指標（市民が思う割合）

更新

アンケート指標	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値(R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	平均	
環境・体制に関する評価①	長野市は、魅力的な観光都市である	%	(H28)	64.7	60.3	63.7	66.7		63.9	↑
			66.4							
R元年度実績値の理由	関係団体と連携しながら、様々な広報媒体を活用して効果的に観光宣伝を実施した結果、肯定的評価割合が3.4%増加し、否定的評価割合が3%減少したため。									
回答者自身の実践状況①	知人や友人などに地域の魅力を伝えている	%	(H28)	35.8	32.3	30.9	32.9		33.0	↑
			36.4							
R元年度実績値の理由	地域の隠れた魅力を掘り起こし、積極的に情報発信したが、目玉となる大型観光キャンペーンの開催がなく、積極的に魅力を伝える動機づけに結びつかなかったもの。									

## 統計指標（統計による指数）

統計指標	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値(R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	備考	
市内観光宿泊者数(年)	観光庁「宿泊旅行統計調査」に基づく市内宿泊者数の推計	万人泊	(H27年御開帳開催時)	161	153	算定中				176
			160							
			(H23～26年御開帳非開催時の平均)							
R元年度実績値の理由	観光振興課	令和元年度分は令和2年9月頃集計予定								
観光消費額	一人当たりの観光消費額の推計	円	(H27)	13,866	10,415	11,693				14,300
			13,017							
R元年度実績値の理由	観光振興課	前年度からは持ち直しているものの、台風災害の影響があったためか、基準値には届かなかった。								
観光入込客数	市内の主な観光地（11箇所）への入込客数の総計	万人	(H27年御開帳開催時)	1,101	1,073	1,038				1,790
			1,701							
			(H23～26年御開帳非開催時の平均)							
R元年度実績値の理由	観光振興課	台風19号により10～12月の観光地利用者が減少したため。								

## 個別計画

長野市観光振興計画、長野市商工業振興・雇用促進計画、長野市農業振興アクションプラン、第二次長野市やまざと振興計画

# 分野 6

産業の活力とにぎわいのあふれるまち「ながの」（産業・経済分野）

## 政策 1 魅力を活かした観光の振興

【担当部局】 商工観光部

### 施策 2 インバウンドの推進 【観光振興課】

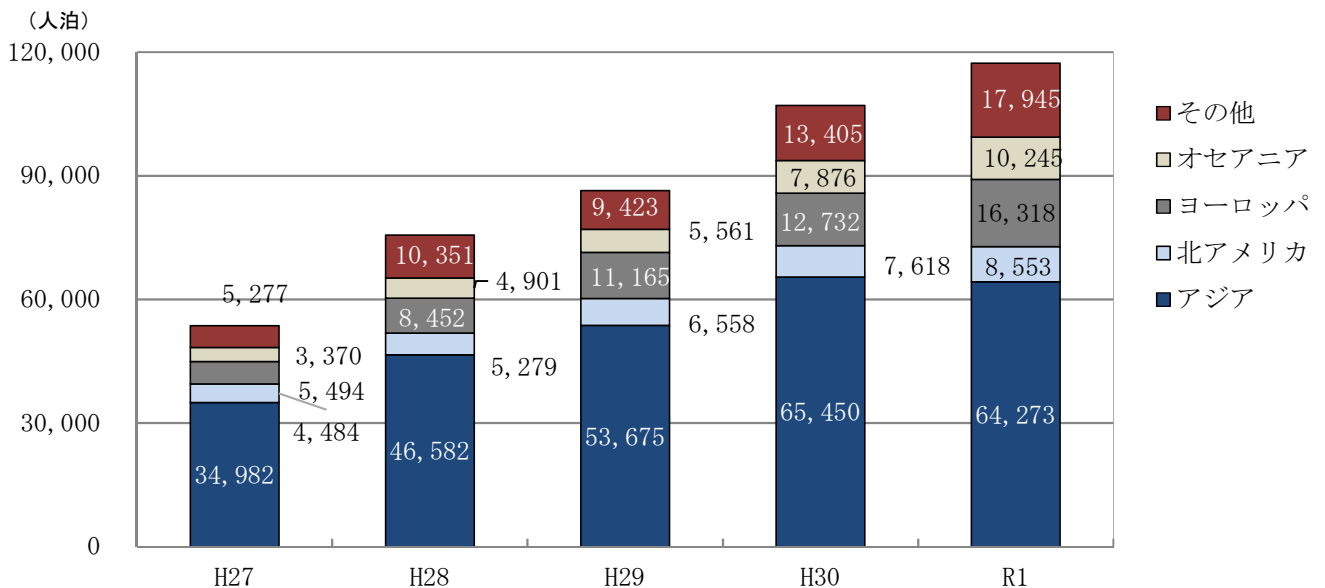
#### 現況と課題

更新

●**継続的な誘客プロモーションの効果により、市内外国人宿泊者数の増加傾向が継続していましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、外国人観光客の激減が予想されます。今後は、ターゲット国に対する効果的な誘客活動を継続的に行うとともに、外国人観光客にとって安心な旅先として選んでいただけるよう、更なるプロモーションの推進が必要です。**

#### 図表

●外国人宿泊者数の推移を表すもの（主要地域別内訳表示）



#### 目指す状態

更新

◎外国人観光客の誘客に向けた効果的な**情報発信を行うとともに**、充実した受入環境の下で外国人観光客が快適に滞在している。

#### 主な取組

- ◎多様性に配慮したインバウンドのプロモーションを推進します。（観光振興課）
- ◎外国人観光客を円滑に受け入れることができる環境を整備します。（観光振興課、都市政策課）
- ◎インバウンドに対応できる人材の育成を支援します。（観光振興課）



## アンケート指標（市民が思う割合）

更新

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値					目標値 (R3)	
				H29	H30	R1	R2	R3		平均
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	%	(H28)	64.7	60.3	63.7	66.7		63.9	↑
			66.4							
	R元年度実績値の理由	本市の魅力を機を逃さず積極的に情報発信したこと、また、関係団体と連携した観光宣伝を継続的に実施していることによるもの。								
アンケート指標	回答者自身の実践状況①	%	(H28)	39.1	33.9	32.8	34.7		35.1	↑
			34.2							
アンケート指標	R元年度実績値の理由	特にシニア世代では、コミュニケーションの点で外国人観光客の手助けに躊躇する人もいる。年により多少の増減はあるが、約3割の市民に、外国人観光客に対する「おもてなし」の意識が浸透している。								

## 統計指標（統計による指数）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値					目標値 (R3)	
				H29	H30	R1	R2	R3		備考
統計指標	市内外国人宿泊者数(年)	人泊	(H27)	86,382	107,081	117,334				71,000
			59,206							
統計指標	R元年度実績値の理由	観光振興課	外国人宿泊者数の実績において、台湾が約2割で一番多く、継続的な誘客プロモーションの効果により、増加傾向が継続している。その他アジア圏では、タイ、シンガポール、マレーシア、ベトナム等が、欧州では、ドイツ、イタリア等で、外国人旅行者が増加しているため。							

## 個別計画

長野市観光振興計画

# 分野6 産業の活力とにぎわいのあふれるまち「ながの」(産業・経済分野)

## 政策1 魅力を活かした観光の振興

【担当部局】 商工観光部

### 施策3 コンベンションの誘致推進 【観光振興課】

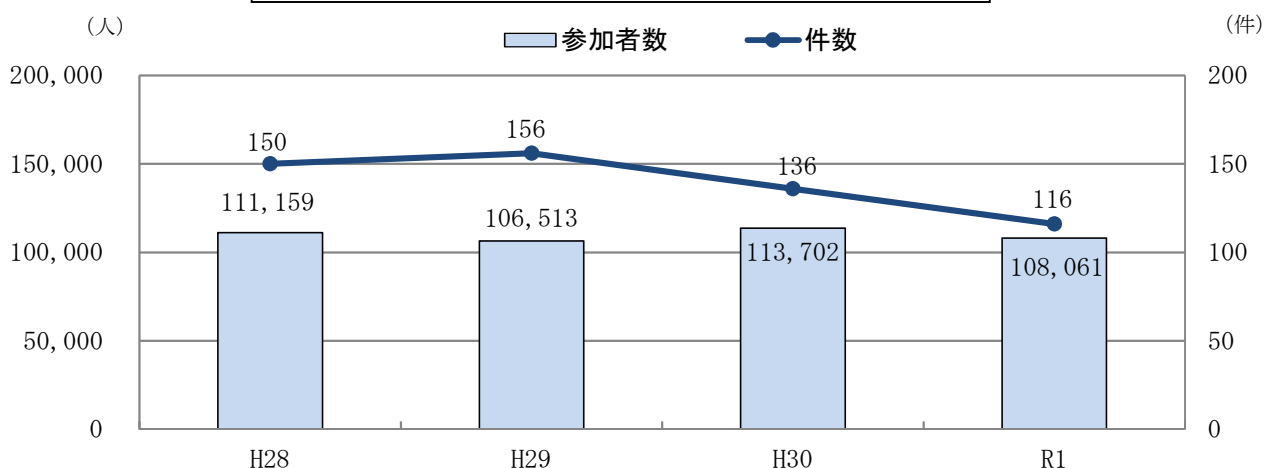
#### 現況と課題

更新

- 開催地決定に関するハードルが比較的低い中小コンベンションに的を絞った誘致活動や、デジタルサイネージ等を活用した開催告知などの支援によりコンベンション参加者数は高水準で推移していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により多くの開催が中止となったことで参加者数が減少しています。今後は、主催者や各観光協会等との連携を強化しながら、多様なコンベンションの誘致を図る必要があります。

#### 図表

●誘致・支援したコンベンションの開催件数と参加者数の推移を表すもの



#### 目指す状態

更新

- ◎多様なコンベンションが開催され、参加者でにぎわっている。

#### 主な取組

- ◎国内外のコンベンション、文化芸術イベントやスポーツ大会等を積極的に誘致し、円滑な開催を支援します。(観光振興課、文化芸術課、スポーツ課) (5-4-2 関連)
- ◎フィルムコミッション\*に積極的に取り組みます。(観光振興課)

## アンケート指標（市民が思う割合）

更新

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	平均	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	%	(H28)	45.2	46.4	47.0	40.9		44.9	↗
			52.6							
	R元年度実績値の理由	令和元年度も全国規模の大型コンベンションの開催が少なかったため、前年度とほぼ同様の数値となったもの。								
	回答者自身の実践状況①	-	(H28)	-	-	-	-	-	-	-
	R元年度実績値の理由									

## 統計指標（統計による指数）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	備考	
統計指標	コンベンションの参加者数	人	(H27)	106,513	113,702	108,061				120,000
			115,537							
	R元年度実績値の理由	観光振興課	台風19号及び新型コロナウイルス感染症によりコンベンションが中止となったため、減少したもの。							

## 個別計画

長野市観光振興計画、第二次長野市文化芸術振興計画、第二次長野市スポーツ推進計画

# 分野 6

産業の活力とにぎわいのあふれるまち「ながの」(産業・経済分野)

## 政策 2 活力ある農林業の振興

【担当部局】 農林部

施策 1 多様な担い手づくりと農地の有効利用の推進 【農業政策課】

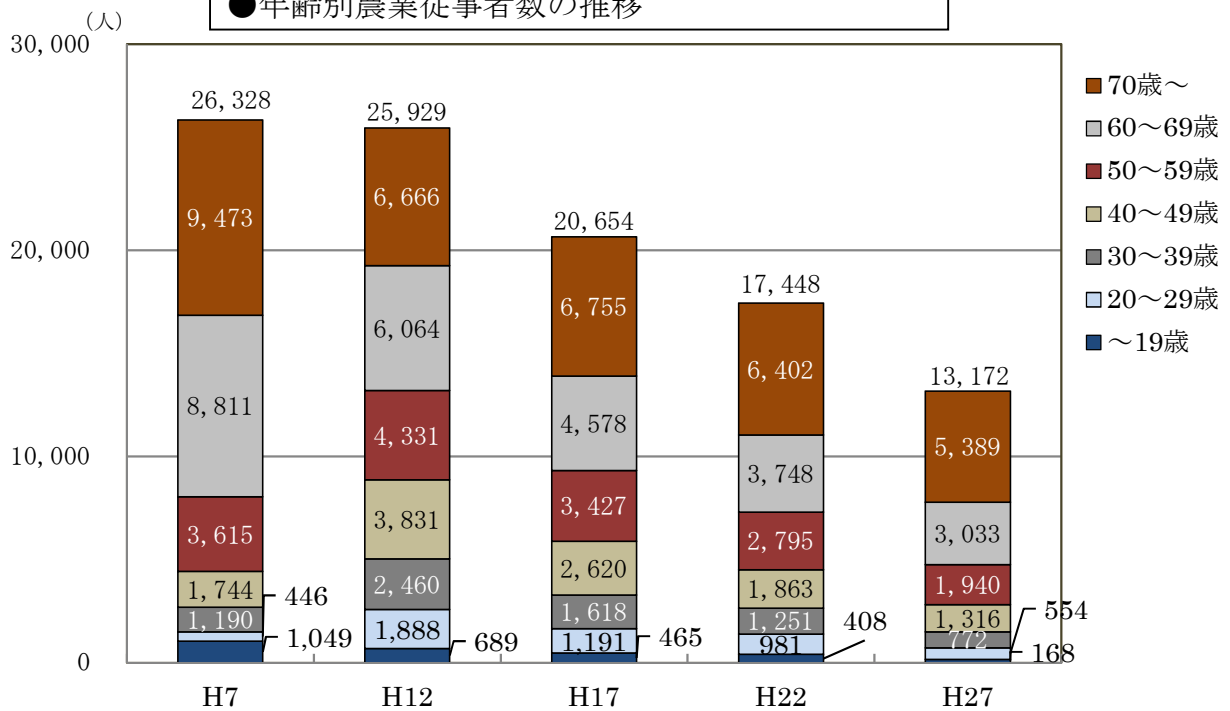
### 現況と課題

更新

●農家一戸当たりの耕作面積が小さく、耕地が分散していることに加え、後継者不足により農業従事者が減少しているため、農地の集約化と多様な担い手の確保などにより、生産性を高める必要があります。

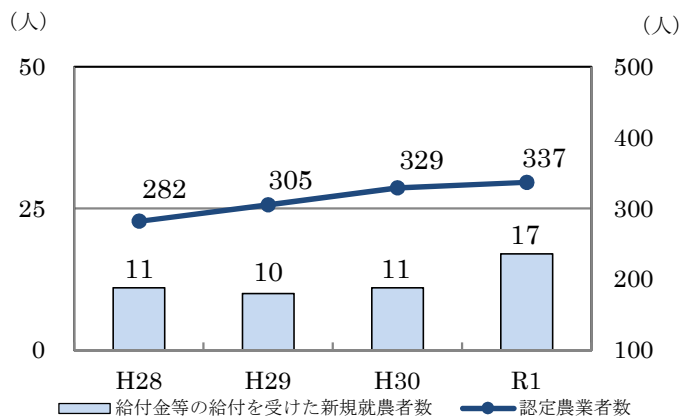
図表

●年齢別農業従事者数の推移



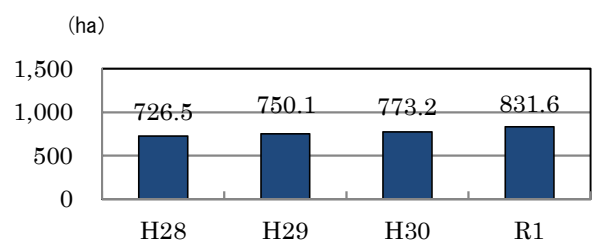
図表

●認定農業者数と給付金等の給付を受けた新規就農者数の推移



図表

●農地の利用権設定面積



## 目指す状態

更新

◎農地が有効に利用され、専業農家のほか多様な担い手が農業に取り組んでいる。

## 主な取組

- ◎中心的な担い手となる認定農業者\*などを育成します。(農業政策課)
- ◎定年帰農者や農業参入企業など、新たな担い手の確保に取り組みます。(農業政策課、農業委員会)
- ◎農業者を支える団体の活動を支援します。(農業政策課)
- ◎優良農地を確保するとともに、農地の有効利用を促進します。(農業政策課、農業委員会)
- ◎農業生産基盤を整備し、農業用施設を適切に維持・管理します。(農業土木課、農業政策課)

## アンケート指標 (市民が思う割合)

更新

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	平均	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	%	(H28) 47.5	45.0	40.4	41.8	47.0		43.6	↑
	R元年度実績値の理由		肯定的回答の割合は50才以上の4年代区分で実績値を上回るが、年代が若くなるにつれて下がる傾向にある。評価保留割合が毎年15%近くあり、若い世代の身近に耕作者が少ないため実感が得にくいと思われる。							
	回答者自身の実践状況①	%	(H28) 44.0	47.0	41.7	40.8	43.5		43.3	↑
	R元年度実績値の理由		肯定的回答の割合は市街地地域で4割弱の一方、中山間地域では6割を超える。年代別には60才以上の3年代区分で実績値を上回るが、年代が若くなるにつれて低下する。主な否定的意見では、土地、時間が無いといった意見が目立つ一方、将来はやってみたいとの意見もあった。							

## 統計指標 (統計による指数)

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	備考	
統計指標	新規就農者数	人	(H27) 118	36	51	43				150
	R元年度実績値の理由		農業政策課	農業次世代人材投資事業、親元就農者支援事業などで就農を支援することにより、一定の新規就農者を確保できている。						
	農地の利用権設定面積	ha	(H27) 667.3	750.1	773.2	831.6				893
	R元年度実績値の理由		農業政策課	長野市農業公社において、担い手を中心に農地の集積・集約を進めているため、着実に利用権設定面積が増加している。						

## 個別計画

長野市農業振興アクションプラン

# 分野 6

産業の活力とにぎわいのあふれるまち「ながの」(産業・経済分野)

## 政策 2 活力ある農林業の振興

【担当部局】 農林部

### 施策 2 地域の特性を活かした生産振興と販売力強化の促進 【農業政策課】

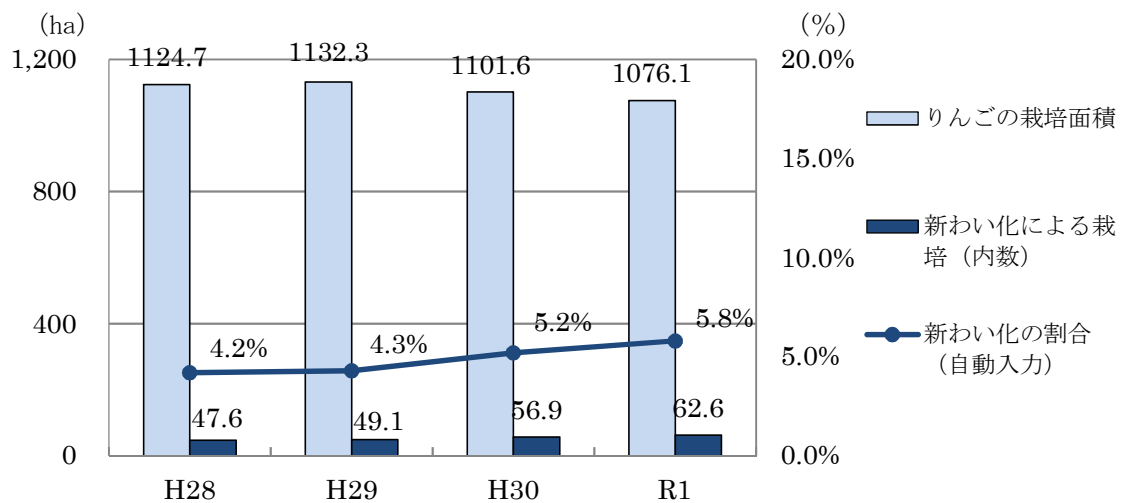
#### 現況と課題

更新

- 輸入農産物の増加や国内他産地との競合や農業従事者の高齢化や後継者不足等により、各種農産物の生産環境は厳しい状況にあります。本市のりんご、もも、ぶどうなどの果実は、市場での評価が高いことから、果樹栽培における新品種や新技術の導入を促すとともに、スマート農業の取組みを進め、さらに、自然災害や野生鳥獣による被害への対策を支援するとともに、国内外への販路拡大や、加工品開発等により付加価値を高める必要があります。
- 都市部の住民の農業への関心が高まっているため、都市と農村のつながりの場を提供することで、農業や農村への理解を促進し、また、地産地消を推進する中から消費の拡大へつなげていく必要があります。

#### 図表

● りんごの栽培面積と新わい化\*の割合

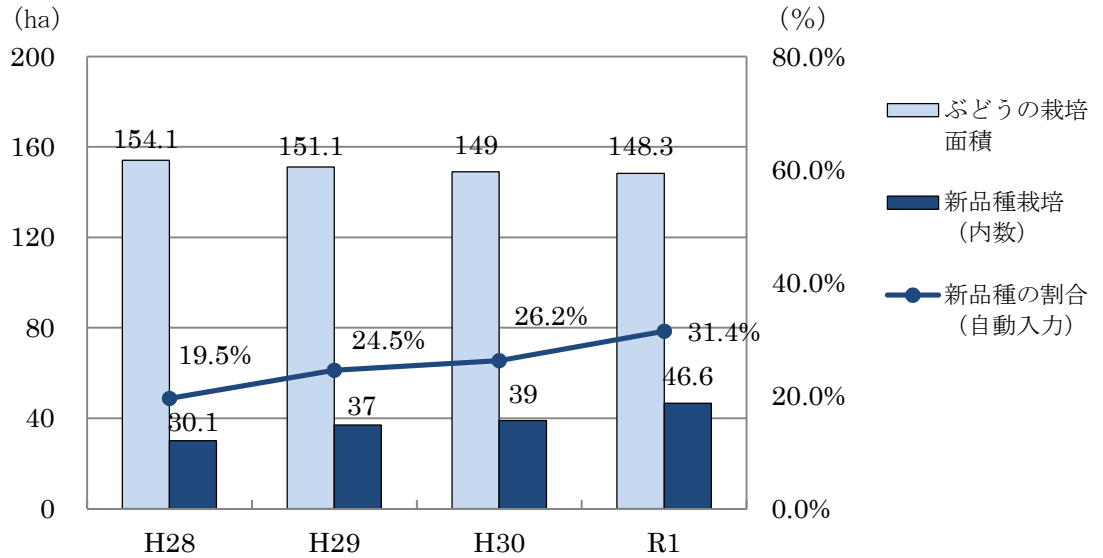


※新わい化

わい化栽培より更に樹を小さく仕立てる栽培のこと。これにより、収穫、剪定及び摘果作業の省力化が図られ、収穫の増加を図ることができる。

### 図表

●ぶどうの栽培面積と新品種の割合推移を表すもの



### 目指す状態

更新

◎りんご、もも、ぶどうなどの高品質で安全・安心なおいしい農産物が生産され、高い評価を得ている。

### 主な取組

- ◎果樹等の主要農畜産物の生産を振興します。(農業政策課)
- ◎中山間地域の特性を活かした生産を振興します。(農業政策課)
- ◎安全・安心な農産物づくりを促進します。(農業政策課)
- ◎自然災害や野生鳥獣による農作物被害への対策を推進するとともに、ジビエ\*肉を新たな地域資源として活用します。(農業政策課、いのしか対策課)
- ◎農産物の販売力を強化するとともに、商工業や観光など他産業との連携を促進します。(農業政策課、商工労働課、観光振興課) (6-1-1、6-3-3 関連)
- ◎農業・農村に対する理解を促進します。(農業政策課)

### アンケート指標 (市民が思う割合)

更新

内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
			H29	H30	R1	R2	R3	平均	
環境・体制に関する評価①	%	(H28) 87.8	86.4	85.7	88.6	89.8		87.6	→
R元年度実績値の理由		実績値は前年度より2.9ポイント増加した。高付価値化された品種(シャインマスカット、ナガノパープル等)の供給拡大が背景にあると考えられる。							
回答者自身の実践状況①	%	(H28) 80.9	77.3	75.9	76.2	78.2		76.9	→
R元年度実績値の理由		40才以上の5年代区分においては地産地消の意識は高いが、30歳未満の世代においては価格重視の方向性を求める傾向から肯定的評価割合が低い。							

## 統計指標（統計による指数）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	備考	
統計指標	果樹の新品種・新技術導入による栽培面積	ha	(H27)	86.1	95.9	109.2				106
			68.3							
	R元年度実績値の理由	農業政策課	果樹の新品種・新技術の導入に対する補助金交付を継続性していることから栽培面積は増加していると推測できる。							
	果樹農業生産額	億円	(H28)	90.2	92.0	87.6				104
	92.7									
R元年度実績値の理由	農業政策課	令和元年東日本台風による災害の影響を受け、果樹生産額が減少すると推測できる。								

## 個別計画

長野市農業振興アクションプラン、長野市商工業振興・雇用促進計画、長野市観光振興計画、第二次長野市やまざと振興計画



# 分野 6

## 政策 2 活力ある農林業の振興

【担当部局】 農林部

### 施策 3 森林の保全と資源の活用促進 【森林整備課】

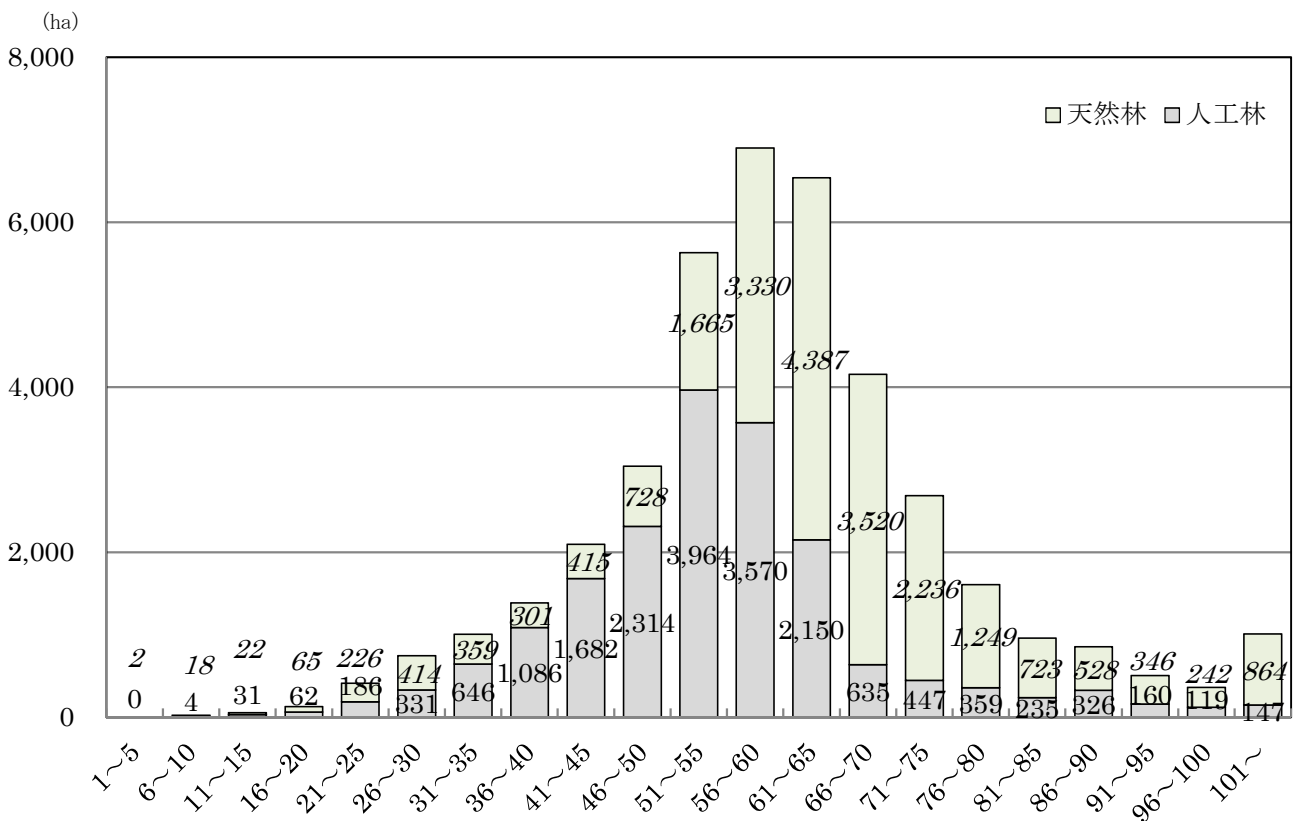
#### 現況と課題

更新

- 小規模分散所有や木材価格の低迷、森林所有者の高齢化、若者の都市部への流出等により森林整備への意欲が低下するとともに、境界不明や未相続による所有者不明地が多く、これらが支障となり森林整備は捗っていない状況です。今後は、新たな森林管理システムである森林経営管理制度を活用して、木材の生産や水源涵養・防災減災等森林の持つ公益的機能の充実を図るほか、林業の担い手の確保・育成や次世代を担う若者への森林教育による意識付け、バイオマス等森林資源の有効活用を図っていく必要があります。

#### 図表

● 森林の林齢\*構成を表すもの



※林齢

森林の年齢のこと。苗木を植栽した年度を1年生とし、以後、2年生、3年生と数える。

#### 目指す状態

更新

- ◎ 森林が守り育てられ、森林資源が有効に活用されている。

## 主な取組

- ◎森林が持つ公益的機能を維持・増進するための森林整備を促進します。(森林整備課)  
(4-1-1 関連)
- ◎木材の利用を促進するとともに、未利用木材の木質バイオマス利用による需要拡大を推進します。(森林整備課、環境政策課)(3-1-1 関連)
- ◎森林や林業を身近に感じることができ環境づくりを推進するとともに、森林の果たす役割や重要性に対する意識を高めます。(森林整備課、環境政策課)

## アンケート指標 (市民が思う割合)

更新

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)	
				H29	H30	R1	R2	R3	平均		
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	森林が整備されている地域である	%	(H28) 41.1	36.6	34.8	38.8	42.4		38.2	→
	R元年度実績値の理由	森林整備は単年度で結果が表れるものではなく評価自体もしにくいため、アンケート回答者の違いによる主観の差が評価に影響していると思われる。長期的な評価が向上するよう継続的な事業実施に努めたい。									
	回答者自身の実践状況①	(設定なし)	-	(H28) -	-	-	-			-	-
	R元年度実績値の理由										

## 統計指標 (統計による指数)

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)	
				H29	H30	R1	R2	R3	備考		
統計指標	木材生産量	国・県への木材生産補助申請実績	m <sup>3</sup>	(H27) 8,168	9,345	13,783	6,867				17,500
	R元年度実績値の理由	森林農地整備課	東日本台風災害により、木材市場の受け入れが不可能となり生産量が減少したため。								

## 個別計画

長野市森林整備計画、第二次長野市環境基本計画、長野市地球温暖化対策地域推進計画、長野市バイオマスタウン構想、第二次長野市やまざと振興計画

# 分野 6

産業の活力とにぎわいのあふれるまち「ながの」（産業・経済分野）

## 政策 3 特色を活かした商工業の振興

【担当部局】 商工観光部

### 施策 1 商工業の強化と環境整備の促進 【商工労働課】

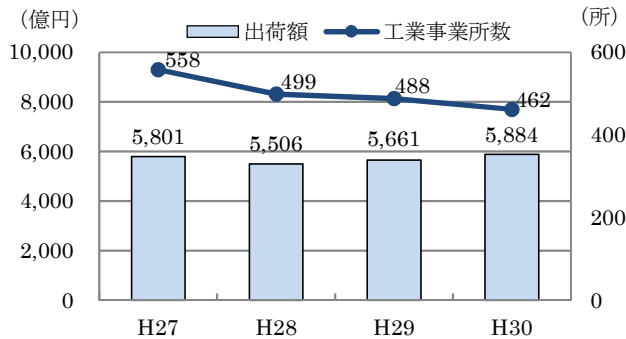
#### 現況と課題

更新

● 商業・工業とも事業所数は減少していますが、販売額や出荷額は増加傾向にあります。  
一方、令和元年東日本台風災害や新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、本市経済に大きな影響を与えています。また、インターネットによる買い物の拡大やライフスタイルの多様化に伴い、消費者ニーズが変化しています。このような経済環境や社会環境の変化に対応し、地域活力の源となる地域の商工業の持続可能な成長のため、商工団体や大学等高等教育機関などの関係機関との連携を強化し、経営力・販売力・技術力の向上を図る必要があります。

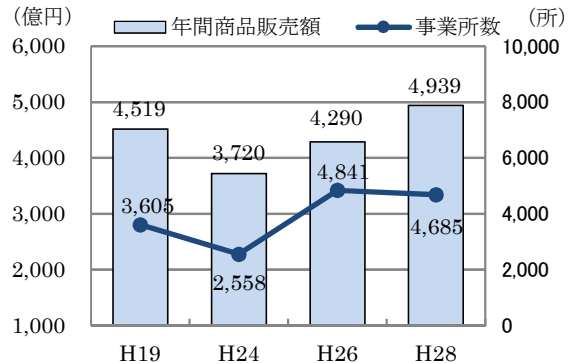
#### 図表

● 工業事業所数と製造品出荷額の推移を表すもの



#### 図表

● 事業所数と年間商品販売額（小売業）の推移を表すもの



#### 目指す状態

更新

◎ 持続可能で 足腰の強い工業生産や商業活動が展開され、地域外からの利益が取り込まれている。

#### 主な取組

- ◎ 魅力を高める商店街の環境整備を支援します。(商工労働課)
- ◎ 人材を育成する取組を支援します。(商工労働課)
- ◎ 長野市ものづくり支援センター\*の活用などにより、経営力を強化する取組を支援します。(商工労働課)
- ◎ 制度資金や融資あっ旋等により、中小企業の経営基盤の安定と強化に取り組みます。(商工労働課)
- ◎ 商工団体等の活動を支援します。(商工労働課)

## アンケート指標（市民が思う割合）

更新

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)	
				H29	H30	R1	R2	R3	平均		
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	活力のある企業が多い地域である	%	(H28) 22.8	21.7	23.5	24.9	26.9		24.3	↗
	R元年度実績値の理由	犀南、市街地周辺、松代・若穂地区で前年に比べて肯定的な回答が増加したため。									
	環境・体制に関する評価②	市内に個性的で魅力的なお店が増えている	%	(H28) 30.7	30.7	31.7	34.1	33.9		32.6	↗
	R元年度実績値の理由	20代以下と60代で肯定的回答が増加したため。									
	回答者自身の実践状況①	地元のお店で買い物をするように心がけている	%	(H28) 79.6	77.7	76.3	76.4	81.4		78.0	→
R元年度実績値の理由	前年と同様の傾向である。										

## 統計指標（統計による指数）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)	
				H29	H30	R1	R2	R3	備考		
統計指標	製造品出荷額等（年）	経済センサスまたは工業統計調査による従業者4人以上の事業所の出荷額	億円	(H26) 4,388	5,506	5,661	5,884				4,575
	R元年度実績値の理由	商工労働課	令和元年の実績値は令和3年2月頃公開予定。はん用機械、金属製品製造業で前年を上回っている。								
	商品販売額（小売業）（年）	経済センサスまたは商業統計調査による小売業の販売額	億円	(H26) 4,290	-	R3年3月公開予定					4,290
	R元年度実績値の理由	商工労働課	平成30年の実績値は令和3年3月頃公開予定。商品販売額に係る統計は隔年で実施されており、平成28年の実績値は4,935億円となっている。								

## 個別計画

長野市商工業振興・雇用促進計画

# 分野 6 産業の活力とにぎわいのあふれるまち「ながの」（産業・経済分野）

## 政策 3 特色を活かした商工業の振興

【担当部局】 商工観光部

### 施策 2 地域の特性が光る商工業の推進 【商工労働課】

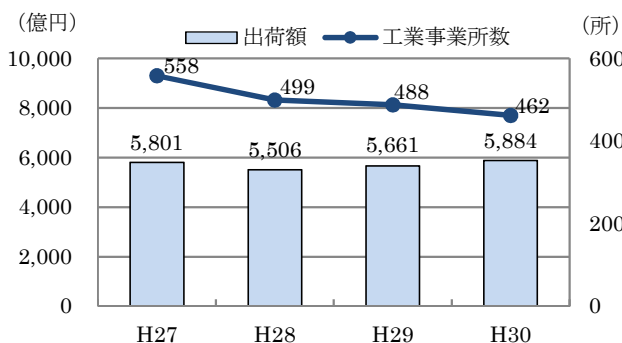
#### 現況と課題

更新

- 本市は、県内最大の商圏人口を有するとともに、幅広い産業がバランスよく集積しています。特に、情報通信業については、従業者数が中核市平均の約2倍となっていることから本市を特徴づける産業となっています。また、首都圏への近接性が高いことに加え、豊富な自然環境に恵まれていることから、各地域における特色を活かし、生産性や付加価値の向上を図ることで、地域の特性に応じた商工業の形成を推進する必要があります。

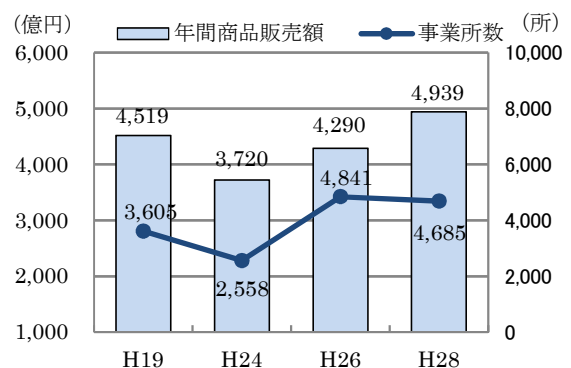
#### 図表

- 工業事業所数と製造品出荷額の推移を表すもの（再掲：6-3-1）



#### 図表

- 事業所数と年間商品販売額（小売業）の推移を表すもの（再掲：6-3-1）



#### 目指す状態

- ◎中心市街地、中山間地域などの地域ごとにある様々な特色を活かし、商工業に活気があり、まちがにぎわうとともに、本市の特長を生かした新製品・新技術が開発され、企業活動が活性化している。

#### 主な取組

- ◎多様な地域の特性に応じた商業環境の形成を推進します。（商工労働課）
- ◎中心市街地を中心に、空き店舗、空き家等を活用した出店を支援します。（商工労働課）
- ◎特色を活かした物産品のブランド化や製品づくりを促進します。（商工労働課）
- ◎地域経済への波及効果が高いものづくり産業やICT産業の振興を支援します。（商工労働課）

## アンケート指標（市民が思う割合）

更新

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)	
				H29	H30	R1	R2	R3	平均		
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	活力のある企業が多い地域である (再掲：6-3-1)	%	(H28) 22.8	21.7	23.5	24.9	26.9		24.3	↗
	R元年度実績値の理由	犀南、市街地周辺、松代・若穂地区で前年と比べて肯定的な回答が増加したため。									
	環境・体制に関する評価②	市内に個性的で魅力的なお店が増えている(再掲：6-3-1)	%	(H28) 30.7	30.7	31.7	34.1	33.9		32.6	↗
	R元年度実績値の理由	20代以下と60代で肯定的な回答が増加したため。									
	回答者自身の実践状況①	地元のお店で買い物をするように心がけている(再掲：6-3-1)	%	(H28) 79.6	77.7	76.3	76.4	81.4		78.0	→
R元年度実績値の理由	前年と同様の傾向である。										

## 統計指標（統計による指数）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)	
				H29	H30	R1	R2	R3	備考		
統計指標	製造品出荷額等 (年) (再掲：6-3-1)	経済センサスまたは工業統計調査による従業者4人以上の事業所の出荷額	億円	(H26) 4,388	5,506	5,661	算定中				4,575
	R元年度実績値の理由	商工労働課	令和元年の実績値は令和3年2月頃公開予定。はん用機械、金属製品製造業で前年を上回っている。								
	商品販売額（小売業） (年) (再掲：6-3-1)	経済センサスまたは商業統計調査による小売業の販売額	億円	(H26) 4,290	-	R3年3月 公開予定					4,290
	R元年度実績値の理由	商工労働課	平成30年の実績値は令和3年3月頃公開予定。商品販売額に係る統計は隔年で実施されており、平成28年の実績値は4,935億円となっている。								

## 個別計画

長野市商工業振興・雇用促進計画

# 分野 6 産業の活力とにぎわいのあふれるまち「ながの」（産業・経済分野）

## 政策 3 特色を活かした商工業の振興

【担当部局】 商工観光部

### 施策 3 新たな活力につながる産業の創出 【商工労働課】

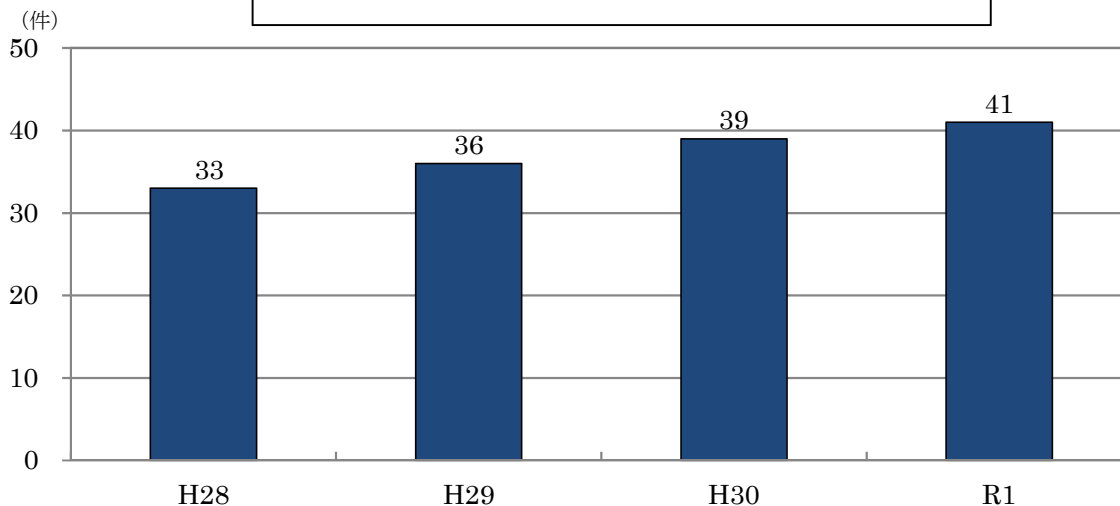
#### 現況と課題

更新

- 消費者ニーズの変化や人口減少による市場の縮小が続く中、持続可能な経済成長のためには新たな力が必要です。産学官金の連携によるオープンイノベーションの推進や、起業家育成、企業誘致等により、新たな産業の創出につなげていく必要があります。

#### 図表

- 大学などと共同で新技術・新製品の開発を行う件数の推移を表わすもの



#### 目指す状態

更新

- ◎ 自然の循環と経済の発展を両立させる、長野らしい産業の創造に向けた、オープンイノベーションや起業・創業などの動きが始まっている。

#### 主な取組

- ◎ 集客やにぎわいの創出などにつながる取組を支援します。（商工労働課）
- ◎ 意欲ある起業・創業者を育成します。（商工労働課）
- ◎ 特色あるものづくり産業とICT産業の集積を促進します。（商工労働課）
- ◎ 農商工連携等による新産業の創出や販路開拓への取組を支援します。（商工労働課、農業政策課）（6-2-2 関連）
- ◎ 事務所の移転など企業誘致を推進します。（商工労働課、東京事務所）

## アンケート指標（市民が思う割合）

更新

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	平均	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	%	(H28)	10.8	11.6	10.6	8.7		10.4	↗
			9.4							
	R元年度実績値の理由	70歳以上以外の年齢で、「あまりそう思わない」と回答した割合が昨年度より増加したため。								
	回答者自身の実践状況①	(設定なし)	-	(H28)	-	-	-	-	-	-
	R元年度実績値の理由									

## 統計指標（統計による指数）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	備考	
統計指標	新技術・新製品開発件数	件	(H27)	36	39	42				47
			29							
	R元年度実績値の理由	商工労働課	企業が新技術・新製品の開発のため積極的に研究開発や設備投資を行う傾向にあり、事業件数は順調に伸びている。							

## 個別計画

長野市商工業振興・雇用促進計画、長野市農業振興アクションプラン



# 分野 6

産業の活力とにぎわいのあふれるまち「ながの」(産業・経済分野)

## 政策 4 安定した就労の促進

【担当部局】 商工観光部

### 施策 1 就労の促進と多様な働き方の支援 【商工労働課】

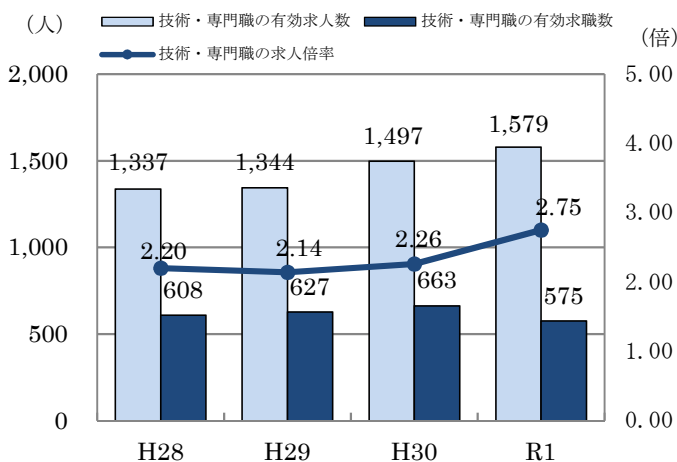
#### 現況と課題

更新

- 専門・技術的職業などの職種に関しては人手不足の状態であることから、これらの人材育成を促進し、雇用とのマッチングにつなげる必要があります。
- 市内の高校生・高等専門学校生等の約6割が市外での就職を希望していることから、市内での就職に向けて事業所の特長や求人情報を周知する必要があります。
- **市外の大学等に進学した学生のうちUターン就職者は約4割のとどまっていることから、市内企業等との出会いの場の創出や、暮らし方の魅力も含めて市内企業等への就職に向けた情報発信をする必要があります。**
- 高齢者や子育て世代などのニーズに応じた多様な就労形態が求められており、ハローワークなどの関係機関と連携し、様々な人が就労できる環境づくりを進める必要があります。

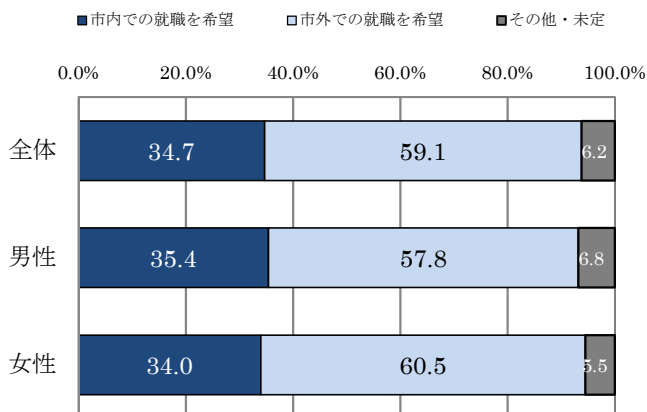
#### 図表

● 技術職・専門職に関する求人倍率の推移を表すもの



#### 図表

● 就職についての高校生・高等専門学校生等の意識を表すもの



#### 目指す状態

更新

◎ 企業の特徴や求人に関する情報が容易に入手でき、**働き方改革が推進されるなど多様な働き方が可能になることで、就労が促進されるとともに、様々な人が就労しやすい環境が整備されている。**

## 主な取組

- ◎地元企業の魅力や仕事に関する情報発信を推進します。(商工労働課)
- ◎働くことの動機づけや、地元へ戻るきっかけづくりとなる地元産業に対する理解を促します。(商工労働課、学校教育課)
- ◎多様な働き方が実現できる職場環境の整備を促進します。(商工労働課)
- ◎仕事と子育ての両立支援や障害者、シニア世代の就労確保等を推進します。(商工労働課、こども政策課、保育・幼稚園課、子育て支援課、人権・男女共同参画課、障害福祉課、高齢者福祉課)(2-1-1、2-2-1、2-3-1、2-5-2関連)
- ◎職業能力の開発などの人材育成を支援するとともに、雇用とのマッチングにつながる職業相談に取り組みます。(商工労働課)

## アンケート指標 (市民が思う割合)

更新

内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)	
			H29	H30	R1	R2	R3	平均		
環境・体制に関する評価①	%	(H28)	12.9	15.5	15.1	13.7		14.3	↑	
		13.2								
R元年度実績値の理由	ハローワークやインターネットなどで求人情報は閲覧できるものの希望する条件に合わないなど全年代において否定的評価割合が増えている。									
回答者自身の実践状況①	(設定なし)	-	(H28)	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-

## 統計指標 (統計による指数)

内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
			H29	H30	R1	R2	R3	備考	
就職情報サイト「おしごとながの」のセッション数	回	(H27)	92,505	145,486	167,067				62,000
		41,253							
R元年度実績値の理由	商工労働課	動画掲載や検索機能の充実を図ったことや市が主催する各種イベント参加者への利用促進、関係機関を通じた周知などにより増加した。							

## 個別計画

長野市商工業振興・雇用促進計画、長野市子ども・子育て支援事業計画、第三次長野市男女共同参画基本計画、長野市障害者基本計画、第四期長野市障害福祉計画、第7次長野市高齢者福祉計画

# 分野 6

産業の活力とにぎわいのあふれるまち「ながの」(産業・経済分野)

## 政策 4 安定した就労の促進

【担当部局】 商工観光部

### 施策 2 勤労者福祉の推進 【商工労働課】

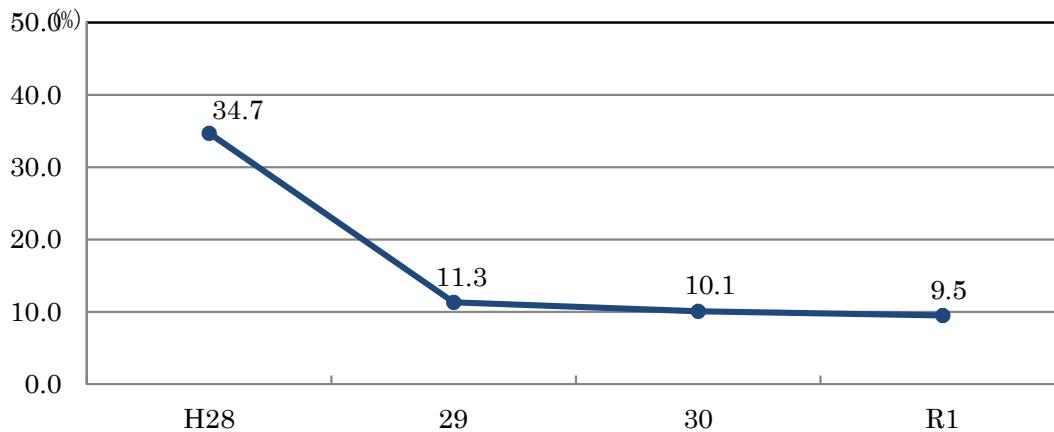
#### 現況と課題

更新

- 企業等の福利厚生事業が減少・廃止されるなど勤労者の労働環境は厳しい状況であるため、福利厚生施設や人材育成・研修機関を持たない中小企業等で働く勤労者が、いきいきと働くことができる環境を整える必要があります。

#### 図表

- 力を入れるべき施策として「安定した雇用の確保」を選んだ市民の割合の推移を表すもの



#### 目指す状態

更新

- ◎中小企業の福利厚生や研修の機会が確保され、勤労者がいきいきと働いている。

#### 主な取組

- ◎福利厚生の機会の提供を支援します。(商工労働課)
- ◎勤労者の雇用と生活の安定や福祉増進に向けた取組を支援します。(商工労働課)

## アンケート指標（市民が思う割合）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	平均	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	%	(H28) 34.4	32.6	30.7	30.9	35.2		32.4	↗
	R元年度実績値の理由		65歳以上で肯定的な評価の割合が増えたため、前年より評価が上がった。							
	回答者自身の実践状況①	-	(H28) -	-	-	-			-	-
	R元年度実績値の理由									

## 統計指標（統計による指数）

更新

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	備考	
統計指標	長野市勤労者共済会への加入者割合	%	(H27) 10.9	10.2	10.5	10.6				11.0
	R元年度実績値の理由		商工労働課	基準値と比べて減少しているが、算出方法を変更し母数である勤労者数が増加したことによるもので、会員数は平成28年度から増加傾向にある。						

## 個別計画

長野市商工業振興・雇用促進計画

# 分野 7 都市整備分野

# 分野 7 快適に暮らし活動できるコンパクトなまち「ながの」(都市整備分野)

## 政策 1 いきいきと暮らせる魅力あるまちづくりの推進

【担当部局】 都市整備部、建設部、上下水道局

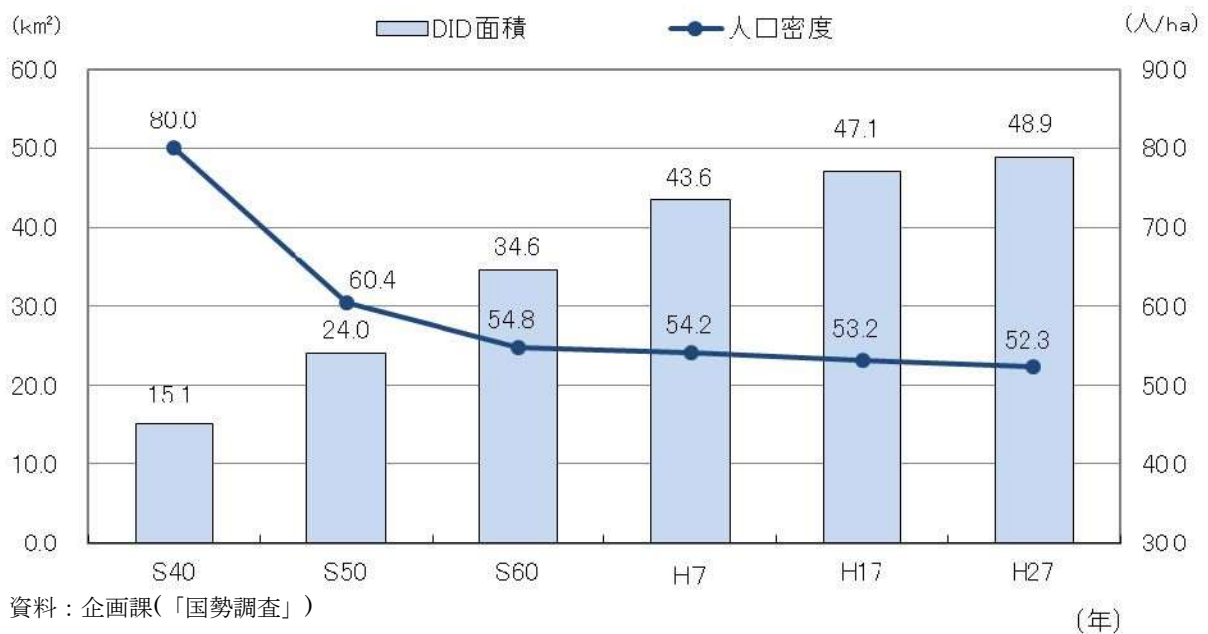
### 施策 1 地域の特性に応じた都市機能の充実 【都市政策課】

#### 現況と課題

更新

- 都市部では、市街地の拡散と人口密度の低下により、市民生活へのサービス提供に課題が生じているため、公共交通の利便性の高い地域などに都市機能を集約し、**まちづくりにおける総合的な災害対策と連携しながら**、市民生活の質の維持・向上に取り組む必要があります。

- 人口集中地区(DID\*)の面積と人口密度の推移  
※R2年度国勢調査により、数値は確定



#### 目指す状態

更新

- ◎中心市街地や鉄道駅周辺など都市拠点となるべき地域に**おける人口密度が維持され、市民生活へのサービスの提供可能な都市機能が集約し、居心地の良い空間が形成**されている。

#### 主な取組

- ◎「都市機能誘導区域\*」と「居住誘導区域\*」を設定し、都市拠点としての機能を高め、集約型のまちづくりを進めます。(都市政策課、市街地整備課、駅周辺整備課)
- ◎都市公園を適正に配置するとともに、災害発生時に対応できる公園を充実します。(公園緑地課)

## アンケート指標（市民が思う割合）

更新

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	平均	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	%	(H28) 49.4	49.2	48.3	47.7	48.1		48.3	↗
	R元年度実績値の理由	現時点では誘導する施設を整備中であり、大きな変動はない。								
	回答者自身の実践状況①	-	(H28) -	-	-	-			-	-
	R元年度実績値の理由									

## 統計指標（統計による指数）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	備考	
統計指標	人口密度	人/ha	(H27) 50.9	50.9	50.8	50.7				50.9
	R元年度実績値の理由	都市政策課	市街化区域内人口が概ね維持されており、居住誘導区域の人口密度も概ね維持できた。							

## 個別計画

長野市都市計画マスタープラン、第三期長野市中心市街地活性化計画（予定）、長野市公共交通ビジョン、長野市緑を豊かにする計画

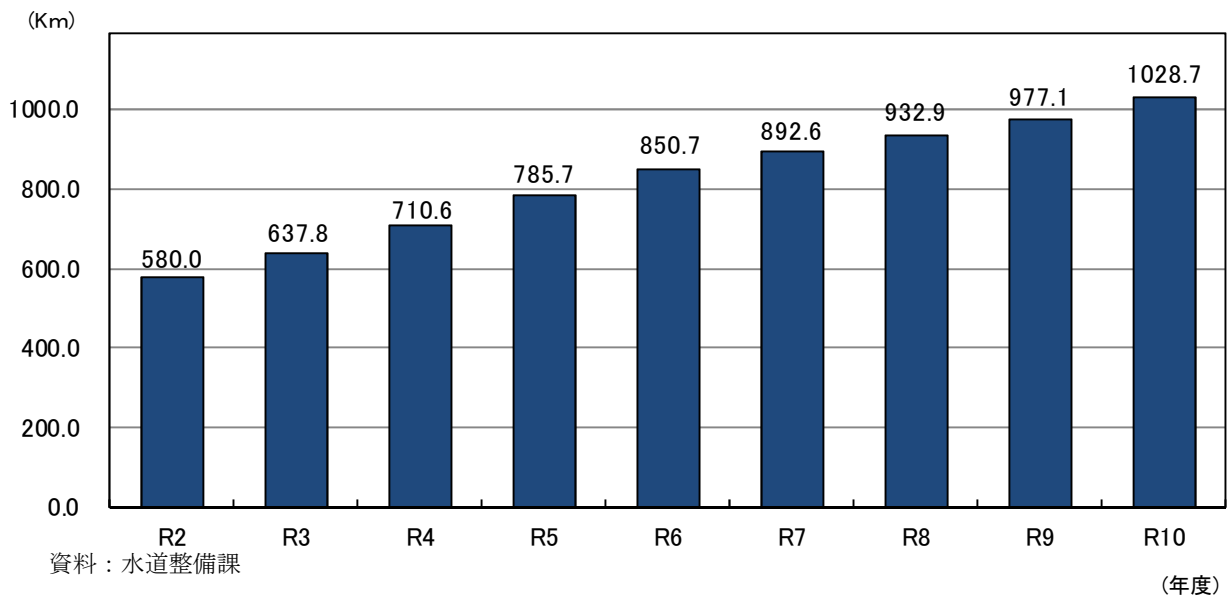
### 施策 2 暮らしを支える生活機能の維持 【道路課】

#### 現況と課題

更新

- 生活道路、上下水道や情報通信網などの生活を支える都市基盤は、将来的に維持費の増大が見込まれることから、計画的なメンテナンスの実施や新技術の導入などにより、財政負担の軽減を図りつつ、計画的に改修・更新する必要があります。
- 過疎化が進行する中山間地域では、日常の生活機能を維持する公共施設の複合化・多様化などの取組と併せて道路防災によるインフラの強靱化が必要となります。

● 法定耐用年数（40年）を超えた水道管を更新しない場合の老朽管延長の推計



#### 目指す状態

更新

◎市民の暮らしを支える都市基盤や日常生活に必要な機能が維持されている。

#### 主な取組

- ◎都市基盤を支える生活道路などを適切に維持・管理します。（維持課、道路課）（4-1-1 関連）
- ◎健全な事業運営の下、安定して水道水を供給し、下水道機能を維持します。（上下水道局総務課、水道整備課、水道維持課、浄水課、下水道整備課、下水道施設課）（4-1-1 関連）
- ◎地域の情報通信基盤を維持します。（情報政策課）
- ◎地域での暮らしを支える「小さな拠点」づくりを推進します。（都市政策課、地域活動支援課）



## アンケート指標（市民が思う割合）

更新

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	平均	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	%	(H28)	53.3	52.6	49.3	55.3		52.6	↑
			51.7							
	R元年度実績値の理由	大きな変動はないが、公共交通の利便性の向上を求める意見が増加している。								
	回答者自身の実践状況①	-	(H28)	-	-	-			-	-
	(設定なし)									
	R元年度実績値の理由									

## 統計指標（統計による指数）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)
				H29	H30	R1	R2	R3	備考	
統計指標	上水道管路の耐震化率	%	(H27)	13.1	13.9	14.4				14.5
			11.4							
	R元年度実績値の理由	水道整備課	老朽管解消事業などで耐震管を14,280m布設したことによる。							

## 個別計画

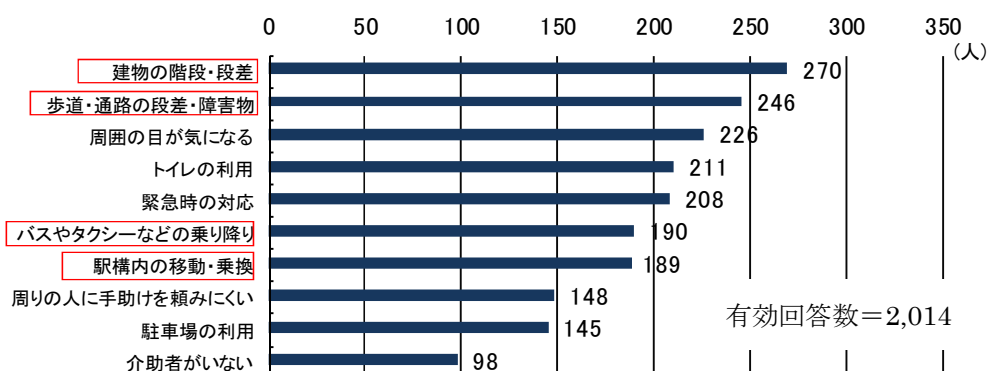
長野市都市計画マスタープラン、第二次長野市やまざと振興計画、長野市橋梁長寿命化修繕計画、長野市水道ビジョン、長野市下水道10年ビジョン、第四次長野市高度情報化基本計画

#### 現況と課題

更新

- 暮らしやすいまちづくりを引き続き推進するため、だれもが安心して移動できるユニバーサルデザインを取り入れた歩道の整備、公共建築物などのバリアフリー化を進める必要があります。
- **良質で安全な住宅ストックを形成し、だれもが安心して暮らせる住まいを安定的に確保するとともに、地域の魅力を活かした住環境づくりを進める必要があります。**
- **既存住宅の利活用を促進するとともに、管理不全の空き家の増加を抑制する必要があります。**

● 外出の際に困ったり、不便と感じることについての障害者（児）の意識（令和元年）



資料：障害福祉課

#### 目指す状態

更新

◎だれもが気軽にまちなかを移動でき、**地域の魅力を活かした**暮らしやすい住環境が整っている。

#### 主な取組

- ◎ユニバーサルデザインの導入やバリアフリー化を進めます。（道路課、建築課、建築指導課、障害福祉課、交通政策課）（2-3-1 関連）
- ◎空き家に関する相談・指導體制の充実と適正管理や利活用の支援に取り組みます。（建築指導課、人口増推進課、住宅課、環境政策課、予防課、地域活動支援課）
- ◎市営住宅の適正な配置と多様な利用者ニーズに応じた改善に取り組みます。（住宅課）
- ◎緑化を推進するとともに、緑育\*活動を促進します。（公園緑地課）

## アンケート指標（市民が思う割合）

更新

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)	
				H29	H30	R1	R2	R3	平均		
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	市内の道路、建物のバリアフリー化が進んでいる	%	(H28) 30.3	30.8	30.4	28.7	31.8		30.4	↑
	R元年度実績値の理由	大きな変化はないが、肯定的評価である「そう思う・ややそう思う」の回答割合が1.7ポイント減少したため。									
	回答者自身の実践状況①	(設定なし)	-	(H28) -	-	-	-	-	-	-	-
	R元年度実績値の理由										

## 統計指標（統計による指数）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)	
				H29	H30	R1	R2	R3	備考		
統計指標	道路施設における歩行空間の整備	①km ②km ③箇所	(H27)	①	①	①					①
			279.9	289.4	292.0	293.7				286.0	
			②	②	②					②	
			84.1	85.9	86.6	87.5				87.0	
			③	③ 356	③ 370	③ 384				③ 360	
	R元年度実績値の理由	道路課	道路改良等に合わせて実施したことにより順調に整備が進んだ。								

## 個別計画

長野市障害者基本計画、長野市都市計画マスタープラン、第三次住宅マスタープラン計画（長野市住生活基本計画）、長野市緑を豊かにする計画、**長野市空家等対策計画**

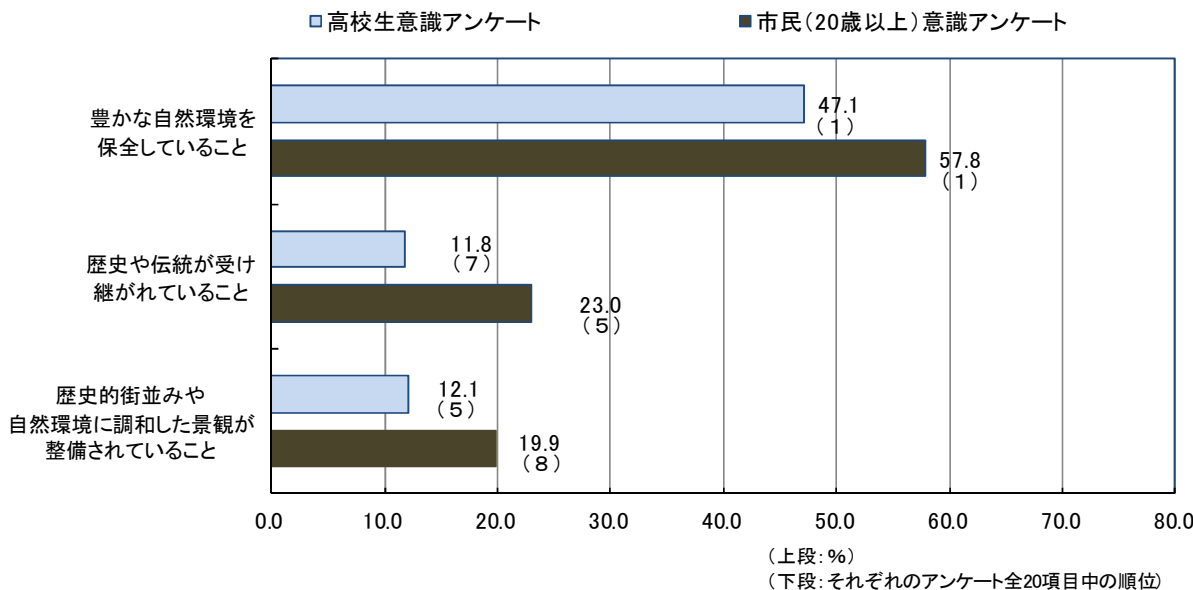
### 施策 4 地域の特色を活かした景観の形成 【都市政策課】

#### 現況と課題

更新

- 住民や関係団体などと協働し、本市の魅力である自然と調和した景観や歴史的・文化的な景観を形成するとともに、これまで継承してきた文化財を活用した特色あるまちづくりを更に推進する必要があります。

● 長野市の魅力について市内居住者の意識  
(平成 30 年)



資料: 人口増推進課(「長野市市民意識等調査」)

#### 目指す状態

更新

- ◎ 豊かな自然環境と調和した景観や、地域固有の歴史・文化が感じられる景観が形成されている。

#### 主な取組

- ◎ 地域特性を活かした景観の形成を促進するとともに、景観に対する意識の向上に取り組みます。(都市政策課)
- ◎ 地域固有の歴史・文化を感じられるまちなみを保全・整備します。(都市政策課、文化財課)  
(5-3-2 関連)

## アンケート指標（市民が思う割合）

更新

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)	
				H29	H30	R1	R2	R3	平均		
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	景観やまちなみが美しい地域である	%	(H28) 57.2	55.4	54.8	56.6	60.5		56.8	→
	R元年度実績値の理由	景観やまちなみについて、市の施策や地域の活動が行われており、美しい地域と感じる意識は一定の評価である。									
	回答者自身の実践状況①	家のまわりの緑化や美化など、美しい景観づくりを心がけている	%	(H28) 73.9	71.6	71.7	68.0	71.2		70.6	→
	R元年度実績値の理由	市民一人ひとりの美しい景観づくりへの意識が高く、その結果が数値に反映している。									

## 統計指標（統計による指数）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)	
				H29	H30	R1	R2	R3	備考		
統計指標	道路美装化延長	歴史的風致の維持向上のため、周囲の良好な景観に調和した道路美装化延長	km	(H27) 7.83	8.41	8.41	8.52				9.00
	R元年度実績値の理由	都市政策課	善光寺周辺地区では長野北98号線の道路美装化（L=0.24km）に先立ち電線類地中化を行い、戸隠地区では戸隠北58号線の道路美装化（L=0.11km）を行った。								

## 個別計画

長野市景観計画、長野市歴史的風致維持向上計画

# 分野 7

快適に暮らし活動できるコンパクトなまち「ながの」(都市整備分野)

## 政策 2 拠点をつなぐネットワークの充実

【担当部局】 都市整備部、建設部

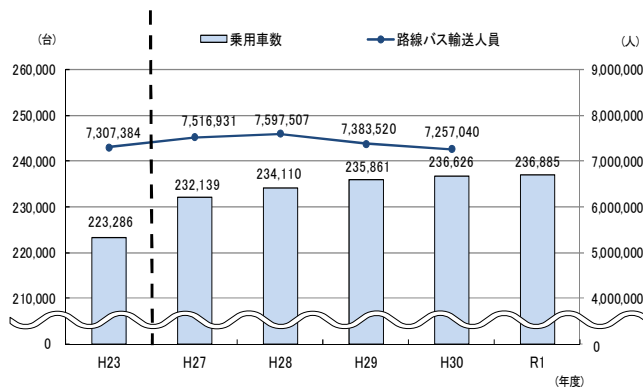
### 施策 1 地域のまちづくりと一体となった公共交通の構築 【交通政策課】

#### 現況と課題

更新

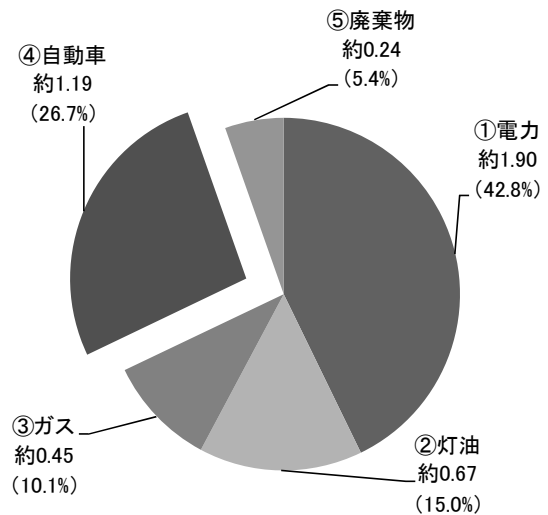
●公共交通網の人口カバー率は約 85%ですが、モータリゼーションの進展などにより、生活路線バスの利用者は減少傾向にあることから、**地域の特性・実情や移動需要に応じた公共交通網の整備を行うとともに、利便性向上のための環境整備や利用促進により、地域公共交通を維持・確保すること**が必要です。また、本市の家庭におけるCO<sub>2</sub>排出量に占める自動車の割合が高いことから、自家用乗用車に過度に頼らない交通へ転換する必要があります。

#### ●自家用乗用車数と路線バス輸送人員



資料：国土交通省(「長野県内の市町村別自動車保有車両数」)、企画課

#### ●一世帯当たりのCO<sub>2</sub>排出量(平成28年度 単位：t-CO<sub>2</sub>)



資料：環境保全温暖化対策課

#### 目指す状態

更新

◎だれもが利用しやすい公共交通が構築され、多くの人々が利用している。

#### 主な取組

- ◎集約型のまちづくりに適応するよう公共交通網を再編します。(交通政策課、都市政策課)
- ◎中山間地域を中心に、住民や行政等が協働して公共交通を支える仕組みを構築します。(交通政策課)
- ◎公共交通の利用環境の充実と、「地域の公共交通を共に支える」意識を高める取組を進めます。(交通政策課) (3-1-1 関連)

## アンケート指標（市民が思う割合）

更新

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)	
				H29	H30	R1	R2	R3	平均		
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	公共交通の利用により、市内を移動できる環境が整っている	%	(H28) 35.7	33.9	31.9	30.4	34.5		32.7	↑
	R元年度実績値の理由	年齢では50歳から65歳、居住地域では市街地・犀南地域以外の肯定的回答が否定的回答に移行し、前年度から1.5%減。									
	回答者自身の実践状況①	通勤、通学、通院などの移動手段として、公共交通機関を日常的に利用している	%	(H28) 26.4	27.2	24.2	22.1	21.3		23.7	↑
	R元年度実績値の理由	年齢では20歳代及び60歳以上、居住地域では市街地周辺地域の肯定的回答が否定的回答に移行し、前年度から2.1%減。									
	回答者自身の実践状況②	公共交通を、自らの暮らしや地域を維持するために必要なものであると理解し、支えていこうと心がけている	%	(H28) 50.4	55.9	48.4	47.8	49.3		50.4	↑
R元年度実績値の理由	年齢では30歳代及び60歳代の肯定的回答が否定的回答に移行し、前年度から0.6%減。必要性は理解しながらも、公共交通機関の利便性等から行動ができていないとの否定意見が多い。										

## 統計指標（統計による指数）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)	
				H29	H30	R1	R2	R3	備考		
統計指標	公共交通利用回数	市民一人当たりのバス・鉄道などの公共交通機関を利用した回数	回/人	(H26) 128.5	139.0	139.4	集計中				132.1
	R元年度実績値の理由	交通政策課	令和元年度実績値は未集計(令和2年10月以降に集計)								

## 個別計画

長野市都市計画マスタープラン、長野市公共交通ビジョン

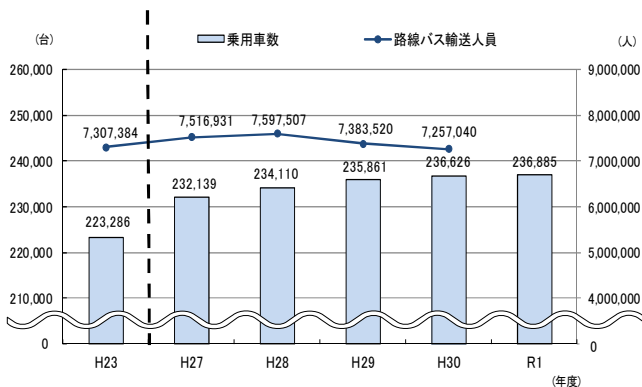
### @施策 2 拠点をつなぐ交通ネットワークの整備 【交通政策課】

#### 現況と課題

更新

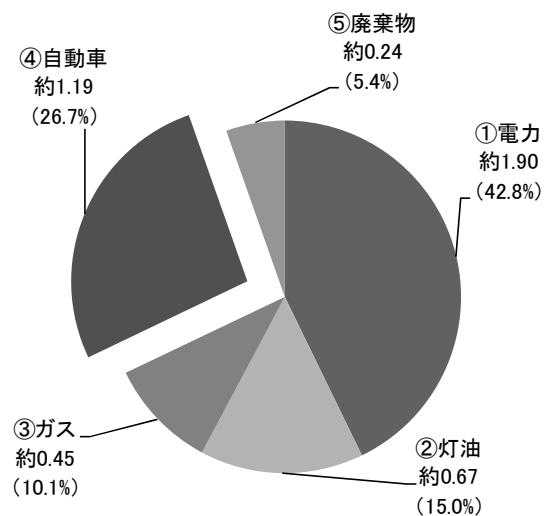
● 自家用乗用車に過度に頼らない交通への転換に向け、公共交通の利便性を向上させる必要があることから、生活路線バスなどの走行円滑化を実現するため、幹線道路の整備や交通結節機能の向上に取り組む必要があります。また、**自転車の利用促進を図るため**、自転車道など\*を整備する必要があります。

● 自家用乗用車数と路線バス輸送人員  
(再掲：7-2-1)



資料：国土交通省(「長野県内の市町村別自動車保有車両数」)、企画課

● 一世帯当たりのCO<sub>2</sub>排出量(平成28年度単位：t-CO<sub>2</sub>) (再掲：7-2-1)



資料：環境保全温暖化対策課

#### 目指す状態

更新

◎ 自家用乗用車に過度に頼らず、中心市街地、観光地などの拠点や生活機能の拠点を移動できる交通ネットワークが形成されている。

#### 主な取組

- ◎ 交通ネットワークの構築に必要な幹線道路整備を進めるとともに、公共交通の利便性を高める公共車両優先システム\* (PTPS) の導入やバス専用レーンなどの整備について検討します。(交通政策課、道路課、維持課、都市政策課)
- ◎ ミニバスターミナルの検討を含めた公共交通路線相互の乗換えなどの交通結節機能の向上に取り組めます。(交通政策課、道路課、都市政策課)
- ◎ 都市部における自転車ネットワーク\*の形成に取り組めます。(道路課、交通政策課)



## アンケート指標（市民が思う割合）

更新

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)	
				H29	H30	R1	R2	R3	平均		
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	公共交通の利用により、市内を移動できる環境が整っている(再掲：7-2-1)	%	(H28) 35.7	33.9	31.9	30.4	34.5		32.7	↑
	R元年度実績値の理由	年齢では50歳から65歳、居住地域では市街地・犀南地域以外の肯定的回答が否定的回答に移行し、前年度から1.5%減。									
	回答者自身の実践状況①	通勤、通学、通院などの移動手段として、公共交通機関を日常的に利用している(再掲：7-2-1)	%	(H28) 26.4	27.2	24.2	22.1	21.3		23.7	↑
	R元年度実績値の理由	年齢では20歳代及び60歳以上、居住地域では市街地周辺地域の肯定的回答が否定的回答に移行し、前年度から2.1%減。									
	回答者自身の実践状況②	公共交通を、自らの暮らしや地域を維持するために必要なものであると理解し、支えていこうと心がけている(再掲：7-2-1)	%	(H28) 50.4	55.9	48.4	47.8	49.3		50.4	↑
R元年度実績値の理由	年齢では30歳代及び60歳代の肯定的回答が否定的回答に移行し、前年度から0.6%減。必要性は理解しながらも、公共交通機関の利便性等から行動ができていないとの否定意見が多い。										

## 統計指標（統計による指数）

	内容	単位	基準値	前期基本計画期間中の実績値						目標値 (R3)	
				H29	H30	R1	R2	R3	備考		
統計指標	公共交通利用回数 (再掲：7-2-1)	市民一人当たりのバス・鉄道などの公共交通機関を利用した回数	回/人	(H26) 128.5	139.0	139.4	集計中				132.1
	R元年度実績値の理由	交通政策課	令和元年度実績値は未集計(令和2年10月以降に集計)								
	自転車通行空間の総延長	自転車道などの総延長	km	(H27) 7.96	8.70	9.00	集計中				15
R元年度実績値の理由	道路課	現在、集計中（8月頃予定）									

## 個別計画

長野市都市計画マスタープラン、長野市公共交通ビジョン